

(通卷第33号)

令和4年度事業報告書

社会福祉法人 福栄会

目 次

法人事業報告（概況）	1
事務部事業報告	5
総務課	13
栄養課	19
高齢者福祉部事業報告	31
晴楓ホーム	32
東海ホーム	45
在宅サービス課	53
東品川在宅介護支援センター・大崎在宅介護支援センター	57
通所介護事業所（東品川・大崎・五反田）	61
品川区ヘルパーステーション東品川	77
福栄会リハビリテーションセンター	79
東品川わかくさ荘	81
障害者福祉部事業報告	85
第一しいのき学園	87
第二しいのき学園	95
品川区立西大井福祉園	104
品川区立西大井つばさの家	112
グループホーム金子山	118
品川区立かがやき園	124
南品川むつみ園	134
品川区東品川障害者相談支援センター	142
品川区東品川障害者計画相談支援事業所	146
かもめ第一・第二・第三工房	148
品川区精神障害者地域生活支援センター	155
児童福祉部事業報告	161
品川区立家庭あんしんセンター	163
品川区ひまわり荘	164
品川区子育て支援	168
品川区子育て短期支援事業	169
平塚ファミリー・サポート・センター	171
平塚きぼう荘	172
品川区立平塚高齢者多世代交流支援施設	181
品川区立東品川高齢者多世代交流支援施設	188
品川区立就学前乳幼児教育施設	193

品川区立障害児者総合支援施設	201
児童発達支援センター課	203
児童発達支援	204
放課後等デイサービス	205
保育所等訪問支援	206
子ども発達相談室	207
日中一時支援	208
相談支援課	209
南品川障害児者相談支援センター	210
地域活動支援センター	213
訪問系サービス	214
生活支援課	215

令和4年度 法人事業報告（概況）

社会福祉法人福栄会は、高齢者福祉事業、障害者福祉事業及び児童福祉事業についての総合社会福祉施設としてサービスの質的向上を図る一方、健全な法人経営を行いながら、利用者やご家族を始め、地域の期待に応えられるようそれぞれの事業分野において、サービスの充実に積極的に取り組みました。

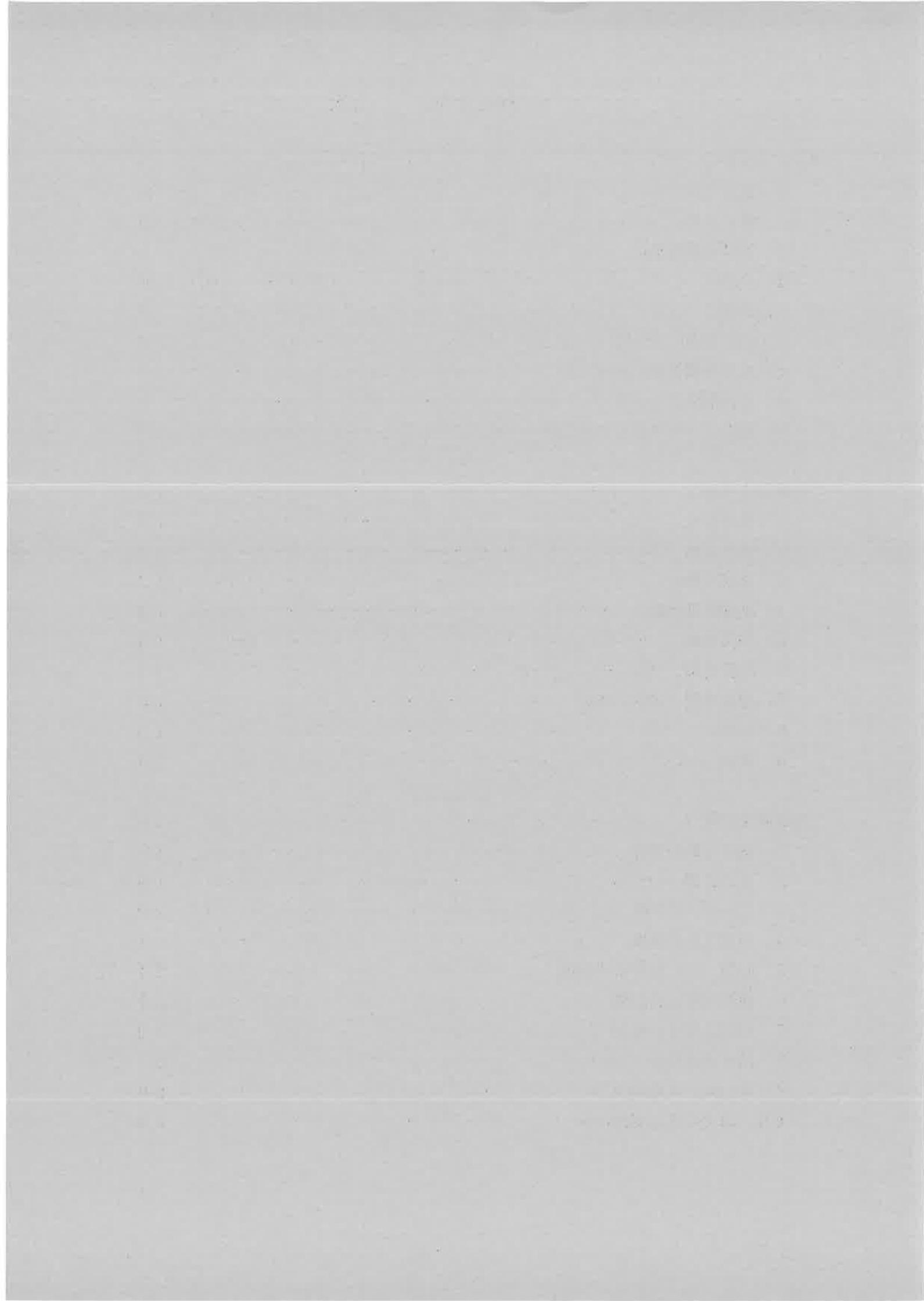
令和4年度の主な成果

- (1) 利用者サービスの更なる向上と魅力溢れる職場づくりを行うため、「第二次福栄会3か年計画」に基づき計画的に事業を執行しました。
- (2) 地域社会から一層信頼される法人となるため、コロナ禍においても子ども食堂や町会活動への支援など地域貢献活動に取り組みました。
- (3) 令和4年10月から指定管理を受託した品川区立障害児者総合支援施設「ぐるっぽ」の円滑な移管と安全で安心な運営に取り組みました。
- (4) 飛躍的に増大した事業を踏まえ、経営能力の抜本的な強化の取り組みを開始しました。
- (5) 品川区立障害児者総合支援施設「ぐるっぽ」の運営に向け、積極的な職員採用活動に取り組み、想定する数の採用を実現しました。
- (6) 新型コロナウイルスまん延下においてクラスターが発生しましたが、職員の迅速で的確な対応により、他の事業所への感染拡大を防止し、影響を最小限に止めることができました。さらに堅実な法人運営を行うために、高齢者介護施設、障害者支援施設の利用率の安定・向上に取り組みました。

実績：特別養護老人ホーム	<u>96.5%</u>	(目標値：97%)
通所介護施設	<u>84.7%</u>	(目標値：85%)
障害者支援施設	<u>79.2%</u>	(目標値：95%)

事務部事業報告 目次

事務部事業報告	5
1. 基本方針	5
2. 重点目標	5
3. 地域貢献活動について	5
4. 会議について	6
5. 研修について	8
6. 防災計画について	9
7. 施設設備管理の点検強化	9
8. 苦情解決について	9
9. 新型コロナウイルス感染症への対応について	11
総務課事業報告	13
1. 基本方針	13
2. 重点目標	13
3. 事務の執行	13
4. 地域貢献活動	14
5. 防災対策	14
6. 防犯対策	15
7. 施設管理（営繕）体制	15
8. 広報	15
9. 職員について	16
栄養課事業報告	19
1. 基本方針の遵守	19
2. 重点目標への対応	19
3. サービスの実際	19
4. 各施設との連携	21
5. 防災・その他非常時対策	21
6. 連絡調整・諸会議	21
7. 厨房設備等の更新	22
8. 給食状況報告	23
9. 特別献立実施状況	26
10. 給食委員会実施状況	28



事務部事業報告

1. 基本方針

新規施設の管理受託など事業が増大かつ内容が多岐にわたる中、法人事務局としての機能を発揮しつつ、各主管部の効率的な事業執行の支援に取り組みました。

2. 重点目標

- (1) 新型コロナウイルス感染症予防対策について、警戒を緩めることなく、感染防止に向けた各施設の環境整備、マスク・ガウン等の衛生備品の確保、情報の伝達・共有など、法人本部を中心に各施設で連携し対策に取り組みました。
- (2) 令和4年10月から新たに管理を受託した品川区立障害児者総合支援施設「ぐるっぼ」の円滑な事業開始と安定運営に主管部と連携して取り組みました。
- (3) 感染症予防を徹底した上、積極的な広報活動と見学者の受入れ等に取り組み、就職試験希望者の増に努めることで、多様な福祉人材の確保を図りました。

3. 地域貢献活動計画

- (1) 令和4年度は新型コロナウイルス感染状況を注視しながら、「合同防災訓練」及び「炊き出し訓練」など法人全体で開催する行事について、規模を縮小するなど感染対策を徹底しながら3年ぶりに開催しました。
- (2) 新型コロナウイルス感染症の影響により中止していた近隣の町会祭等の一部再開に伴い、イベント用のテントやパイプ椅子、綿あめ機等行物品の貸し出しを実施しました。また、近隣の町会祭等開催時には本部施設の敷地を臨時駐車場として無料開放しました。
- (3) 新型コロナウイルス感染状況に鑑み、飲食を伴うミニサロン等の地域交流について年間をとおして中止としました。
- (4) 地域交流事業の一部再開や生産活動の拡大に伴い、地域のボランティアの受け入れを一部再開しましたが、入所施設や通所施設での余暇ボランティア等については、新型コロナウイルス感染予防対策として活動中止を継続しました。
- (5) 新型コロナウイルス感染予防対策に伴い、法人利用者や地域住民が毎年楽しみにしていた福栄会まつり等のイベントを再開できない中、本部中庭芝生周辺を中心に樹木やモチーフをLEDで演出する「クリスマスイルミネーション」や夕刻より目黒川沿いの桜並木をライトアップで演出する「桜ライトアップ」を開催し、密にならないよう注意しながら利用者や地域住民の方々も参加し楽しんで頂きました。

4. 会議計画

(1) 理事会開催状況

第1回理事会 令和4年4月1日（金）

第1号議案 理事長の互選について

第2回理事会 令和4年5月26日（木）

第1号議案 社会福祉法人福栄会定款の変更案の承認について

第2号議案 令和3年度事業報告について

第3号議案 令和3年度指定管理業務事業報告について

第4号議案 令和3年度決算について

第5号議案 社会福祉充実計画について

第6号議案 令和4年度定時（第105回）評議員会の開催について

第7号議案 品川区立障害児者総合支援施設の管理運営に関する基本協定の締結について

第8号議案 品川区立障害児者総合支援施設の指定管理料に関する年度協定の締結について

第9号議案 令和4年度品川区立障害児者総合支援施設の事業計画（案）の承認について

第10号議案 役員等賠償責任保険契約について

第11号議案 独立行政法人福祉医療機構福祉貸付資金借入金の連帯保証人の変更について

第12号議案 南品川むつみ園に係る賃貸借契約に伴う借主・連帯保証人の変更について

第13号議案 品川区精神障害者地域生活支援センター運営規定の改正について

報告事項 ①理事長及び業務執行理事（常務理事）業務執行状況報告

②福栄会における新型コロナウイルスによる感染症対策について

③令和4年度契約の締結について

④令和4年度職員採用計画について

⑤その他

第3回理事会 令和4年9月15日（木）

第1号議案 品川区立品川児童学園運営規程の制定について

第2号議案 品川区立障害児者総合支援施設 障害児日中一時支援運営規程の制定について

第3号議案 品川区南品川障害児者相談支援センター運営規程の制定について

第4号議案 品川区立障害児者総合支援施設 地域活動支援センター運営規程の制定について

第5号議案 品川区立障害児者総合支援施設（訪問系サービス）運営規程の制定について

第6号議案 品川区立障害児者総合支援施設「移動支援」運営規程の制定について

第7号議案 品川区立障害児者総合支援施設 生活介護運営規程の制定について

第8号議案 品川区立障害児者総合支援施設 就労継続支援（B型）運営規程の制定について

第9号議案 品川区立障害児者総合支援施設 短期入所運営規程の制定について

第10号議案 組織管理規程の改正について

第11号議案 就業規則の改正について

第12号議案 準職員就業規則の改正について

第13号議案 給与規程の改正について

第14号議案 経理規程の改正について

第15号議案 建造物等管理規程の改正について

第16号議案 給与規程第18条別表（3）の改定について（処遇改善加算）

第17号議案 育児・介護休業等に関する規則の改正について

第18号議案 令和4年度第1回補正予算（案）について

第19号議案 幹部職員の任免について

報告事項 ①令和4年度第1回苦情解決・サービス向上委員会について

②令和4年度第1回虐待防止対策委員会について

③福栄会における新型コロナウイルスによる感染症対策について

④その他

第4回理事会 令和4年12月8日（木）

第1号議案 令和5年度運営計画について（意見交換）

第2号議案 令和4年度第2回補正予算（案）について

第3号議案 南品川むつみ園に係る賃貸借契約について（更新）

第4号議案 給与規程の改正について

報告事項 ①理事長及び業務執行理事（常務理事）業務執行状況報告

②令和4年度上半期実績報告について

③福栄会における新型コロナウイルスによる感染症対策について

④品川区立障害児者総合支援施設（ぐるっぼ）の視察について

⑤その他

第5回理事会 令和5年1月30日（月）※理事会決議の省略

第1号議案 社会福祉法人福栄会第17期評議員選任にともなう候補者の推薦について

第6回理事会 令和5年3月16日（木）

第1号議案 就業規則の改正について

第2号議案 給与規程の改正について

第3号議案 通所介護等事業所の運営規程の改正について

第4号議案 障害者福祉事業所の運営規程の改正について

第5号議案 令和4年度第3回補正予算（案）について

第6号議案 令和5年度事業計画（案）について

第7号議案 令和5年度指定管理事業計画（案）について

第8号議案 令和5年度当初予算（案）について

第9号議案 令和5年度契約の締結について

- 第10号議案 社会福祉法人福栄会第18期理事候補者の選任について
第11号議案 令和4年度第2回(第106回)評議員会の開催について
第12号議案 幹部職員の任免について

- 報告事項 ①福栄会における新型コロナウイルスによる感染症対策について
②令和4年度第2回苦情解決・サービス向上委員会について
③令和4年度第2回虐待防止対策委員会について
④令和4年度職員採用試験結果について
⑤その他

(2) 評議員会開催状況

令和4年度定時評議員会 令和4年6月14日(火)

第1号議案 社会福祉法人福栄会定款変更の承認について

第2号議案 令和3年度決算における計算書類(貸借対照表及び収支計算書)及び財産目録について

第3号議案 社会福祉充実計画の承認について

- 報告事項 ①令和3年度事業報告について
②福栄会における新型コロナウイルスによる感染症対策について
③その他

第2回評議員会 令和5年3月30日(火)

第1号議案 社会福祉法人福栄会第18期理事の選任について

- 報告事項 ①社会福祉法人福栄会第17期評議員の選任について
②令和5年度事業計画について
③令和5年度当初予算について
④幹部職員の任免について
⑤福栄会における新型コロナウイルスによる感染症対策について
⑥その他

(3) 会議開催状況

運営会議	毎月第1、3木曜日開催
係長・主任会議	毎月第1火曜日開催
安全衛生委員会	毎月第4水曜日開催
防災委員会	毎月奇数木曜日開催
給食委員会	毎月第1水曜日開催

5. 研修について

新型コロナウイルス感染状況を注視しながら 一部集合研修を再開しました。
動画視聴及びオンラインによる外部研修等への参加のため、研修室の環境整備やタ

ブレット端末の貸し出しなど、人材育成を支援しました。また、資格取得に向けた研修会の実施や資格取得助成などの取り組みを積極的に実施しました。

(1) 法人研修

①全職員を対象として、虐待防止チェックリストを実施しました。

・第1回 令和4年7月7日(木)～令和4年8月8日(月)

・第2回 令和5年2月9日(木)～令和5年3月2日(木)

②常勤職員を対象として、各事業所にて情報セキュリティ研修を実施しました。

③業績評価の評価にあたる管理・監督職を対象として、業績評価研修を実施しました。

・第1回 令和4年11月22日(火) 法人講師研修

・第2回 令和4年12月6日(火) 外部講師研修

(2) 資格取得研修

介護福祉士 3名合格

社会福祉士 4名合格

精神保健福祉士 3名合格

上級救命講習 2月27日(月)・3月1日(水)

3月6日(月)

(3) 新任職員研修

令和4年度中途採用職員研修 3月14日(火)

令和5年度新採用職員全体研修 3月27日(月)～29日(水)

令和5年度新採用職員現場研修 3月30日(木)～31日(金)

6. 防災計画について

新型コロナウイルス感染予防対策として利用者が密になる場면을回避し、集団感染リスクを防いだ上で防災機器の点検や緊急時の連絡方法の確認等を中心とした防災訓練を毎月1回実施しました。

7. 施設設備管理の点検強化

法人本部建物を始め、品川区より受託管理している各建物について感染対策を徹底して上で、専門管理業者と共に適正な維持管理に努めました。

8. 苦情解決について

利用者サービスの向上・充実を図るため第三者委員による内部検査を実施し、利用者の立場になって業務を点検し、改善を図りました。令和4年度は7月12日(火)、12月6日(火)に委員会を実施し、以下のとおり対応しました。

<令和4年度苦情内容>

施設名	苦情内容	対応
品川区立東品川高齢者多世代交流支援施設（東品川ゆうゆうプラザ）	<p>令和4年11月22日（火）東品川ゆうゆうプラザ利用者 A 氏より以下の苦情を受ける。</p> <p>利用手続きにあたり他のシルバーセンターとの違いからそのやりとりの中で、「文句があるなら来るなどと言われた。職務質問するみたいに何しに来たと聞かれるなど、その後の対応を含め失礼な態度に腹がたった。」との訴え。</p>	<p>令和4年11月22日（火）A 氏が来館時に無言で立っているため、B 職員がどのような利用か声かけをしたところ、「警察みたいに職務質問するな」と大声で激高。別の C 職員が適切に案内するためと説明するも「他の施設ではそのようなことはしていない。最低な接客だと」と収まらず。旧シルバーセンター時代からビリヤードの仕様等が変わったことなど不満を見せる。対応した職員が「そんなに気に食わない施設なら利用しなくて結構です」と伝える。手続きをせずビリヤード利用。</p> <p>D 管理者より来館時の状況を本人に確認。「文句があるなら来るなどと言われた。職務質問するみたいに何しに来たと聞かれるなど、その後の対応を含め失礼な態度に腹がたった。との訴えのため、「文句があるなら・・・」の発言については不快な思いをさせたことを謝罪する。なお、理由なく職員を怒鳴りつける行為はやめてほしいこと、新型コロナウイルス感染対策のため入館手続きを行ってほしいことを伝える。</p> <p>本人より「他施設で行っていない受付に対し怒るのは当然で入館手続きも行わない。もう二度と来ない。」との発言。退館したため対応終了。</p> <p>同日、品川区高齢者地域支援課の窓口と同様の訴えあり。同課より館に事実確認の問合せあり経過説明。受付手続きは区の指示のため変更しないこと、他の利用者に迷惑がかかるため、ルールを守らない利用は入館をお断りすることを確認。</p> <p>いかなる場合でも利用者に対し、不快な思いにつながるような言動は行わないことを職員間で確認した。</p> <p>11月29日（木）A 氏より福栄会本部へ電話にて同様の訴えあり。手続き方法は変わらないこと、不適切な発言については指導する旨を伝える。</p>

9. 新型コロナウイルス感染症への対応について

新型コロナウイルス（以下、コロナとする。）の都内における一日の新規感染者数は約8,000人と高止まりの状況を見せている中、新年度の4月早々、障害者通所施設において小規模ながら集団感染が発生しました。流行の主体が、感染力が高いとされるコロナのオミクロン株が「BA.2」系統に置き換わりつつあるとして、感染拡大への警戒が必要とされました。

4月後半から5月にかけては、都内の新規感染者数が横ばいから減少傾向を見せていたことから、6月中旬には東京都の警戒レベルが引き下げられました。しかし、6月下旬になると感染者が再び増加し始めたことから、東京都は幅広い世代に対して、3回目のワクチン接種の勧奨を促進するとともに、高齢者や重症化リスクが高い方へは4回目のワクチン接種を加速させることとしました。欧州でもコロナ感染者数が急増し、感染力の強いオミクロン株の変異系統「BA.4」と「BA.5」が主流株になっていくとして警戒されています。

7月に入ると都内の感染拡大のスピードは加速し、12日頃には、新規感染者数が10,000人を超える状況となります。「BA.2」より感染性が高いとされる「BA.5」への置き換わりが進んでいるとされました。第7波の到来です。コロナの検査の陽性率は急速に上昇し、医療体制がひっ迫する状況が始まりました。感染予防として、高齢者施設入所者への4回目のワクチンの接種が開始されます。中旬には、これまでに経験したことのない爆発的な感染状況になるとされ、福栄会の各施設からも、連日のように感染者の報告が上がるようになりました。7月28日には、都内の一日の新規感染者数は40,000人を超える事態となりました。感染の拡大に伴い、就業制限を受ける人が多数発生し、医療を始めとした社会機能の維持に影響を及ぼす状況となりました。

8月に入り、都内の新規感染者数は減少傾向を見せ始めましたが、高止まりの状況は続きます。感染症法に基づく移動制限等は発令されることはなく、15日には、国内で新たに約13万8,600人のコロナ感染者が確認される事態になりました。

9月に入り、感染者数の高止まりが続いていた中、障害者通所施設で再び集団感染が発生します。利用者特性からマスク着用など感染対策の励行の難しさと感染力の強さを痛感させられました。9月中旬以降になると、徐々に新規感染者数が減少傾向を見せ始めます。下旬から、障害者施設利用者への4回目のワクチン接種が始まりました。使用ワクチンはオミクロン株対応となっています。

10月に入り、感染者数は増加傾向を示していなかったものの、高齢者の通所介護施設で集団感染が発生しました。一時施設を休業し管内消毒を行いました。幸い重症化した利用者はありませんでした。

11月に入ると、都内の一日の新規感染者数が再び増加し始めます。10月下旬は約5,000人程度でしたが、22日には12,000人を超える状況となりました。

12月に入っても、感染者数は高い水準のまま推移します。冬季に入るため、インフルエンザとのダブル流行が危惧されました。中旬には、高齢者施設入所者への5回目のワクチンの接種が開始されました。下旬には、都内の一日の新規感染者数は20,000人を超えるようになり、第8波の到来の様相を呈しました。

令和5年1月に入り、高齢者入所施設で集団感染が発生しました。昨年1月にも集団感染が発生しましたので、冬季は乾燥も関係してか感染が拡がりやすい状況にあることをあらためて認識させられました。中旬頃になると、都内の新規感染者数は減少傾向を見せ始めます。

2月から3月期にかけては、都内の新規感染者数は減少を続け、福栄会も落ち着いた状況で、利用者や職員の間で新規感染者が出たという話が聞こえなくなりました。ただし、都内の新規感染者が下げ止まりの状況にあることや、コロナの変異株が、流行の主体であった「BA.5系統」から、より感染力が強いとされる「XBB.1.5系統」への置き換わりが進んでいて、今後の動向を注視する必要があるとされたことから、予断を許さない状況にあると考えられました。

福栄会は、引き続き、体温計測による発熱等のチェック、マスク着用、手指消毒、居室の換気、風邪の初期症状が現れた場合は出勤を控えるなど、感染予防策を取りながら事業運営に取り組んでいます。

総務課事業報告

1. 基本方針

高齢者、障害者、児童福祉等の総合福祉施設という特色を生かし、人事、給与、会計等事務処理体制について、総合的かつ適切な執行を行いました。また、新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底した上で、社会福祉法人として地域住民の方々に対し「クリスマスイルミネーション」や「桜ライトアップ」などを開催し地域貢献活動に取り組みました。

2. 重点目標

- (1) 「ぷりすくーる西五反田」、「ぐるっぼ」など飛躍的に増大する事業を踏まえ、経営能力の抜本的な強化に取り組みました。
- (2) 令和4年10月から指定管理を受託した品川区立障害児者総合支援施設「ぐるっぼ」の安定した運営に主管部と連携して取り組みました。
- (3) 感染予防を徹底した上でオンラインを活用した積極的な広報活動及び研修体制の充実を図ることで、多様な福祉人材確保に向けた取り組みを強化しました。

3. 事務の執行

(1) 総合的な福祉施設としての効率的な事務処理

高齢者、障害者、児童福祉等の総合施設という特色を生かし、人事、給与、会計等の事務処理について、総合的かつ効率的な執行に取り組みました。また、令和4年10月から指定管理を受託した品川区立障害児者総合支援施設「ぐるっぼ」について、主管部と連携し効率的な事務処理等に努めました。

(2) 福利厚生事業の充実

- ①職員の健康管理について、定期健康診断・成人病予防検査・インフルエンザ予防接種・メンタルヘルスチェック等を実施し、健康管理に努めました。

新型コロナウイルス感染症予防対策として、職員のマスクの着用、手洗いやアルコールによる手指消毒の励行、飛沫防止用アクリル板の設置、手すり等の消毒、居室等の換気の励行、職員や利用者の体温計測による発熱等の健康状態のチェック、入所者へ事前予約による面会制限など、感染症への予防と拡大防止に取り組みました。

新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、ワクチンの早期接種を勧奨するため、新型コロナウイルスワクチン接種及び接種後の副反応に対する特別休暇の適用を継続しました。

- ②新型コロナウイルス感染状況に鑑み、令和4年度の職員親睦会活動は中止としま

した。

③職員室の事務机や椅子の見直しや空調機の更新など、職員の職場環境改善計画等を考慮しながら実施しました。

(3) 事務処理の迅速化

会計と経理、請求事務と出納事務、人事と給与など業務区分を更に明確にし、会計監査、給与計算事務会社とさらに連携しながら迅速な事務処理を行いました。

(4) 事務員の育成

令和4年10月から指定管理を受託した品川区立障害児者総合支援施設「ぐるっぽ」について、人事、給与、会計等の事務処理を適切に行うため専門的事務員の育成に努めました。

(5) 情報管理体制の強化

福栄会の情報管理安全対策として職員向けの研修等を実施し、適正な管理・運用に努めました。

4. 地域貢献活動（地域開放事業）

(1) 関係機関・団体等との連携及び施設機能の地域への提供

新型コロナウイルス感染症の影響により中止していた近隣の町会祭等の一部再開に伴い、イベント用のテントやパイプ椅子、綿あめ機等行事物品の貸し出しを実施しました。また、町会祭等開催に際して本部施設の敷地を臨時駐車場として無料開放しました。

(2) 行事等の実施

令和4年度は新型コロナウイルス感染状況に注視しながら、「合同防災訓練」及び「炊き出し訓練」など法人全体に関わる行事について、規模を縮小するなど感染対策を徹底しながら3年ぶりに開催しました。

また、本部中庭芝生周辺を中心に樹木やモチーフをLEDで演出する「クリスマスイルミネーション」や夕刻より目黒川沿いの桜並木をライトアップで演出する「桜ライトアップ」を開催し、利用者や地域住民の方々に、密にならないよう注意しながら楽しんで頂きました。

5. 防災対策

新型コロナウイルス感染症予防に配慮し、利用者が密になる場面を回避しながら防災機器の点検や緊急時の連絡方法の確認等を中心とする防災訓練を毎月1回実施しました。また居室等の家具の転倒防止、物品の落下防止などを行いました。

(1) 小規模社会福祉施設防火実務講習の開催

新規採用職員を対象に、防災機器の取り扱いや避難方法についての講習会を実施し緊急の場合に備えました。

(2) 消防訓練の実施

毎月1回、昼夜想定 of 消防訓練を実施しました。また、マニュアルを確認するとともに、職員に周知徹底を図りました。

(3) 救命講習（上級講習、自動体外式除細動器業務従事講習）

参加者は密にならないよう少人数での実施とし、新採用職員を中心に上級救命講習会を年3回実施しました。なお自動体外式除細動器業務従事講習（AED）を年3回実施しました。

(4) 近隣との協力

新型コロナウイルス感染状況を注視しつつ、規模を縮小するなど感染対策を徹底したうえで、地元四町会及び品川消防団、品川消防署、品川警察と合同で11月27日（日）に総合防災訓練を3年ぶりに実施しました。また、本部建物、品川区立かがやき園及び品川区立家庭あんしんセンターにおいて職員参集訓練を実施し、52名の職員が参加しました。

6. 防犯対策

本部建物、品川区立かがやき園、品川区立家庭あんしんセンター、品川区立障害児者総合支援施設において、非常通報装置等の確認及び緊急時の連絡方法の見直し等を行い、防犯対策に取り組みました。

7. 施設管理（営繕）体制

経年劣化した法人建物を適正かつ効率よく管理するため、建物ごとに保守管理計画を作成し実施しました。新型コロナウイルス感染症予防のため、工事に関わる方への検温の実施や体調確認等を行い、感染防止に努めました。また、職員が立ち会うなど利用者の安全確保と工事個所の確認を適切に行いました。

8. 広報

法人の広報活動のあり方を幅広く検討し、福栄会についての情報開示をより推し進め、区民及び関係者の理解と協力が得られるように働きかけました。また、法人総合情報誌「ふくえいだより」の発行により、法人の活動状況の周知を図りました。さらに、適宜ホームページの更新を行い、広報活動の充実に努めました。

第93号・春号	令和	4年	5月13日	発行
第94号・夏号	令和	4年	10月28日	発行
第95号・冬号	令和	5年	3月25日	発行

9. 職員について

(1) 職員の配置状況

* () 内は準職員等数

令和5年3月31日現在

施設名	施設長	事務員	介護支援員	看護師	栄養士	医師	OT PT	計	委託
									運行
晴楓ホーム	1	(1) 1	(19) 33	(3) 3	1	(3)	1	(26) 40	
東海ホーム	1	1	(1) 5	1	1			(1) 9	
東品川在宅 サービス課	1	(1) 1	(27) 19	(3) 1			(1) 1	(32) 23	(1)
大崎在宅 サービス課	1	(2) 1	(17) 19	(6)				(25) 21	(2)
第一 しいのき学園	1	1	(13) 5	(2) 1		(2)		(17) 8	(2)
第二 しいのき学園	1	(1)	(12) 8					(13) 9	
福栄会障害者 相談支援センター	1		7					5	
西大井福祉園 (グループホームを含む)	1	(1) 1	(22) 14	(1)		(1)		(25) 16	(2)
家庭 あんしんセンター	1	(1) 2	(30) 15			(1)		(32) 18	
かがやき園	1	(1) 2	(22) 21	1	1	(1)		(24) 26	
南品川むつみ園	1		(3) 1	(1)		(1)		(5) 2	
かもめ工房	1	(2)	(31) 15			(1)		(34) 16	
平塚・東品川高齢者 多世代交流支援施設	2	(4)	(17) 4					(21) 6	
就学前乳幼児教育施設 (ぶりすくーる西五反田)	1	(1) 2	(11) 19	1		(3)		(15) 23	
障害児者総合支援施設 (ぐるっぽ)	3	4	(47) 48	1	1	(11)	(3) 2	(61) 59	(6)
計	18	(15) 16	(272) 233	(16) 9	4	(24)	(4) 4	(331) 281	(13)

※産前・産後休暇等6名 品川区地域包括支援センター出向1名

(2) 令和4年度の職員採用及び退職

令和4年度採用	4月 1日	介護福祉士	: 2名
		社会福祉士	: 6名
		精神保健福祉士	: 2名
		保育士	: 17名
		理学療法士	: 1名
		作業療法士	: 1名
		社会福祉主事	: 5名

合計34名

令和4年度退職	3月31日	介護支援専門員	: 1名
		社会福祉士	: 1名
		精神保健福祉士	: 1名
		保育士	: 9名
		看護師	: 1名
		社会福祉主事	: 1名

合計14名

(3) 職員採用活動

令和5年度新規職員採用は、新型コロナウイルス感染症予防のため少人数での見学説明会やオンラインでの就職説明会等を実施し、品川介護福祉専門学校など28学校や一般を含め41名の受験があり、うち中途採用者を含め36名を採用しました。これらの新規採用者については、5日間の事前研修を行い各施設に配属しました。

令和4年	6月 4日 (土)	受験者	2名	内定者	2名
令和4年	6月18日 (土)	受験者	3名	内定者	3名 (7月採用1名)
令和4年	7月23日 (土)	受験者	4名	内定者	4名 (10月採用1名)
令和4年	8月27日 (土)	受験者	5名	内定者	4名 (10月採用1名) (11月採用1名)
令和4年	9月17日 (土)	受験者	4名	内定者	3名 (1月採用2名)
令和4年	9月24日 (土)	受験者	1名	内定者	1名
令和4年	10月11日 (火)	受験者	1名	内定者	1名 (11月採用1名)
令和4年	10月15日 (土)	受験者	1名	内定者	1名
令和4年	10月29日 (土)	受験者	4名	内定者	4名 (12月採用1名)
令和4年	11月12日 (土)	受験者	2名	内定者	1名
令和4年	11月26日 (土)	受験者	1名	内定者	1名
令和4年	12月17日 (土)	受験者	2名	内定者	2名
令和5年	1月26日 (木)	受験者	3名	内定者	3名

令和5年	1月28日(土)	受験者	1名	内定者	1名
令和5年	2月11日(土)	受験者	2名	内定者	2名
令和5年	2月14日(火)	受験者	1名	内定者	1名
令和5年	2月18日(土)	受験者	1名	内定者	1名
令和5年	2月28日(火)	受験者	1名	内定者	0名
令和5年	3月9日(木)	受験者	1名	内定者	1名
令和5年	3月11日(土)	受験者	1名	内定者	0名
合計			41名		36名

※令和4年9月1日採用の常勤嘱託職員1名及び令和5年4月1日採用の常勤嘱託職員5名を除く。

(4) 職員親睦会について

新型コロナウイルス感染状況に鑑み、令和4年度の職員親睦会活動については、中止としました。なお、職員親睦会総会については、新型コロナウイルス感染予防のため、書面で実施しました。

栄養課事業報告

1. 基本方針の遵守

利用者、各施設職員、調理スタッフ3者間におけるコミュニケーションの場として東海ホーム利用者及び東品川デイサービス利用者との給食懇談会を各2回予定していましたが、新型コロナ感染症防止対策の観点から懇談会は中止し、ミニアンケート（書面）の形で利用者の意見を伺いました。

2. 重点目標への対応

(1) 利用者のニーズにあった食事の提供

喫食時の観察・声かけや残菜調査及び嗜好調査、給食委員会での意見交換、検食簿での評価等により利用者のニーズを把握し、献立に反映させることができました。

生活に潤いと日本の文化や季節を伝える行事食を年16回実施しました。

(2) 食品衛生管理の充実を図るため、給食施設における大量調理施設衛生管理マニュアルを遵守し、毎朝礼時における調理従事者の服装・毛髪・手指のチェックや厨房全域・器具機材配膳車等の清掃・消毒を厳重に行い、年間を通して食中毒予防に努めました。

(3) 厨房設備、備品類は計画に基づき更新を図り、厨房作業環境の構築に努めました。

3. サービスの実際

(1) 食事提供内容の充実と適切な食事習慣の育成等に向けた取り組みとして

① 選択食の充実

ア 朝食は通常米飯食・粥食での提供、毎週日曜日と水曜日はパン食メニューで提供しました。

イ 昼食時、麺選択を年20回、主菜選択を12回実施しました。

ウ 夕食時の複数選択については実施できなかったため、令和4年度から実施するよう努めます。

② 嚥下困難者への食事の提供として、状態に応じて刻み食、みじん切り食、ペースト食で対応しました。

(2) 調理技術向上の取り組み

① 給食委員会を本部施設、西大井地区でそれぞれ12回開催し、利用者のニーズの把握に努めました。

(3) 食品衛生管理の充実

① 定例給食委員会において食品衛生管理体制の確立を図りました。

② 厨房清掃の徹底を図るため、毎日の清掃に加え定期清掃を計画的に計48回

実施しました。また厨房の水道水（飲料水）の残留塩素濃度測定を毎日行いました。

③調理従事者の健康管理

ア 検便を毎月1回、調理師のノロウイルスの検査も毎月1回実施しました。

イ 健康診断を年1回実施しました。

ウ 毎日、自己チェックと朝礼時の全体相互チェックを行いました。

(4) 栄養管理

①栄養摂取基準量

令和4年4月15日現在で、利用者個々の年齢・性別・基礎代謝量・生活活動強度により適正量を算出し、各施設の令和4年度目標栄養量を設定しました。

②①の栄養摂取基準量に基づき、食品構成表を作成しました。

③献立作成

②の食品構成に基づき、利用者の嗜好や歳時・季節感等を考慮しながら高齢者・知的障害者向けにそれぞれバランスのとれた献立を作成しました。

④栄養ケアマネジメント

特別養護老人ホーム（晴楓ホーム）及び障害者入所施設（かがやき園）の各利用者に栄養ケアマネジメントを実施し、計画に沿ったサービスの提供により適正な栄養管理や肥満防止に努め、栄養管理体制の充実を図りました。

(5) 食事の種類

①一般食（常食・軟菜食）

②摂食・嚥下機能に応じて一口大・刻み食・みじん切り食・ペースト食で対応しました。

③生活習慣病など医療的配慮を必要とする場合や、機能障害等に対応した療養食にも対応しました。

④アレルギーや禁忌食品に対応し代替食を実施しました。

(6) 食事時間

朝食7:30～8:30まで、昼食12:00～13:00まで、夕食17:45～18:45まで、概ね時間通りに食事の提供を行いました。

(7) 行事食等

①日本人の食文化や季節を伝える行事食を概ね毎月1回実施しました。

②ミニバイキングに代わるお楽しみ給食を年4回実施しました。

(8) 配食サービス

令和4年度は、五反田ふれあいデイサービスで保育園側の厨房改修工事期間中4週に亘り、計34食の配食を行いました。

(9) 1食当たりの食材単価は下表により履行しました。

	高齢者部門	障害者部門	職員・外来	配食
朝食	200円	200円	200円	—
昼食	320円	320円	320円	320円
夕食	300円	300円	320円	—

なお、行事食については別枠で行いました。

(10) 検食・保存食

- ①検食・・・栄養士及び各施設管理者が毎食実施し、記録しました。
- ②保存食・・・1品50gを2週間以上冷凍保存しました。

(11) 食事管理

献立と調理内容の適合、個別の食種コメント等のチェックを配膳前に行い盛り付けや食器の工夫など、食事環境面にも配慮しました。

4. 各施設との連携など

(1) 調査・研究

- ①嗜好調査・・・各施設職員の協力を得て嗜好調査を実施し、結果をもとに献立に反映させることができました。
- ②残菜調査・・・毎食ごとに残菜を確認し、喫食状況の観察とあわせて必要な栄養量が確保されているか確認しました。

(2) 栄養指導・相談

- ①医師・看護師・介護職員からの要請に応じて実施しました。

5. 防災・その他非常時対策

- (1) 業務終了時におけるガス器具の元栓、電気器具の電源の点検と記録を確実に行いました。
- (2) 法人本部の防災訓練時に合わせ、課内初期消火訓練に取り組みました。
- (3) 非常食の有効利用を目的として、消費期限の直前に献立に取り入れて提供し、使用分の補充も行いました。

6. 連絡調整・諸会議

(1) 課内連絡

朝礼を毎日実施しました。

(2) 他部門との連絡

- ①晴楓ホーム職員朝礼と事務部朝礼に栄養士が合流しました。
- ②給食委員会を毎月実施し、栄養士・調理師・各施設管理者及び給食委員が参加しました。

(3) 利用者給食懇談会

新型コロナ感染症感染防止対策により、懇談会をミニアンケートに代えて東海ホーム利用者の給食に関する意見などをお聞きしました。

7. 厨房設備等の更新

本部施設厨房設備の更新を次のとおり実施しました。

- (1) 食器洗浄機
- (2) 業務用冷蔵庫・冷凍庫・コールドワゴン
- (3) ダクト清掃
- (4) 副菜用小鉢、デザート用小鉢、高齢者部門用飯茶碗類及び主菜皿、しいのき学園用スープカップ・カレー皿、ポリプロピレン製食器カゴなど
- (5) ホットワゴン

8. 給食状況報告

(1) 福栄会本部

利用者(延食数) R4. 4. 1~R5. 3. 31

施設 食種・形態		晴楓	ショート ステイ	東海	東品川S・C		しいのき			計(人)	
					デイ	配食	第1	第2	むつみ園		
主食	米飯	18,881	6,330	42,588	11,750	34	8,957	10,645	2,083	101,268	
	粥	57,713	2,059	5,331	1,596	0	412	0	0	67,111	
	流動	4,033	0	0	0	0	0	0	0	4,033	
計		80,627	8,389	47,919	13,346	34	9,369	10,645	2,083	172,412	
一般食	常食	普通	7,769	3,689	39,932	9,043	34	5,509	10,228	2,083	78,287
		一口切	7,156	1,297	6,033	1,346	0	1,961	0	0	17,793
		刻み	4,348	34	1	92	0	0	0	0	4,475
		みじん	0	0	0	0	0	381	0	0	381
	軟菜食	普通	0	28	700	225	0	0	0	0	953
		一口切	8,667	982	0	755	0	0	0	0	10,404
		刻み	24,629	681	0	404	0	54	0	0	25,768
		みじん	0	0	0	0	0	115	0	0	115
	ペースト食		18,346	447	0	68	0	243	0	0	19,104
	経管流動食		4,033	0	0	0	0	0	0	0	4,033
治療食	減塩食	普通	23	176	121	841	0	0	417	0	1,578
		一口切	80	1,004	1,132	218	0	0	0	0	2,434
		刻み	2,523	0	0	0	0	0	0	0	2,523
		ペースト	549	0	0	0	0	0	0	0	549
	糖尿病食	普通	1,269	51	0	275	0	391	0	0	1,986
		一口切	0	0	0	75	0	451	0	0	526
		刻み	705	0	0	4	0	245	0	0	954
		みじん	186	0	0	0	0	19	0	0	205
		ペースト	344	0	0	0	0	0	0	0	344
	その他	普通	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		一口切	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		刻み	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	貧血症	流動	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計		80,627	8,389	47,919	13,346	34	9,369	10,645	2,083	172,412

外来食

視察者	家族	ボラ	実習生	その他	体験利用	計
54	4	15	868	84	16	1,041

職員食

計
23,056

(2) 西大井福祉園

利用者(延) R4. 4. 1~R5. 3. 31

食種・形態		西大井福祉園		
主食	米飯		8,268	
	粥		0	
	ミキサー粥		212	
計			8,480	
一般食	常食	普通	8,321	
		一口切	640	
		刻み	0	
		みじん	0	
	軟菜食	普通	0	
		一口切	0	
		刻み	0	
		みじん	0	
	ペースト食			210
	流動食			0
治療食	減塩食	普通	0	
		一口切	0	
		刻み	0	
	糖尿病食	普通	0	
		一口切	0	
		刻み	0	
	みじん		0	
		脂肪制限	普通	235
		その他	一口切	0
	刻み		0	
	みじん		0	
	計			9,406

外来食

実習生	グループホーム	体験利用
186	105	3
研修	視察	計
98		392

職員食

計
4,054

(3) 大崎在宅S・C

利用者(延) R4. 4. 1~R5. 3. 31

食種・形態		大崎在宅S・C		
主食	米飯		9,211	
	粥		1,269	
	ミキサー粥		228	
計			10,708	
一般食	常食	普通	8,094	
		一口切	1,218	
		刻み	105	
		みじん	0	
	軟菜食	普通	81	
		一口切	296	
		刻み	405	
		みじん	0	
	ペースト食			233
	流動食			0
治療食	減塩食	普通	228	
		一口切	46	
		刻み	2	
	糖尿病食	普通	0	
		一口切	0	
		刻み	0	
	みじん		0	
		蛋白制限	普通	0
		その他	一口切	0
	刻み		0	
	みじん		0	
	計			10,708

外来食

実習生	視察者	その他
44		
		計
		44

職員食

計
4,831

(4) かがやき園

利用者(延食数) R4.4.1~R5.3.31

施設		入所者	ショート	計(人)		
食種・形態						
主食	米飯	29,031	2,066	31,097		
	粥	2,213	258	2,471		
	流動	0	0	0		
計		31,244	2,324	33,568		
一般食	常食	普通	13,861	1,982	15,843	
		一口切	7,466	327	7,793	
		粗刻み	0	0	0	
		刻み	7,707	0	7,707	
		みじん	0	0	0	
	軟菜食	普通	0	0	0	
		一口切	0	0	0	
		粗刻み	0	0	0	
		刻み	0	0	0	
		みじん	0	0	0	
	ペースト食		2,210	15	2,225	
	療養食	減塩食	普通	0	0	0
			一口	0	0	0
		糖尿病食	普通	0	0	0
			一口切	0	0	0
刻み			0	0	0	
みじん			0	0	0	
糖・腎食		一口	0	0	0	
		刻み	0	0	0	
糖・肝食		普通	0	0	0	
		刻み	0	0	0	
脂肪制限		普通	0	0	0	
		刻み	0	0	0	
計		31,244	2,324	33,568		

外来食

職員食

体験	家族	実習生	その他	計	計
31		399	375	805	4,489

9. 特別献立実施状況（令和4年度）

◎…東海ホーム昼食

◇…入所施設（高齢者、知的障害者）

△デイサービス

実施日	行事名	献立内容	
4月 1日 金	新年度を祝う	ちらし寿司 炊き合わせ すまし汁 フルーツ	
5月	1日 日 開設記念日 /昼食	魚の塩麴焼 牛肉と大根の旨煮 漬物 手作りシュークリーム	
	5日 木 こどもの日	穴子ちらし 炊き合わせ すまし汁 鯉のぼりようかん	
6月 19日 日	◎お楽しみ給食	そら豆御飯 椀盛りそうめん 天ぷら 新じゃが旨煮 茶碗蒸し いかと分葱の酢みそ 赤だし 紫陽花ゼリー	
7月	7日 木 七夕 /昼食	七夕そうめん かき揚 筑前煮 水まんじゅう	
	23日 土 土用の丑 /昼食	鰻と卵の二色丼 野菜の炊き合わせ すまし汁 フルーツ	
9月	10日 土 十五夜 /昼食	御飯 魚の葱味噌焼 根菜の田舎煮 かき卵汁 お月見ゼリー	
	19日 月 敬老の日 /昼食△ /夕食	ハヤシライス マセドアンサラダ 福神漬 ロールケーキ	
		赤飯 鯛塩焼 天麩羅 炊き合せ 茶碗蒸し お吸い物 祝まんじゅう 梨	
23日 金 秋分の日 /昼食	あさりの炊き込み御飯 揚げだし豆腐 酢の物 すまし汁 おはぎ		
10月 16日 日	◎お楽しみ給食	栗と茸のおこわ 鴨南そば ぶりの柚庵焼 芋煮 和え物3種	
		赤だし モンブランプリン	
11月	3日 木 文化の日 /夕食	鉄火丼 炊き合わせ すまし汁 フルーツ	
	20日 月 ◎寿司の日	にぎり寿司 秋刀魚の有馬煮 胡麻和え だし巻 赤だし 芋羊羹	
12月	22日 木 冬至 /昼食	きしめん 茄子の味噌炒め 南瓜のいとこ煮	
	24日 土 クリスマスイブ/昼食	ケチャップライス ローストチキン ポタージュ コンポート	
		/夕食	御飯 鮭のホイル焼 牛蒡の炒め煮 クリスマスケーキ
	25日 日 クリスマス /昼食	御飯 海老フライ ポテトサラダ スープ プリン	
	31日 土 大晦日 /夕食	御飯 めばるの粕漬焼 冬瓜のうすくず煮 味噌汁 年越しそば	
1月	1日 日	◇朝食 祝い膳 雑煮（すまし仕立） 紅白蒲鉾 黒豆 数の子 紅白なます	
		◇昼食（二の重） 赤飯 鯛塩焼 松風焼 錦卵 日の出海老 煮メ 栗きんとん 吸い物	
		◇夕食 天井 菜の花の白和え 浅漬 赤だし みかん	
	2日 月	◇朝食 雑煮（味噌仕立）	
		祝い膳 口取（伊達巻・昆布巻・豆きんとん・新蓮根の真砂和え）	
		◇昼食 海鮮ちらし寿司 お浸し 味噌汁 さつま芋とりんごのレーズン煮	
		◇夕食 七福神雑炊 筑前煮 茶碗蒸し 祝い菓子（練り切り）	
	7日 土	◇七草 /朝食	七草粥 里芋のそぼろ煮 いんげんの生姜和え 煮豆 味噌汁 牛乳
	11日 水	鏡開き /昼食	御飯 ぶり大根、ほうれん草の炒め物 味噌汁 ぜんざい
	15日 土	◇小正月 /朝食	小豆粥 厚焼卵 キャベツの煮浸し 沢庵 味噌汁 牛乳

実施日		行事名	献立内容
2月	3日 金	節分 /昼食	御飯 牛皿 もやしの辛子委和え 昆布豆 つみれ汁
		/夕食	恵方巻 筑前煮 アスパラの生姜浸し 味噌汁 パイナップル缶
	12日 日	◎お楽しみ給食	海鮮ちらし 豚肉と大根の華風煮 茶碗蒸し 赤だし アップルパイ
3月	3日 金	ひな祭り /昼食	雛ちらし 豚肉と大根の含め煮 お吸い物 ミルゼリー
	21日 火	◇春分の日 /昼食	きしめん (おかめ風) 茄子の味噌炒め おはぎ

10. 給食委員会実施状況(令和4年度)

開催地	福栄会本部 (毎月第1水曜日)	かがやき園 (毎月第1木曜日)
当該施設	晴楓ホーム・東海ホーム・しいのき学園 東品川在宅サービスセンター 大崎在宅サービスセンター	かがやき園・西大井福祉園
4月	しいのき学園嗜好調査の集計結果 令和4年度栄養課行事計画・予定献立	西大井福祉園新型コロナウイルス感染症防止対策により中止
5月	新型コロナウイルス感染症対策に関すること 東海ホーム6月のお楽しみ給食開催の件 令和4年度食事摂取基準量について 予定献立	かがやき園食器類の補充購入について 令和4年度の食事摂取基準量について 利用者状況について 予定献立
6月	感染症・食中毒対策について 予定献立	新型コロナウイルス感染症対策に関すること 予定献立
7月	東海ホームお楽しみ給食の振り返り及びアンケートの集計結果・予定献立など	かがやき園厨房排水管高圧洗浄について かがやき園わんこ素麺大会開催について
8月	食事伝票の取り扱いに関すること 厨房機器更新工事に関すること・予定献立 予定献立について	かがやき園花火大会・夏まつりについて かがやき園利用者状況について 西大井福祉園利用者状況について
9月	東海ホーム秋のお楽しみ給食開催について 予定献立	かがやき園ムース食の導入に関すること 西大井福祉園コロナ感染状況報告
10月	トロミ剤の値上げについて 晴楓ホームの選択食の確認・予定献立	かがやき園さんま祭りについて 西大井福祉園つばさの家改修工事の進捗状況
11月	東海ホーム10月お楽しみ給食の振り返りにぎり寿司イベント開催の連絡・予定献立	クリスマスイベントについて 各利用者状況について・予定献立
12月	にぎり寿司の日(晴楓・東海)の振り返り 東海ホームミニアンケートの集計結果 年末年始の食事に関すること・予定献立	年末年始の行事予定について クリスマス会について 余暇活動について
1月	年末年始の行事食等の振り返り・予定献立 定期嗜好調査の実施について	年末年始の状況報告 予定献立
2月	東海ホームお楽しみ給食開催の件 予定献立	廃油の回収について 西大井福祉園スチコン修理完了報告
3月	東海ホームのお楽しみ給食の振り返り 予定献立	嗜好調査結果報告 利用者状況について・予定献立

高齢者福祉部事業報告 目次

高齢者福祉部事業報告	3 1
晴楓ホーム事業報告	3 2
東海ホーム事業報告	4 5
在宅サービス課事業報告	5 3
在宅介護支援センター事業報告	5 7
品川区東品川在宅介護支援センター	
品川区大崎在宅介護支援センター	
通所介護事業所事業報告	6 1
東品川在宅サービスセンター	
品川区立大崎在宅サービスセンター	
品川区立五反田保育園ふれあいデイホーム	
品川区ヘルパーステーション東品川事業報告	7 7
福栄会リハビリテーションセンター事業報告	7 9
東品川わかくさ荘事業報告	8 1

高齢者福祉部事業報告

1. 基本方針

利用者の人権を尊重し、利用者に寄り添ったサービスを行いました。

利用者の能力に応じて自立的な暮らしができるように利用者・家族・職員との協力関係の構築に努め支援を行いました。

また、利用者の健康維持に努め大切に、特に新型コロナウイルス等の感染症に対する予防及び罹患者発生時の対応に努めました。

2. 重点目標

(1) 生活施設及び通所施設において利用者の安全を第一とし、万全の配慮を行い利用者及び家族が安心して利用できるサービスの提供をしました。各通所施設及び訪問事業においては、感染症に留意した上で事業継続に努めました。

(2) 地域との連携を図り地域に根ざした施設運営を行うとともに、利用者それぞれの高齢化に伴う状態及び状況に対しそのご家族を含めて生活を支えるための適切なサービスの提供を行いました。

(3) 利用者サービスの更なる向上と魅力溢れる職場づくりを行うため、既存事業の見直し、新たな事業展開、計画的な施設改修等について「福栄会3か年計画」に基づいて推し進めました。

東海ホームの7階のトイレ改修等を行いました。

(4) 各施設の利用実績

①晴楓ホーム

ホーム事業（80床）	短期入所生活介護（8床）	合計利用率（88床）
94%	123.4%	96.5%

※短期入所生活介護(ショートステイ)は空床利用(4床)を含めた数値。

②在宅サービス事業（通所介護・訪問介護・居宅介護支援）

東品川在宅サービスセンター	87.8%
認知症デイホーム	34.7%
大崎在宅サービスセンター	81.1%
〃 認知症デイサービス	56.2%
五反田ふれあいデイホーム	85.1%
ヘルパーステーション東品川	399.5時間

③東海ホーム（軽費老人ホームA型）

ホーム事業（50名）	100%
------------	------

晴楓ホーム（特別養護老人ホーム・介護老人福祉施設）事業報告

1. 事業実績報告

晴楓ホームとショートステイの年間合計利用率は、96.5%でした。
 （ホーム94%・ショート123.4%）

令和4年度月別利用率の推移（定員：ホーム80名・ショート8名）（単位%）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ホーム	82.7	89.6	94	95	93	96.4	99	99	98.4
ショートステイ	128.3	126.2	108	122.1	126	142	121.4	108	125
合計利用率	87	93	96.4	98.3	96	100	100	100	100

	1月	2月	3月	年間利用率	令和3年度年間利用率
ホーム	93.2	91.2	94.3	94	95.1
ショートステイ	102	114.3	133.1	123.4	114.1
合計利用率	94	93.3	97.8	96.5	96.8

※小数点第二位四捨五入

2. 重点目標報告

(1) 抱えない介護の実践を推し進めます。

晴楓ホーム4居室に天井走行リフトを造設しました。移乗用リフトやスライディングボード等の移乗用補助具の使用を徹底し、抱えない介護の実践を行い、介護職員の負担軽減を図りました。

より安全に移乗用リフトを使用できるように内部研修会を開催しました。

介護職員が腰痛予防に対して意欲的に取り組んだこともあり、腰痛により長期的な療養を必要とする介護職員の発生はありませんでした。

(2) 設備整備及び施設改修を行います。

各階それぞれ2居室に天井走行式リフトを新たに設置し、職員の腰痛防止とともに、利用者にも移動中の打撲等の負担が掛からぬように対応しました。

利用者の安全及び職員の業務軽減を鑑み、眠りスキャンや見守りカメラ等のデジタル機器を導入し、使用開始しました。

(3) 安定した利用の確保に努めます。

利用者の健康管理に留意し、嘱託医と連携し、早期発見、早期対応に努めました。また、緊急対応訓練を事業所内研修で行い、対応技術の向上を図りました。

事故防止対策として、リフトインストラクターの職員が中心となりリフト操作の実技勉強会を実施しました。

事故報告・ヒヤリハット報告書を再発防止に活用し、転倒防止用のセンサーマット（床用・ベッド用・車椅子用）等の活用を行いました。

コロナウイルス等感染症の予防対策として、週2回の抗原検査、週1回のPCR検査に加え、週2回の抗原検査を実施し、利用者、職員のワクチン接種、体温チェック、手洗い、マスクの装着等を行い、感染予防に努めてきましたが、令和4年12月下旬から同1月下旬まで晴楓ホーム内でコロナウイルス集団感染が発生し（利用者罹患者数23名）、品川区保健所の指導のもと対応を行いました。

インフルエンザA型及胃腸炎の罹患者は、ありませんでした。

3. 家族との連携・協力

コロナウイルス蔓延のため、例年に比べご家族との連携・協力の場面が激減してしまいました。1階のパブリックスペースでの面会（予約制）を感染症の蔓延の推移を見極めながら実施しました。

4. 身体拘束廃止・虐待防止

(1) 身体拘束廃止に向けた取り組み

身体拘束の廃止に向けた取り組みとしてセンサーマットや立位時にブレーキが掛かる車椅子等の活用を計るなど、身体拘束防止に努めました。

(2) 利用者に対する人権擁護（虐待防止）

利用者の人権を擁護するとともに、対人援助における介護者の精神的ストレスを軽減するため、チームでのケア「抱えない介護」の取り組みを行い、虐待を生まない施設作りを行いました。

ホーム内でも、動画配信等を活用し、虐待防止（身体拘束）研修を実施しました。

法人の取り組みである虐待防止チェックを2度行い、その結果を基に事業所内で事例検討や意見交換等を行いました。

また、アンガーマネジメントに関する意見交換を行いました。

5. 機能回復訓練の実施について

(1) 個別機能訓練実施計画書に基づく機能訓練の実施

機能訓練指導員（理学療法士）・介護・看護チームと作成した個別機能訓練実施計画書に基づき、リハビリを実施し、利用者の身体機能の維持・向上に努めました。

(2) 感染症対策に留意しつつ、各利用者の生活に必要なリハビリテーションを行いました。

コロナ禍でリハビリ室に誘導が困難な時期は、利用者に対して、フロアで離床時やベット周りでのリハビリの機会を増やしました。

また、車椅子上の食事姿勢の安定を目的にするなど、より生活に関連するリハビリを実施しました。各利用者の生活上での問題点に着目し、車椅子やベッドでの安楽なポジショニング、クッションの置き方等の検討を介護職と連携して行いました。

ショートステイ利用者についても、感染症対策に留意したうえでリハビリプログラムを提供しました。

(3) 職員の腰痛予防対策を一層推進しました。

機能訓練指導員が利用者の状態に合わせたリフト・シートの種類の選択、使用方法の確認を行いました。安全にも一層配慮し、退院後や骨折後の利用者のリフト移乗の確認を介護職員と一緒に行いました。

リフト移乗による機能低下の可能性についても着目し、残存機能の評価を行い立位機能のある利用者には トランスファーボード・ターンテーブル等の介護用具を使った移乗方法の検討も併せて行いました。

6. 東京都福祉サービス第三者評価受審及び自己評価の実施

(1) 福祉サービス第三者評価の受審

今年度は「第三者評価 利用調査」を受審し、現状のサービス内容の客観的評価を受け、新年度の晴楓ホームの諸活動に活かすように努めます。

(2) 施設サービス自己評価の実施

令和3年度に実施した施設サービス自己評価結果（セルフチェック）に基づき、サービス向上計画を作成しサービスの質の向上に努めました。

晴楓ホーム併設型短期入所生活介護事業報告

1. 事業実績報告

令和4年度晴楓ホーム併設型短期入所生活介護事業の年間利用率は、123.4%でした。

2. 重点目標報告

特別養護老人ホーム 晴楓ホーム利用者の入院等で生じる空床利用を推進し、多くの利用者がサービスを利用できるようになりました。

入退所業務を担当する中堅職員の育成に努めることで、円滑な入退所業務を行うことができました。

キャンセル等の空床が生じた場合は、キャンセル待ちの利用者等に速やかに連絡するなど柔軟に対応し、利用者のニーズに応えるように努めました。

品川区、在宅支援センター等からの緊急の利用要請（年末年始を含む）に対しては、可能な限り受け入れを行いました。

感染症禍の利用においては、ご家族や介護支援専門員の情報提供に基づき利用者の入所時のバイタルチェックを確実にを行い、感染対策に努めました。しかし令和4年12月下旬から令和5年1月下旬まで晴楓ホーム内でコロナウイルス集団感染が発生し、品川区保健所の指導のもと、対応に追われました。幸い短期入所生活介護事業利用された利用者でコロナウイルスに罹患された方はいませんでした。

インフルエンザA型及びの胃腸炎の罹患者は、ありませんでした。

3. 晴楓ホーム実績資料

(1) 利用者の入退所状況(入院退所・退院再入所を含む)

		入 所 者 数				退 所 者 数			1日付 在籍者数
		在宅	病院を退院	退院再入所	その他	入院	死亡	その他	
4月	男	0	1	0	0	0	0	0	8
	女	1	0	0	0	0	0	0	58
	計	1	1	0	0	0	0	0	66
5月	男	0	0	1	1	1	0	0	9
	女	3	0	2	2	1	0	0	59
	計	3	0	3	3	2	0	0	68
6月	男	2	0	0	0	1	0	0	10
	女	0	0	6	3	6	1	0	65
	計	2	0	6	3	7	1	0	75
7月	男	0	1	0	0	2	0	0	11
	女	1	1	0	0	7	0	0	67
	計	1	2	0	0	9	0	0	78
8月	男	0	1	1	0	0	0	0	10
	女	0	0	2	1	1	1	0	62
	計	0	1	3	1	1	1	0	72
9月	男	0	0	0	0	0	0	0	12
	女	2	0	1	2	1	2	0	63
	計	2	0	1	2	1	2	0	75
10月	男	0	0	1	0	1	0	0	10
	女	1	0	2	1	0	1	0	65
	計	1	0	3	1	1	1	0	77
11月	男	0	0	2	0	2	0	0	12
	女	1	1	2	0	4	1	0	68
	計	1	1	4	0	6	1	0	80
12月	男	0	0	0	0	0	0	0	12
	女	0	0	4	1	5	0	0	67
	計	0	0	4	1	5	0	0	79
1月	男	0	0	1	0	2	0	0	12
	女	1	0	10	1	17	2	0	67
	計	1	0	11	1	19	2	0	79
2月	男	0	0	2	0	3	0	0	11
	女	1	0	4	2	2	0	0	60
	計	1	0	6	2	5	0	0	71
3月	男	2	0	1	0	1	0	1	10
	女	3	1	5	1	7	0	2	65
	計	5	1	6	1	8	0	3	75
4年度総計		18	6	47	15	64	8	3	
3年度総計		11	2	31	7	57	8	2	

※退所欄「その他」は在宅復帰者・一時利用(入所)契約の終了者等。

※入所欄「その他」は、軽費老人ホーム・老人保健施設、有料老人ホーム等からの入所。

※入院による退所は7日経過後の人数。(介護保険法上の規定)

※入院者総数(7日以内退院者含む)64名(3年度57名)

[最近3年間の推移]

年度	入所者数	退所者数
2	65	61
3	51	69
4	80	75

(2) 年齢分布等の構成

令和5年 3月31日現在(以下同)

年齢区分	男 性		女 性		計	
	人数	構成比 (%)	人数	構成比 (%)	人数	構成比 (%)
100歳以上	0	0.0	4	6.9	4	6.1
90～99	4	50.0	14	24.1	18	27.3
85～89	2	25.0	26	44.8	28	40.8
80～84	4	50.0	20	34.5	24	35.3
75～79	1	12.5	3	5.2	4	6.1
70～74	0	0.0	1	1.7	1	1.5
65～69	1	12.5	0	0.0	1	1.5
60～64	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	12	100.0	68	117.2	80	100.0

(小数点第2位四捨五入)

平均年齢 87.7歳 最高年齢 106歳
 男性 88.2歳 最低年齢 67歳
 女性 88.8歳

※過去平均年齢 元年度89.8歳 令和2年度88.7歳 令和3年度88.8歳

男女比

性 別	人数	(%)
男 性	12	15.0
女 性	68	85.0
合 計	80	100.0

(3) 認知症日常生活自立度状況 (年度末現在)

認知レベル	2年度	3年度	4年度	%
自 立	0	2	3	3.8
I (軽度)	2	3	3	3.8
II (中度)	19	15	13	16.3
III (重度)	35	22	32	40.0
IV (最重度)	21	22	28	35.0
M (治療対象レベル)	3	2	1	1.3
合 計	80	66	80	100

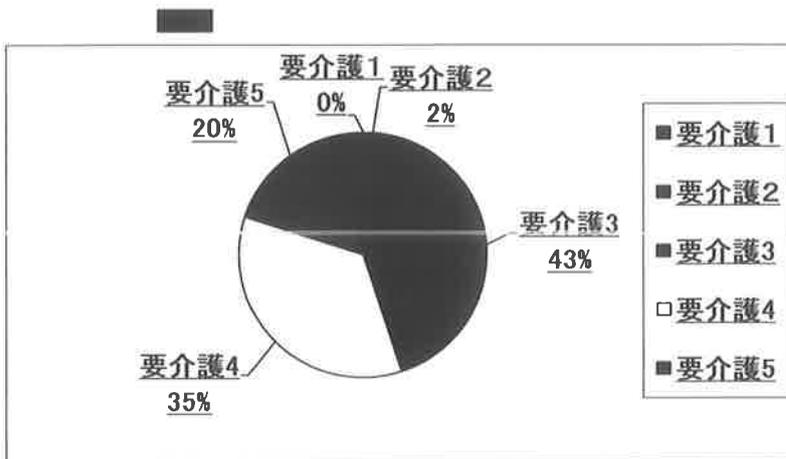
※Ⅱ・Ⅲは各々a・bに分かれるが一括して集計

※Ⅲ以上の割合：76.3% (3年度70%)

(4) 要介護度別分布

区 分	要 介 護 度 別 内 訳					計
	1	2	3	4	5	
人 数	0	2	34	28	16	80
構成比 (%)	0.0	2.0	43.0	35.0	20.0	100.0
令和3年度構成比	0.0	4.5	33.3	39.4	22.7	100.0

※4+5合計割合比率：2年度74.3% 3年度63.2% 4年度55%



※平均要介護度：平成30年度3.85 令和元年度3.95 2年度3.90

(5) ホーム骨折件数及びインフルエンザ等感染症発生状況

月	日	年齢	発生部位	時間	発生場所	入院期間	処置
4	11	94	腰椎圧迫骨折	不明	不明	0	保存
5	19	91	右腓骨骨折	不明	浴室	0	保存
2	1	86	恥骨骨折	19時	食堂	0	保存
3	20	95	胸椎圧迫骨折	不明	不明	0	保存
合計	4		※令和3年度骨折件数6件				

・インフルエンザ罹患者（A・B型）－0名・胃腸炎罹患者－0名

※インフルエンザ予防接種－76名

・コロナウイルス罹患者－23名

※コロナウイルスワクチン接種－4回目56名 5回目61名

(6) ホーム救急車要請件数

月	日	年齢	症状	時間	場所	
4	12	91	意識障害(短期入所利用者)	9時30分	居室	
5	8	85	意識障害	15時30分	居室	
6	12	82	発熱・嘔吐	18時00分	居室	
7	10	90	発熱	11時00分	居室	
	16	66	SP02低下	18時00分	居室	
	16	88	意識障害	18時50分	居室	
	16	95	発熱・SP02低下	10時30分	居室	
	19	86	転倒・頭部出血	10時30分	トイレ	
	24	68	痙攣・てんかん	15時00分	居室	
9	14	91	SP02低下	17時05分	居室	
	15	91	意識障害	18時05分	食堂	
	18	97	発熱 SP02低下	21時20分	居室	
11	10	92	呼吸苦・SP02低下	4時10分	居室	
	26	98	意識障害	14時55分	職員室	
	26	94	SP02低下	17時55分	フロア	
12	1	97	呼吸苦・SP02低下	15時55分	居室	
	29	100	SP02低下	18時50分	居室	
1	6	87	SP02低下・コロナ	8時55分	居室	
	6	91	胸苦・SP02低下	19時17分	居室	
	7	95	コロナ・SP02低下	9時20分	居室	
	11	88	発熱・意識障害	0時50分	居室	
	14	85	SP02低下	15時15分	居室	
	16	87	SP02低下・発熱	7時10分	居室	
	21	88	コロナ・SP02低下	12時45分	居室	
	25	95	SP02低下	6時50分	居室	
	25	86	コロナ・SP02低下	9時40分	居室	
	30	90	呼吸停止	5時25分	居室	
2	3	89	SP02低下	0時30分	居室	
	23	83	呼吸苦	14時35分	居室	
3	9	89	意識消失	14時55分	居室	
	10	77	SP02低下	14時15分	居室	
	15	81	SP02低下	17時44分	居室	
合計	32		※令和3年度救急車要請42件			

※夜間・早朝時間帯オンコール件数41件（オンコール：看護職員との24時間連絡体制）

※(5)(6)ショートステイは救急車要請3件 骨折事故0件

(7) ヒヤリハット・事故状況

ヒヤリハット報告状況

※受診・治療にいらなかったもの

	ホーム	ショート	合計
4月	7	2	9
5月	13	1	14
6月	2	0	2
7月	5	4	9
8月	6	3	9
9月	6	0	6
10月	8	0	8
11月	7	2	9
12月	9	1	10
1月	4	2	6
2月	5	0	5
3月	7	2	9
合計	79	17	96
2年度	69	26	95
3年度	58	13	72

事故報告状況(感染症含む)

※受診・治療を行ったもの

但し、感染症はホーム内療養者含む。

	ホーム	ショート	合計
4月	0	1	1
5月	5	0	5
6月	3	0	3
7月	9	0	9
8月	2	0	2
9月	2	0	2
10月	0	0	0
11月	2	1	3
12月	2	0	2
1月	5	0	5
2月	3	1	4
3月	5	0	5
合計	38	3	41
2年度	39	1	40
3年度	58	7	65

[内訳] 転倒・創傷・打撲等－3件
骨折－4件
胃腸炎－0件
インフルエンザ－0件
所在不明－0件
コロナウイルス（救急搬送）－4件
肺炎等その他－27件

※ショート
所在不明－0件
骨折－0件
コロナウイルス－0件
体調不良（救急搬送）－3件

(8) 医療器具使用者等医療状況

項目	令和4年度末人数	割合(対在籍80名)	令和3年度末人数
胃瘻実施者	6	9.1%	3
痰吸引者	3	4.5%	2
バルン挿入者	4	6.1%	2
ペースメーカー	1	1.5%	0
B・C型肝炎	2	3.0%	1
MRSA・緑膿菌保菌	0	0.0%	0

(9) 防災訓練実施状況

月	日	曜日	訓練内容
4	28	木	夜間出火想定（火点：4階）机上訓練
5	26	木	夜間出火想定（火点：5階）机上訓練
6	23	木	夜間出火想定（火点：東海ホーム6階）晴楓職員消火担当参加
7	28	木	夜間出火想定（火点：4階）机上訓練
8	25	木	夜間出火想定（火点：5階 512号室）
9	21	木	夜間出火想定（火点：わかくさ荘）晴楓職員消火担当参加
10	27	木	昼間出火想定（火点：1階 クリーニング室）
11	28	日	事業継続訓練（火点：5階 510号室）消火、避難訓練
12	22	木	夜間出火想定（火点：東海ホーム7階）晴楓職員消火担当参加
1	27	木	夜間出火想定（火点：5階 屋内消火栓操作訓練）
2	24	木	夜間出火想定（火点：4階 屋内消火栓、消火訓練）
3	23	木	夜間出火想定（火点：5階 510号室）消火、避難訓練

※4月、5月、7月期感染症のため机上訓練

(10) 職員研修・見学参加状況

(外部研修)

主催	研修名	実施日	人数
(株) ツクイスタッフ	イーケアラボ (動画研修視聴)	テーマ別動画配信	全職員対象
東京都社会福祉協議会	ショートステイ情報連絡会	オンライン開催	1
東京都社会福祉協議会	高齢者福祉施設におけるサービスマナー研修	動画視聴研修	10
東京都福祉保健局	認知症介護実践研修	全5回	1
東京都福祉保健財団	喀痰研修 (基礎実地研修1名、実地研修のみ3人)	令和4年4月～	4
全国老人福祉施設協議会	安全対策担当者養成研修	令和4年9月 ※オンライン研修受講	1
東京都福祉保健局	感染症指導者研修	11月30日	1
東京都福祉保健財団	高齢者虐待防止研修	12月8日	1
品川福祉カレッジ	褥瘡の理解とケア方法	12月15日	2
東京都社会福祉協議会	チームリーダー研修カリキュラム	2月6～7日	1
しかくの学校ほっとライン	介護福祉士実習指導者講習	2月7～4回	1

(内部研修)

主催	研修名	実施日	人数
晴楓ホーム	全体ミーティング (第1回) (事業計画・報告・虐待防止・身体拘束・事故防止・看取り・感染症・予算等)	7月15日～3回分かれて実施	全介護職員対象
晴楓ホーム	全体ミーティング (第2回) (感染症対策・虐待防止・身体拘束・事故防止)	令和5年3月10日発信 ※2回目については感染症予防のため書類回覧	全介護職員対象
晴楓ホーム	法人内交換研修 (他部所現場研修)	第一しいのき学園、東品川サービスセンター、東海ホーム、大崎在宅サービスセンター	4名
晴楓ホーム	身体拘束・虐待防止研修	9月24, 29日、10月9日	15
晴楓ホーム	感染症予防研修 (ガウンテクニック、吐しゃ物処理等)	11月から3回実施	15
晴楓ホーム	緊急対応訓練	8月～全7回実施	18
晴楓ホーム	リフト勉強会 (リフトリーダー研修受講者による実技勉強会)	全5回実施	15
晴楓ホーム	新採用職員フォローアップ研修	10月4日	4
法人研修	無断外出者捜索訓練	9月～8回実施	48

(11) 行事等実施状況

月 日	行事名等	内 容	備 考
4 1	辞令交付		
28	防災訓練(4階火点)	机上訓練	
5 1	福栄会開設記念日		
2	菖蒲湯週間		
26	防災訓練(5階)		
6 23	防災訓練(火点 東海ホーム)	※消火訓練参加	
30	利用者健康診断	採血・心電図	
7 4	不在者投票	参議院議員選挙	
7	七夕	短冊作り・飾りつけ	
13	お盆/迎え火		
16	お盆/送り火		
23	防災訓練(4階)	机上訓練	
8 9	花火を楽しむ会	1階中庭(5階利用者)	
17	コロナワクチン接種(4回目)		
23	物故者慰霊法要	1階ロビー・中庭にて慰霊札安置供養	
25	花火を楽しむ会	1階中庭(4階利用者)	
25	防災訓練(5階)	実地訓練	
9 13	長寿を祝う会		
22	防災訓練(わかくさ荘加點)	消火班にて参加	
28	不在者投票	品川区長選挙・品川区議会議員補欠選挙	
10 9	晴楓ホーム運動会	各フロアで実施	
24	防災訓練(クリーニング室)	消火班にて参加	
11 8	炊き出し訓練	焼き芋、豚汁、アルファ米おにぎり	
23	インフルエンザ予防接種	※ホーム嘱託医にて複数回実施	
27	合同防災訓練(火点階)	B C P 参集訓練実施	510号室火点
28	不在者投票	品川区長選挙・品川区議会議員補欠選挙	
12 4	利用者調査		
16	コロナワクチン接種(5回目)		
21	年末大会	利用者忘年会	
22	防災訓練(東海ホーム7階)	消火班にて参加	
31	大晦日	年越しそば	
1 1	元旦・高齢者福祉部長挨拶	祝膳行事食(1、2日)	
7	七草粥		
8	新年会		
11	鏡開き	昼食ぜんざい	
27	防災訓練(5階)	机上訓練	
2 3	節分		
23	防災訓練(4階)	屋内消火栓実地訓練	
3	ひな祭り	行事食 甘茶	
23	防災訓練(5階)	実地訓練	

(12) 晴楓ホームの利用者状況経過

※入所・退所者実数は退院再入所・入院退所者を含む。

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
入所者実数	67	77	52	45	64	68	67	90	74	49	54	62
退所者実数	65	51	45	51	56	71	74	80	67	54	50	62
平均年齢	87.0	87.0	88.0	89.0	89.9	90.6	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	89.2
男性数(3月末)	12	10	14	14	13	14	10	7	8	9	11	10
女性数(3月末)	65	67	64	64	67	63	62	64	71	68	65	69
平均要介護度	3.80	3.92	3.83	3.73	3.50	3.60	3.60	3.60	3.60	3.70	3.70	3.80
特養利用率	93.1%	94.3%	95.0%	94.2%	95.7%	96.9%	93.7%	95.0%	97.8%	97.7%	95.9%	95.0%
ショート利用率	133.9%	119.5%	133.7%	136.9%	127.0%	128.3%	109.1%	114.4%	109.0%	96.0%	92.8%	107.0%
合計利用率	96.8%	96.6%	98.5%	97.7%	98.5%	99.7%	95.1%	96.1%	98.8%	97.5%	95.4%	96.1%

	29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度
入所者実数	53	71	52	65	51	80
退所者実数	53	70	54	61	69	75
平均年齢	88.0	88.4	89.8	88.7	88.5	87.7
男性数(3月末)	8	7	8	10	8	12
女性数(3月末)	71	73	70	70	58	68
平均要介護度	3.71	3.85	3.95	3.90	3.90	3.76
特養利用率	99.0%	98.7%	99.3%	97.4%	95.1%	94.0%
ショート利用率	119.0%	118.7%	117.3%	113.4%	114.1%	123.4%
合計利用率	100.8%	100.5%	100.9%	98.9%	96.8%	96.5%

東海ホーム（軽費老人ホームA型）事業報告

1. 重点目標への対応

- (1) 健康状態及び、要介護状況などのニーズを踏まえて、ご本人、身元引受人等、ケアマネジャーと連携を取りながら介護サービスを利用し、個別サービス計画書に基づいた支援を行いました。
- (2) 感染症予防を継続しつつ、介護予防活動や行事、レクリエーション活動などのプログラムの創意工夫を図りました。また、地域との交流を深めるため、クラブ活動の作品等を交換し合う保育園交流を行うなど地域で支え合う関係作りを進めました。しかし地域サロンに関しては、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、実施することができませんでした。
- (3) 利用者の良好な住環境を提供するため、7階の利用者居室内トイレの修繕を行い快適な生活を送れるように施設整備を進めました。

2. 家族・後見人との連携体制

利用者の家族・後見人との信頼関係を深め連携し、医療面、介護面など一体的に対応しました。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、今年度も家族懇談会の実施は書面での開催となりました。

3. 虐待防止・身体拘束防止

- (1) 虐待防止規程に基づき、支援者の精神的安定により虐待を生まない施設作りをしました。また、チェックリストの実施で自己点検に取り組み、虐待防止に向けての研修を行い、意識の向上を図りました。
- (2) 品川区主催の身体拘束廃止研修に参加し、身体拘束廃止に関する指針に基づき、身体拘束しない支援に努めました。

4. 地震等災害対策の充実

利用者が落ち着いて行動できるよう、月1回の訓練を実施しました。感染症予防のため集団での実施は難しく、新規利用者を中心に、個別に訓練を実施しました。薬の予備準備や外出時には、「緊急連絡カード」の携帯を推進しました。

5. 東海ホーム実績資料

(1) 利用者の入退園状況

月		入園者数			退園者数		
		家庭から	その他	病院から	特養ホームへ	その他へ	ご逝去
4月	男						
	女	1				1	1
	計		1			2	
5月	男						
	女	2				1	
	計		2			1	
6月	男						
	女						
	計						
7月	男						1
	女						
	計					1	
8月	男	1					
	女	1					
	計		2				
9月	男						
	女						
	計						
10月	男						
	女				1		
	計					1	
11月	男	1				1	
	女						
	計		1			1	
12月	男	1					
	女						
	計		1				
1月	男					1	
	女						
	計					1	
2月	男						
	女	1					
	計		1				
3月	男						
	女						
	計						
総計	男	3				2	1
	女	5			1	2	1
	計		8			7	

※入園その他とは、特養ホーム・老人保健施設・有料老人ホーム等

※退園その他とは、民間アパート・高齢者住宅・老健・病院・有料老人ホーム等

(2) 年齢構成等

[令和5年3月31日現在]

年齢区分	男性 (18名)		女性 (32名)		合計	
	人数	構成比(%)	人数	構成比(%)	人数	構成比(%)
100歳以上	0		1	3%	1	2%
95～99	0		4	13.0%	4	8.0%
90～94	3	17.0%	5	16.0%	8	16.0%
85～89	2	11.0%	10	31.0%	12	24.0%
80～84	5	28.0%	4	13.0%	9	18.0%
75～79	4	22.0%	5	15.0%	9	18.0%
70～74	2	11.0%	3	9.0%	5	10.0%
65～69	2	11.0%	0		2	4.0%
60～64	0		0		0	
合計	18	100%	32	100%	50	100%

平均年齢 82.7歳

男性 80.2歳

女性 85.2歳

男性最高年齢 90歳(昭和7年生)

女性最高年齢 100歳(大正12年生)

(3) 在籍期間

[令和5年3月31日現在]

	1月以内	1月～6月以内	6月～1年以内	1年～3年以内	3年～5年以内	5年～10年	10年以上
男	0	2	1	5	2	4	4
女	0	1	4	6	6	11	4
合計	0	3	5	11	8	15	8

※最長 平成2年8月入所 31年在籍(女性)

※平均 5年

(4) 介護度状況・ホームヘルパー利用状況(人)

[令和5年3月31日現在]

区分	人数	ホームヘルパー利用状況		デイサービス・リハビリ等利用状況	訪問看護	訪問リハ単リハ	訪問診療
		生活援助	身体介護				
なし	4	0	0	0	0	1	0
総合事業	8	5	0	2	0	2	0
要支援1	7	5	1	3	0	0	0
要支援2	10	9	3	9	1	4	3
要支援合計	17	14	4	12	1	4	3
要介護1	13	11	8	11	1	3	2
要介護2	7	6	4	6	2	1	1
要介護3	0	2	1	1	1	0	0
要介護4	0	0	0	0	0	0	0
要介護5	1	0	0	0	0	0	0
新規調査中	0	0	0	0	0	0	0
区分変更中	0	0	0	0	0	0	0
要介護合計	21	19	13	18	4	4	3
合計	50	33	17	30	5	8	6

※生活援助(洗濯・外出同行等)

※身体介護(通院・外出介助等)

(5) 要介護者の主な職員介助内容

[令和5年3月31日現在]

介助内容	人数	備考欄
入浴	8	見守り・声掛け含む
喫食	3	声掛け・誘導
通院	2	職員通院同行者 *生活保護受給者含む
服薬	19	居室セット含む
排泄	2	トイレ誘導・オムツ交換

(6) 身体障害者手帳所持状況

[令和5年3月31日現在]

	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
1種	1	0	0	0	0	0	1
2種	0	1	0	2	0	0	3

(7) 愛の手帳所持状況

[令和5年3月31日現在]

	1度	2度	3度	4度	計
人数	0	0	2	2	4

(8) 利用料別内訳

[令和5年3月31日現在]

①本人負担額（平成12年7月1日以降に入所の方）

	生活費	サービスの提供に要する費用	本人負担額	人数
1	54,230	10,000	64,230	35
2	54,230	13,000	67,230	5
3	54,230	16,000	70,230	3
4	54,230	19,000	73,230	1
5	54,230	22,000	76,230	
6	54,230	25,000	79,230	1
7	54,230	30,000	84,230	2
8	54,230	35,000	89,230	
9	54,230	40,000	94,230	1
10	54,230	45,000	99,230	1
11	54,230	50,000	104,230	
12	54,230	57,000	111,230	
13	54,230	64,000	118,230	
14	54,230	71,000	125,230	
15	54,230	78,000	132,230	
16	54,230	85,000	139,230	
17	54,230	93,000	147,230	
18	54,230	101,000	155,230	
19	54,230	109,000	163,230	
20	54,230	117,000	171,230	
21	54,230	119,100	173,330	
	合計			49

②本人負担額

	生活費	サービスの提供に要する費用	本人負担額	人数
1	35,550	0	35,550	
2	38,950	0	38,950	
3	41,250	0	41,250	
4	43,250	0	43,250	
5	45,250	0	45,250	
6	47,250	0	47,250	
7	49,250	0	49,250	
8	51,250	0	51,250	
9	53,250	0	53,250	1
10	55,850	0	55,850	
11	58,550	0	58,550	
12	61,250	0	61,250	
13	63,850	0	63,850	
14	64,230	0	64,230	
	合計			1

※本人負担額＝生活費＋サービスの提供に要する費用＋冬季暖房費

※冬季暖房費・本人負担額（11月～3月） 一室を一人で利用しているもの 2,130円(月額)

注1) 平成12年6月30日以前入所者で、前年の対象収入が126万円以下の者は、②の表を適用する。

注2) 対象収入(利用料算出の基になる収入)とは、前年の収入(社会通念上収入として認定することが適当でないものを除く)から租税、社会保険料、医療費等必要経費を控除した後の収入をいう。

(9) ヒヤリハット・事故報告状況

ヒヤリハット状況報告				
	6階	7階	その他	合計
4月	2			2
5月	2			2
6月	4			4
7月	1	1		2
8月	2	2		4
9月		1		1
10月	1			1
11月				
12月	1			1
1月	1			1
2月				
3月				
合計	14	4	0	18
令和3年度	12	3	0	15
令和2年度	2	1	0	3

<内訳> 多量の鼻血(1)・異食(1)・転倒(8)・ベランダ徘徊(1)・内出血・配薬忘れ(2)・帰宅困難・他利用者トラブル・無断外出・誤嚥疑い

事故報告状況			
	6階	7階	合計
4月	3		3
5月	2		2
6月			
7月	1		1
8月		1	1
9月			
10月	2	1	3
11月	1		1
12月			
1月			
2月			
3月			
合計	9	2	11
令和3年度	6	3	6
令和2年度	6	0	4

<内訳> 転倒(6)・意識なし(1)・自傷行為(1)・転落(1)・配薬忘れ(1)・水漏れ(1)

(10) 結核・インフルエンザ・感染性胃腸炎・新型コロナウイルス感染症(疑い含む)発生状況

	結核	インフルエンザ	感染性胃腸炎	新型コロナウイルス感染症	
				陽性者数	濃厚接触者延べ数(疑い含む)
令和元年度	0	0	0		
令和2年度	0	0	0		
令和3年度	0	0	0	0	27
令和4年度	0	0	0	6	19

(11) 救急対応 15件

転倒(3)、腰痛(5)、頭痛、背中痛、意識不明、左胸部痛、呼吸苦、発熱、脱肛痛

(12) 防災訓練実施状況

月	日	曜日	訓練内容 (火点等)	利用者参加
4	28	木	夜間出火想定(火点:4階 晴楓ホーム)設備点検	不参加
5	26	木	夜間出火想定(火点:4階 晴楓ホーム)設備点検	不参加
6	23	木	夜間出火想定(火点:4階 晴楓ホーム)設備点検	不参加
7	28	木	火災・地震想定(火点:4階 晴楓ホーム) 避難準備説明、確認	参加
8	25	木	夜間出火想定(火点:4階 晴楓ホーム) 設備点検	参加
9	22	木	夜間出火想定(火点:4階 晴楓ホーム・しいのき学園) 設備・備品点検 新規の方の持ち物確認	不参加
10	27	木	夜間出火想定(火点:4階 晴楓ホーム) 設備点検・新規利用者への避難説明	不参加
11	27	日	合同防災訓練(火点:5階 511号室) 設備点検・新規利用者への避難説明	不参加
1	26	木	夜間出火想定・消火避難誘導(火点:7階 東側 洗濯 室)設備点検・レスキューセットの確認・避難誘導	参加
2	24	金	夜間出火想定・消火避難誘導(火点:7階 物品室) 設備点検・レスキューセットの確認・避難誘導	参加
3	23	木	夜間出火想定・消火避難誘導(火点:7階 物品室) 設備点検	不参加

※新型コロナウイルス感染症まん延防止のため、日程/訓練内容を変更し、利用者参加を見合わせるがあった。

(13) 外部研修参加状況

主催	実施日	研修名	受講職員職種
品川区保健所 保健予防課 感染症対策係	9月30日	品川区結核患者支援講演会 【身近な感染症 結核】	看護師1名 介護職員1名
東京都社会福祉協議会	10月18日、19日	中堅職員研修	主任1名
東京都福祉保健局	10月24日	感染症対策指導者養成研修	介護職員1名
品川区高齢者福祉課	12月6日	身体拘束廃止研修(現場職員編)	介護職員2名

(14) 職業体験等受入れ・福祉専門学校等実習生の受入れ・地域交流等

職業体験	品川区立東海中学校 8学年	令和5年1月24日～25日	2名来所
企業説明会	品川区立品川学園 7学年	令和5年2月2日	職員2名出向
地域交流	大森北6丁目保育園	通年:作品交換等	
地域交流	東海中学校敬老訪問	敬老の日:メッセージカードプレゼント	
地域交流	品川消防署少年消防団	年末:DVDとお花のプレゼント	
実習生	品川区社会福祉協議会:社会福祉士実習	令和5年7月28日・9月26日～28日	各2名

(15) 事業実施報告

月	日	行事・活動名	内 容	備 考
4	7 8 8 13 22	利用者集会・体重測定 花まつり甘茶 書道クラブ 折り紙クラブ 工作クラブ	新年度の職員体制について ちぎり絵(アマビエ)	刈崎町会ミニサロン中止 東海マップ中止 茶話会中止
5	1 1.3.4 5 12 18	開設記念日 介護予防(散歩) 利用者集会・体重測定 折り紙クラブ 書道クラブ	福栄会まつり中止について	刈崎町ミニサロン中止 福栄会まつり中止 カラオケ中止 東京マックス美容中止
6	2 9 12 15 19 25 26	利用者集会・体重測定 折り紙クラブ ビデオ鑑賞会① 書道クラブ お楽しみ給食 介護予防 ビデオ鑑賞会②	シャワー浴開始について ビデオ鑑賞会『ステキな金縛り』7階のみで実施 ビデオ鑑賞会『ステキな金縛り』6階のみで実施	刈崎町会ミニサロン中止 町内祭礼中止 給食懇談会中止 お出かけ行事中止 ボランティア懇談会中止 手話ダンス中止
7	3 6 7 7 13 16 17 20 23 28	工作クラブ 衆議院議員選挙 不在者投票 利用者集会・体重測定 新型コロナウイルスワクチン集団接種 お盆入り お盆明け 介護予防中止 折り紙クラブ中止 書道クラブ 花火大会①	七夕飾り・短冊作りと飾り付け 3階会議室で実施 茶話会・害虫駆除について 4回目実施 コロナ陽性者発生のため中止 コロナ陽性者発生のため中止 7階利用者のみで実施。	刈崎町会ミニサロン中止 1セットバー中止 東海中清掃ボランティア中止 音楽療法中止 ウクレレC中止 ビューティークラブ中止
8	3 4 20 23 28	花火大会② 利用者集会・体重測定 書道クラブ 物故者慰霊法要 介護予防	6階利用者のみで実施 納涼祭中止、物故者法要について	刈崎町会ミニサロン中止 カラオケ中止 東海マップ中止
9	1 13 16 20 25 26 27	利用者集会・体重測定 長寿を祝う会(該当者のみ式に参加) 折り紙クラブ 彼岸入り 介護予防 彼岸明け 書道クラブ	長寿を祝う会について 白寿1名、米寿4名、	刈崎町会ミニサロン中止 宿場祭り中止 手話ダンス中止 家族懇談会中止
10	6 16 16 19 23	利用者集会・体重測定 書道クラブ お楽しみ給食 折り紙クラブ 介護予防	赤い羽根共同募金について 栄養課	刈崎町会ミニサロン中止 ジブラルタ生命ボランティア ⇒中止 カラオケ中止 ミニバイキング中止 東京マックス中止 お出かけ行事中止 紅葉ドライブ中止
11	3 12 13 21 22	利用者集会・体重測定 書道クラブ 介護予防 折り紙クラブ中止 紅葉ドライブ中止	お楽しみ握り寿司給食、紅葉ドライブについて コロナ陽性者発生のため中止 コロナ陽性者発生のため中止	刈崎町会ミニサロン中止 総合防災訓練中止 福栄会さんま祭り中止 介護予防講座(口腔ケア)中止 東海中学校敬老訪問 ⇒カードのプレゼントあり。

月	日	行事・活動名	内 容	備 考
12	1 9 11 17 18 22 23	利用者集会・体重測定 折り紙クラブ（11月分） 書道クラブ 年末の集い中止 介護予防 ゆず湯 折り紙クラブ	健康診断・年末年始について コロナの為、11月が中止となり振替実施してい コロナ陽性者発生のため中止	洲崎町会ミニサロン中止 品川消防署少年消防団 ⇒DVDとお花のプレゼントあり。
1	1 5 7 8 11 13 15 22 28 29	元旦ご挨拶 利用者集会・体重測定 七草がゆ 書道クラブ 鏡開き 新型コロナウイルスワクチン集団接種 折り紙クラブ 介護予防 新年の集い 福祉サービス第三者評価 利用者調査	感染症予防・新年会について 5回目実施 6・7階のフロアで各階で分かれて実施。 各階で3か所に分かれて実施⇒11月より延期	洲崎町会ミニサロン中止 ビューティクラブ中止 PT体操中止
2	2 3 12 12 13～19 19 20～26 21 26	利用者集会・体重測定 節分 書道クラブ お楽しみ給食 7階作品展示会 折り紙クラブ 6階作品展示会 七福神ドライブ 介護予防	折り紙クラブ等で作成したものをロビーに展示 折り紙クラブ等で作成したものをロビーに展示 紅葉ドライブが中止になった為実施。ドライブのみ。	洲崎町会ミニサロン中止 カラオケ中止
3	2 12 18 19 24 29	利用者集会・体重測定 書道クラブ お彼岸入り 折り紙クラブ お彼岸明け お花見ドライブ	お花見ドライブについて 皇居方面へドライブ	洲崎町会ミニサロン中止

(16) 入所選考委員会実施状況

月	日	委員会
6	30	第1回入所選考委員会～東品川ゆうゆうプラザにて開催。
11	24	第2回入所選考委員会～書面開催にて意見書の提出で選考。

在宅サービス課事業報告

1. 基本方針【在宅サービス課共通】

地域包括ケアシステムの推進を目指し、「できる限り住み慣れた我が家で暮らす」ことが実現できるよう、利用者への自立支援、家族支援を念頭に置き、また、多職種（他事業所）及び地域住民と連携し、継続したサービス提供に努めました。

2. 重点目標【在宅サービス課共通】

- (1) 施設の安全性・サービスの質の向上を図り利用者満足度の向上に努めました。また、通所施設の目標利用率達成を目指し、安定した事業運営を行いました。
- (2) 感染症や災害への対応力を強化し、安定的に事業を継続しました。
 - ①感染症防止委員会（6か月に1回以上）に参加し、感染症の予防及び、蔓延防止の為の対策を検討し、その結果を職員へ周知徹底を行いました。
 - ②「業務継続計画（感染症・災害）」の作成を進めました。
 - ③感染症予防のための指針の作成を進めました。
 - ④「感染症対策」・「業務継続計画」について、年1回以上の研修・訓練に参加（実施）しました。訓練の実施に当たっては、地域住民との連携に努める予定でしたが、コロナウィルス感染症蔓延防止のため見送りました。
- (3) 虐待の発生防止・早期発見などに努め、高齢者虐待防止を推進しました。
 - ①専任の担当者を置き虐待防止員会を定期的で開催し、虐待の発生防止・早期発見などに努め、その結果については、職員へ周知徹底を行いました。
 - ②虐待防止のための指針を整備しました。
 - ③「虐待防止」について、年1回以上の研修に参加（実施）しました。
- (4) 地域住民やボランティア団体との交流に努め、地域との連携の強化を目指しましたが、コロナウィルス感染症蔓延防止のため、東品川・大崎エリア（各在宅サービス課）共に地域貢献活動は見送りました。

※区分 ①法人 ②品川区 ③東京都・社協 ④その他（事業所外） ⑤事業所内

区分	研修名	内 容	実 施 日	参 加 者
東品川在宅介護支援センター				
②	環境法令研修	環境法令の適用の有無の判断方法や遵守事項確認	5月12日	1名
⑤	在宅サービス課全体研修	令和3年度決算状況確認・令和4年度事業計画書確認	6月10日	10名
④	福祉カレッジ・医学生活支援研修	認知症の人を支えるための医学・生活支援を学ぶ	6月13日	2名
④	ケアマネジメント標準化研修	新たな飛躍に向けてケアマネジメントの未来を考察する	7月14日	4名
⑤	セキュリティー研修	福栄会の情報管理安全対策	7月15日	10名
②	しながわ多職種勉強会	誰でも出来るフレイル対策を学ぶ	7月15日	1名
②	ヤングケアラー研修	地域でどのような支援が出来るか考える	8月24日30日9月1日	3名
③	主任介護支援専門員研修	主任介護支援専門員の役割と視点を学ぶ	9月7日（計11日間）	1名
②	在宅コロナと医療連携	コロナ禍における介護・医療連携の在り方	9月10日	3名
⑤	ケアマネジメント業務研修	ケアプラン軽微な変更等について理解を深める	9月16日	10名
①	虐待研修	認知症ケア現場での虐待を考える	9月24日	10名
②	結核予防研修	身近な感染症である結核の対応方法を学ぶ	9月30日	1名
②	区市町村職員等高齢者権利擁護研修	セルフネグレクトの捉え方や状態像・背景要因等を理解する	10月5日	1名
②	ケアマネジメント質の向上研修	ケアプラン点検及びプラン作成の視点とポイント	10月20日	1名
②	品川区介護支援専門員連絡協議会研修	適切なケアマネジメント手法「疾患別ケア」脳血管疾患	11月10日（計3日間）	2名
⑤	障害者自立支援法研修	自立支援給付と介護保険制度との適用関係について	11月12日	10名
②	自殺予防研修	自殺の現状と「死にたい」を理解する	11月17日	3名
②	高齢者虐待予防応用研修	虐待の解消を目指すアプローチを事例検討から学ぶ	11月24日	1名
⑤	適切なケアマネジメント手法研修	ケアマネジメントの「基本ケア」について学ぶ	12月16日	10名
④	適切なケアマネジメント手法研修	ケアマネジメントの「基本ケア」について学ぶ	1月13日	2名
⑤	生活支援記録法研修	医療介護に共通した記録法を学ぶ	1月13日	10名
②	自立支援・重度化防止研修	介護予防に必要な自立支援の視点を学ぶ	1月17日	1名
④	キャリアパス対応生涯研修	チームリーダーの役割を学び、実践につなげる	1月24日25日	1名
①	上級救命研修	緊急時の応急手当方法の取得	2月1日3日	3名
④	ケアマネジメント部会研修	疾患別ケアにも使える栄養の基礎知識	2月3日	1名
②	精神保健地域サポート研修	ひきこもりの理解と支援	2月7日	1名
②	介護従事者向け研修	認知症介護家族の基本的視点を学ぶ	2月9日	1名
④	介護と医療の連携推進研修	どうやって使う？病院と老健施設	2月16日	1名
②	2022年度防災研修	防災に関する知識を高め在宅避難における備えを学ぶ	2月20日21日	3名
②	住宅改修研修	住宅改修の基礎・注意事項・申請の変更点を確認	3月14日	1名
②	介護予防ケアマネジメント研修	介護予防・総合事業等について	3月15日	2名
④	ケアマネジメント標準化研修（疾患別）	脳血管疾患の支援を数値化する方法を学ぶ	3月17日	1名
④	ケアマネジメント向上研修	IOT事業を学び、事例から実践につなげる	3月22日	2名
東品川在宅サービスセンター				
①	異動職員対象OJT研修	日常業務の習得・利用者の基本情報の把握	4月1日～6月30日	2名
②	情報セキュリティー研修	福栄会の情報管理安全対策	9月1日～	13名 書面開催
②	虐待防止研修①③	虐待チェックリストを基に、各個人の対応について振り返り	8月1日～2月1日～	40名（常勤：非常勤）
①	虐待防止研修②	認知症ケア現場での虐待を考える	9月24日	32名（常勤：非常勤）
①	感染症研修	感染症の基礎知識を学ぶ	11月1日～	13名
③	BCP進めるための次の一歩	BCP（事業継続計画）を学ぶ	10月24日	1名
④	上級救命講習	緊急時の応急手当方法の取得	2月1・2日	3名
ヘルパーステーション東品川				
⑤	基礎研修	倫理・法令遵守について	6月3日	6名
⑤	基礎研修	高齢者の基礎疾患について	9月3日	4名
⑤	基礎研修	緊急時の対応について	10月21日	3名
⑤	基礎研修	個人情報・プライバシーの保護について	12月23日	5名
⑤	基礎研修	認知症・虐待について	3月24日	5名

※区分 ①法人 ②品川区 ③東京都・社協 ④その他（事業所外） ⑤事業所内

区分	研修名	内 容	実 施 日	参 加 者
大崎在宅介護支援センター				
②	新任ケアマネ向け研修	在宅介護支援システムと訂正なケアマネジメント	4月19日	1名
②	高齢者総合支援システム操作研修会	品川区の相談システム操作方法について学ぶ	4月20日	1名
④	品川区介護支援専門員連絡協議会研修	生活支援記録法「F-SOAIIP」初心者向け	5月6日	1名
③	品川福祉カレッジ 認知症ケア専門コース	レビー正体認知症について	6月13日	2名
②	高齢者虐待予防基礎研修	高齢者虐待の知識・対応法について学ぶ	6月14日	1名
②	しながわ多職種勉強会	誰でも使えるフレイル対策	7月8日	2名
④	品川区介護支援専門員連絡協議会研修	新たな飛躍に向けてケアマネジメントの未来を考	7月14日	2名
①	情報セキュリティ研修	福栄会の情報管理安全対策	7月19日	5名
②	自立支援・重度化防止等介護支援 質の向上研修		8月9・19日	2名
③	品川福祉カレッジ ケアマネジメント講座	「適切なケアマネジメント手法」の活用について	8月10日・11月10日	2名
③	東京都入退院時連携強化加算研修	入退院時に必要な医療連携について	8月18日	1名
①	虐待防止研修	福祉施設における虐待防止と人権・権利擁護	9月24日	6名
③	品川区介護支援専門員連絡協議会研修	「F-SOAIIP」生活支援記録法とは	9月27日・30日 11月29日	2名
③	主任介護支援専門員研修	主任介護支援専門員 資格取得のため	9月2・22・30日 10月11・18・30日 11月11・17・26日 12月6日	1名
②	ケアマネジメントの質向上研修	ケアプラン点検及びプラン作成の視点とポイント	10月20・21日	2名
①	感染症研修	感染症研修（訓練含む）	10月25日	7名
②	ゲートキーパー研修	ゲートキーパーの役割とは	11月17日	3名
②	高齢者虐待予防応用研修	虐待の解消を目指すアプローチを事例検討から学ぶ	11月24日	1名
②	F-SOAIIP研修		11月29日	2名
③	介護支援専門員更新研修専門Ⅱ	介護支援専門員資格 更新の為	12月8・15・21日 1月12日	1名
②	品川福祉カレッジ 認知症専門コース	認知症の人の服薬管理とケアにおける留意点	12月20日	1名
③	介護支援専門員更新研修専門Ⅰ	介護支援専門員資格 更新の為	1月11・21日 2月9・18・24日 3月9日	1名
②	自立支援・重度化予防研修	介護予防に必要な自立支援の視点を学ぶ	1月17日	1名
①	上級救命講習	緊急時の応急手当方法の取得	2月1・2日	2名
④	品川区介護支援専門員連絡協議会研修	疾患別ケアにも生かせる栄養の基礎知識	2月3日	2名
②	介護従事者向け研修	認知症介護家族の基本視点	2月9日	1名
④	品川区介護支援専門員連絡協議会研修	低所得者施策について	2月10日	1名
④	品川区介護支援専門員連絡協議会研修	介護予防ケアマネジメント	2月17日	1名
②	高齢者虐待予防研修	高齢者虐待の基礎知識と対応のヒントを学ぶ	2月21日	1名
②	品川福祉カレッジ 医療リハビリテーション講座	エッセンシャルワーカーのメンタルヘルス	2月22日	1名
③	BCP進めるための次の一歩	BCP（事業継続計画）を学ぶ	3月9日	2名
②	介護予防ケアマネジメント研修	次年度の介護予防ケアマネジメントについて	3月15日	2名
大崎在宅サービスセンター				
⑤	異動職員対象OJT研修	日常業務の習得・利用者の基本情報の把握	4月1日～6月30日	4名
④	シナプソロジーインストラクター研修	認知機能低下予防のエクササイズの方法を学ぶ	4月3日	3名
⑤	事故防止・リスクマネジメント研修	危険予知訓練・PDCAサイクル・ハインリッヒの法則	5月28日	8名
③	東京都介護支援専門員実務研修	介護支援専門員資格取得	7月14日～9月11日	1名
⑤	シナプソロジーフォローアップ研修	認知機能低下予防のエクササイズの方法を学ぶ	7月3日	3名
⑤	情報セキュリティ研修	福栄会の情報管理安全対策	7月23日	6名
④	BCP策定研修	BCP策定について	8月18日	1名
③	介護支援専門員更新研修	介護支援専門員資格 更新の為	9月13・26日 10月11・21・30日	1名
⑤	虐待防止研修	福祉施設における虐待防止と人権・権利擁護	9月24日	13名（大崎） 8名（オンライン）
⑤	感染症研修及び訓練	感染症研修（訓練含む）	10月25日・29日	17名
④	働きやすい職場環境作り	質の高いサービスを持続的に提供する為のチームケア	11月1日～11月30日	1名
③	介護支援専門員更新研修	介護支援専門員資格 更新の為	11月8・22・30日 12月18・23日	1名
⑤	介護技術向上研修	福祉機器を活用した移乗介助方法を学ぶ	11月26日	8名

③	令和4年度チームリーダー研修	キャリアパスを整備し、職員育成施策を確立・実施	1/12. 1/13	1名
③	東京都認知症実践者・管理者研修	認知症の方のケアのあり方、管理者の基礎について	1/30. 2/1. 2/2. 2/22. 3/2. 3/7. 3/10	1名
④	認知症介護基礎研修	認知症介護の経験がない介護従事者に向けた研修	1月26日 2月16日	2名
④	BPSDのケアにいて考えてみる	エビデンスに基づくパーソンセンタードケアについて	2月20日	2名
⑤	避難確保計画・業務継続計画（講義・訓練）	避難確保計画・業務継続計画（講義・訓練）	2月25日	9名
④	上級救命講習	緊急時の応急手当方法の取得	2月・3月	5名
④	ケアスタッフ交流会	法人を越えた職員間のネットワーク作り等	3月24日	1名
⑤	手順書確認研修／認知症実践者研修受講者による研修報告会	現行「手順書の確認」／認知症実践者研修受講者の学び共有	3月25日	9名
五反田保育園ふれあいデイホーム				
⑤	認知症研修	認知症における原因・症状・対処法を学ぶ	4月12日	2名
⑤	在宅サービス課全体研修	令和3年度決算状況確認・令和4年度事業計画書確認	4月23日	3名 <small>（※全体開催は中止とし、課長・管理者・一般職のみで開催）</small>
⑤	食中毒について	食中毒及び予防について	5月10日	2名
⑤	事故防止・リスクマネジメント研修	事故防止及びリスクマネジメントについて	6月14日	2名
⑤	情報セキュリティ研修	個人情報などの管理について	7月12日	2名
⑤	非常災害研修	災害時の対応を学ぶ	8月9日	2名
⑤	エコリンク研修	環境について学ぶ	9月13日	2名
⑤	プライバシー保護研修	プライバシーについて学ぶ	10月11日	2名
⑤	感染症予防研修	感染症予防について理解する	11月8日	2名
⑤	虐待防止研修	認知症ケア現場での虐待について学ぶ	12月13日	2名
⑤	身体拘束について	身体拘束について学ぶ	1月10日	2名
⑤	ハラスメント対策について	介護現場におけるハラスメント対策について学ぶ	2月7日	2名
⑤	認知症研修	認知症を予防できる生活習慣について学ぶ	3月7日	2名

在宅介護支援センター事業報告

1. 基本方針【共通】

支援を必要とする方のニーズと社会資源を結びつけ、住み慣れた地域で自立した生活が送れるよう支援しました。予防から介護まで包括的・継続的な支援を行い、一体的・効果的なサービス提供を行いました。

2. 重点目標【共通】

(1) 地域包括支援センター・在宅介護支援センター機能の充実

①制度改正への適切な対応

介護保険法改正の動向を注視し、その対応について指定居宅管理者である品川区と協議を図りました。また、第8期品川区介護保険事業計画の内容を踏まえた適切な支援を継続しました。

②多職種連携の推進

品川区高齢者相談支援システム及び多職種連携システムを効果的に運用するとともに、品川区及び各関係機関と連携を強め、地域の身近な相談窓口として、さまざまな介護相談に迅速かつ適切に対応しました。

③ケアマネジメントの質の向上・職員の育成

さまざまなケースに適切に対応できるよう、外部研修等を活用し、介護支援専門員のスキルアップを図りました。また、主任介護支援専門員取得にも努めるとともに、OJTの流れを整理し、事業所全体で新任職員の育成にあたりました。

④高齢者虐待の防止

高齢者虐待を防止するため、高齢者保護のための措置、高齢者の養護者の負担軽減を図る支援を、関係機関と連携を密にとり適切に行いました。

⑤「生活支援記録法」の会得

令和3年度より高齢者福祉課が採用した「生活支援記録法」を職員全員が会得し、適切に記録出来る様にしました。

(2) 地域ネットワークづくりへの取り組み

①外出に不安がある高齢者及び認知症高齢者の支援

品川区高齢者探索支援システム「くるみプラン」を生活状況や必要度に応じて情報提供を行い、申請を促しました。区と連携しながら、安心して生活ができる地域づくりを目指しました。

②地域ニーズの把握

地域の会議（ふれあいサポート会議等）に積極的に参加し、各地域内において、民生委員や町会等との情報共有・連携の強化を図りました。また、品川区介護支援専門員協議会（けあまネット）へも参加し、事業所間のネットワークづくりに

努めました。

③認知症高齢者への支援

認知症になっても安心して住み慣れた地域で暮らすことができる社会を目指し、認知症サポーター養成講座、認知症サポーターステップアップ講座を開催（感染症予防対策を行い）することで、一人でも多くの認知症サポーターを養成しました。

④地区ケア会議の充実

個別のケース検討を通し、他機関・多職種が協働して課題解決にあたり、地域の問題解決力の向上を図るとともに、地域課題を明らかにし、地域づくりについても検討しました。コロナ感染症蔓延防止のため、集合形式での会議は中止とし、訪問・電話・書面等で随時多職種連携を図りました。

⑤高齢者・障害者包括支援相談体制構築について

令和2年1月より品川区東品川障害者計画相談支援事業所が東品川在宅介護支援センター事業所内に開設されました。これまで以上に高齢者・障害者それぞれの相談員が情報を共有し、地域共生社会の実現に向けて包括的な相談体制を構築しました。

3. 各支援センター目標

<東品川在宅介護支援センター>

(1) 事業所間連携の強化

東品川在宅サービスセンターとの情報交換・連携のしやすさを活かした事業運営を行いました。

(2) 地域貢献活動の充実

①ちえのわ教室

毎月第1土曜日に開催していた「ちえのわ教室」を、新生活様式を取り入れながら再開を目指しましたがコロナウィルス感染症蔓延のため、地域貢献活動は見送りました。

②アットホームカフェ

毎月第4土曜日に「わかやぐ」と同時に開催している「アットホームカフェ」を、新生活様式を取り入れながら再開しました。品川区内の「認知症カフェ」開催場所に登録し、ポスターでの事前周知や開催日当日の看板設置を行うなど集客に力を入れていきました。相談に加えて関係事業所の協力によるイベントの開催はコロナ感染症蔓延防止のため見送りました。

(3) 品川区立東品川わかくさ荘（品川区立高齢者住宅・50室）等への継続支援及び「東品川身体障害者住宅」（2室）居住者への援助

品川区の指定管理を受けて、東品川在宅介護支援センターと同一建物内に

ある上記高齢者住宅の居住者に対し、緊急対応も含め、必要な生活支援を行いました。また、防災意識の向上のため、防災訓練を年3回計画し、実施しました。

<大崎在宅介護支援センター>

(1) 事業所間連携の強化

大崎在宅サービスセンターとの情報交換・連携のしやすさを活かした事業運営に努めました。

(2) 地域貢献活動の充実

地域貢献活動「大崎ふくふく」を、大崎在宅サービスセンター及び五反田保育園ふれあいデイホームと協働し、新生活様式を取り入れながら再開を目指しましたが、新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため開催は見送りました。

在宅介護支援センター利用状況

東品川在宅介護支援センター

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
認定調査件数(新規)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認定調査件数(更新)	4	3	9	7	6	13	4	6	9	12	8	7	88
認定調査件数 合計	4	3	9	7	7	13	4	6	9	12	8	7	88
実態把握のための予防給付・予防事業	14	16	20	12	16	24	16	13	19	19	13	14	196
実態把握のための介護給付	7	7	10	12	15	11	16	15	10	11	12	11	137
介護予防プロジェクト(生活機能向上)													
アセスメント等件数合計	21	23	30	24	31	35	32	28	29	30	25	25	333

予防給付(要支援1)	73	74	72	72	75	74	73	75	76	78	75	74	891
予防給付(要支援2)	82	84	83	83	81	82	82	81	81	81	81	85	986
総合事業対象者	22	22	21	21	24	22	23	23	23	22	23	27	273
予防給付特高 合計件数	177	180	176	176	180	178	178	179	180	181	179	186	2,150
介護給付(要介護1)	59	63	60	58	61	59	61	57	59	62	57	58	714
介護給付(要介護2)	45	43	44	42	40	43	43	41	43	45	46	45	520
介護給付(要介護3)	24	22	21	22	24	26	28	26	25	26	24	23	291
介護給付(要介護4)	19	22	19	18	21	20	21	17	16	17	15	14	219
介護給付(要介護5)	10	9	9	9	9	9	8	8	9	10	10	11	111
介護給付合計	157	159	153	149	155	157	148	149	152	160	152	151	1,842
予防+介護給付 合計件数	334	339	329	325	335	335	326	328	332	341	331	337	3,992

ちえの教室利用実績

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実施日	実施なし												
参加者人数													

大崎在宅介護支援センター

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
認定調査件数(新規)	0	0	1	7	2	0	0	2	0	2	0	1	15
認定調査件数(更新)	5	6	6	7	10	6	9	0	11	11	12	10	93
認定調査件数 合計	5	6	7	14	12	6	9	3	11	13	12	11	109
実態把握のための予防給付・予防事業	29	20	24	31	25	32	30	34	28	27	24	31	335
実態把握のための介護給付	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護予防プロジェクト(生活機能向上)													
アセスメント等件数合計	29	20	24	31	25	32	30	34	28	27	24	31	335

予防給付(要支援1)	97	95	93	89	95	88	96	99	94	96	97	97	1,136
予防給付(要支援2)	117	111	118	115	120	119	121	127	131	130	120	118	1,447
総合事業対象者	13	13	13	11	13	13	11	11	12	11	14	15	150
予防給付特高 合計件数	227	219	224	215	228	220	228	237	237	237	231	230	2,733
介護給付(要介護1)	79	76	79	75	78	80	77	77	77	78	73	71	920
介護給付(要介護2)	55	55	54	49	51	57	54	51	52	54	54	51	637
介護給付(要介護3)	25	27	26	25	26	26	28	27	29	28	27	23	317
介護給付(要介護4)	27	25	22	23	21	22	19	18	20	23	22	20	262
介護給付(要介護5)	8	8	8	7	6	6	7	7	6	6	8	10	87
介護給付合計	194	191	189	179	182	191	185	180	184	189	184	175	2,223
予防+介護給付 合計件数	421	410	413	394	410	411	413	417	421	426	415	405	4,956

通所介護事業所事業報告

1. 基本方針【共通】

利用者のケアプラン（介護サービス計画）に基づき、質の高いサービスの提供を目指しました。利用者の心身の状況や変化にいち早く気付き、また、介護者である家族等への支援を行いながら、在宅生活の継続に視点を置いたサービスを提供しました。

2. 重点目標【共通】

(1) 魅力ある施設づくりを行い、目標利用率を一部達成しました。

利用者のニーズを的確に捉え、多種多様なレクリエーション・創作活動の提供などにより魅力ある施設づくりに努め、サービス・利用者満足度の向上をもって、利用率の向上を図りました。また、関係機関等への広報活動を積極的に行い、利用に繋がるように努めました。

(2) 事故防止に努め、安全かつ快適なサービスを提供しました。

内部研修を実施し、リスクマネジメント力の向上を図りました。また、事故・ヒヤリハット事例の検証を迅速に行い、再発防止策の徹底を図ることで施設の安全性向上に努めました。

(3) 自立支援・重度化防止への取り組みを強化しました。

常に自立支援を主眼に置いたサービス提供を行い、日常の介護場面やリハビリなどで、心身機能の維持・向上に努めました。また、必要な機器の更新や、体制強化について検討しました。

(4) 介護に関わる職員のうち、医療・福祉関係の資格を有さない者（該当する職員50%以上）について、認知症介護基礎研修を受講させ、認知症の方への支援力向上に努めました。

3. 各施設目標・サービス提供内容

(1) 東品川在宅サービスセンター（総合事業、通常規模型通所介護 定員40名）

①品川区総合事業を推進するとともに、中重度の高齢者及び医療的ケアの必要な方についても積極的に受け入れを行いました。また、認知症ケアにおいては、ケアプランを基に、さまざまな生活機能（心身機能・活動・参加）全体を捉えながら、認知症予防や利用者の能力の最大活用ができるように個々のニーズに合わせたサービス提供を行いました。

②高齢者福祉部として取り組んでいる地域貢献活動（ミニサロン）について、新しい生活様式の中で、安心して参加者が楽しめるようなプログラム作りを模索しました。

③利用者の事故を防止するため、事故・ヒヤリハット事例の検討を迅速に行いまし

た。防止策については、朝礼等で職員全体での情報共有を徹底するとともに、業務マニュアル・手順書についても適宜更新しました。

- ④環境整備について、今年度は浴室の床の整備・点検、床材入れ替工事をを行い、より一層安全で快適な環境を整備しました。

(2) 大崎在宅サービスセンター（総合事業、通常規模型通所介護 定員35名）

① 目標利用率の達成に向けて

ア 利用者アンケートの評価・意見を事業運営へ反映させることで、利用者満足度の向上（目標：「サービス全般について」一満足80%以上）に努めました。

（利用者アンケートの回答について）

- ・「サービス全般について」評価を問う設問に対し、85.4%の方に満足以上（うち大いに満足22.9%）の回答をいただきました。
- ・利用者様より、「トイレの便座拭き用アルコールを設置して欲しい」とのご意見をいただきました。一部未設置の場所があり、すべてのトイレに便座拭き用アルコールを設置しました。
- ・ご家族様より、「どのような昼食を食べているか見てみたい」とのご意見をいただきました。「おおさき通信（毎月発行）」へ、定期的に昼食写真を掲載しました。

イ 空き情報や活動報告などを、近隣関係事業所へ月1回配布しました。また、事業所パンフレットを年1回更新しました。

ウ 見学等で使用している「利用ご案内」について、年2回更新を行いました。新規契約・見学等で、施設サービスについて分かりやすい説明に努めました。

- ② 多種多様なレクリエーション・創作活動の提供などにより魅力ある施設作りに努めました。法人内の事業所等と、職員の相互研修を実施し、それぞれの事業所で行っているサービスの強みを理解し、互いの学びをサービスへ反映することで、さらに魅力のある施設作りに努める予定でしたが、コロナウィルス感染症蔓延防止のため見送りました。

- ③ ヒヤリハット報告事例（目標：年40件以上）の検討を積極的に行いました。目標値を設定することで、職員の意識向上を図りました。目標件数40件を上回る63件の検討を実施しました。（令和3年度の20件より43件増）。

施設内の危険を予見し、検討後の対応策を周知徹底する事で安全性向上に努めました。決定した対応策については一時的なものにならないよう、適宜「手順書」へ追記し、事業所内で周知しました。また、3月に「手順書確認研修」を行い、職員全体で現行手順書の確認、修正を行いました。

- ④ リハビリ機器の更新・追加設置により環境面の充実を図りました。

【令和4年度（6月）に設置したリハビリ機器】

- ・ウォーターマッサージベッド 1台（主な効果：筋肉の柔軟性向上など）
- ・コードレスバイク 2台（主な効果：下肢筋力の維持・向上など）

(3) 品川区立五反田保育園ふれあいデイホーム（地域密着型通所介護 定員10名）

- ① 居宅支援事業所へ月1回発行している活動報告や、地区ケア会議への参加等で、事業所の特色（充実した創作活動・手厚い支援体制など）を、積極的にアピールしました。また、さらなるサービスの充実を目指して、法人内の職員相互研修を実施（年間1名以上）する予定でしたが、コロナウィルス感染症蔓延防止のため見送りました。
- ② ヒヤリハット事例（目標：年20件以上）を事故防止の入り口と捉え、防止策を立て、それを着実に実行することで事故防止努めました。目標値を設定することで職員の意識向上を図り、19件の検討を実施しました。（令和3年度の3件より、16件増）。
- ③ 介護予防や自立支援を目的とした「いきいき活動支援プログラム」などを推進しました。手芸等の創作活動など様々な活動を通して利用者の心身機能の維持・向上に努めました。

(4) 一般介護予防事業

お申し込みをいただいた方（65歳以上の全ての区民が対象）に、効果的な介護予防教室を開催します。早期に介護予防に取り組んでいただくことで自立を支援しました。

- ① 東品川在宅サービスセンター
 - ・マシンでトレーニング（月曜日／定員—8名）
 - ・身近でトレーニング（水・土曜日／定員—各12名）
- ② 大崎在宅サービスセンター
 - ・身近でトレーニング（木曜日／定員—6名）

(5) 介護者教室

在宅介護者の方々へ介護方法や介護予防、介護者の健康づくり等についての知識・技術が習得できるような教室を開催する予定でした。また、参加者同士が日頃の介護の悩みや・不安の軽減に繋がるよう自由な意見交換の場とする予定でしたが、コロナウィルス感染症蔓延防止のため東品川在宅サービスセンター、大崎在宅サービスセンターの協同開催での実施を見送りました。

4. 家族介護者との関わり・連携（意見・要望の収集など）

- (1) 戸別訪問の実施（随時）※サービス担当者会議、通所介護計画更新時等
- (2) 利用者・家族アンケートを実施（6月）し、そこで出た意見・要望を集約（回答を数値化）して職員に周知する等、事業運営に反映しました。
- (3) 利用者アンケートの意見報告・頂いたご意見に対する施設の業務改善策について

集計内容を書面化し、利用者集会を開催（7月）し説明しました。家族懇談会も開催する予定でしたがコロナウィルス感染症蔓延防止のため中止とし、書面報告させていただきました。

- (4) 設置されている意見箱（毎日確認）や、サービス提供中の会話等で、施設へのご意見を伺うように努め、寄せられた意見・要望に対しては、誠意を持って回答・対応しました。

5. 地域との交流・連携、ボランティアの受け入れ促進

(1) 地域貢献活動について

①東品川エリア（東品川在宅サービス課）

地域貢献事業として、折り紙教室「海岸通り」（毎月第2木曜日・第4金曜日）を実施予定でしたがコロナウィルス感染症蔓延防止のため見送りとし、地域貢献活動の、「東品川ミニサロン」（毎月第2：4金曜日）、「自治八潮会サロン」（毎月第1金曜日）、「冽崎町会サロン」（毎月第3水曜日）も合わせて見送りしました。

③ 大崎エリア（大崎在宅サービス課）

地域貢献活動（「大崎ふくふく」—シナプソロジー・施設見学など）を定期的（年4回）に開催する予定でした。実施については、法人内の大崎在宅介護支援センター・五反田保育園ふれあいデイホームと協同して開催予定でしたが、コロナウィルス感染症蔓延防止のため実施を見送りました。

- (2) 行事や施設開放を通じて地域との交流、町会・自治会や近隣の保育園・小学校等の地域活動への交流についても、コロナウィルス感染症蔓延防止のため実施を見送りました。

- (3) プログラムメニューを工夫し、ボランティアの方々が短時間でも活動しやすい体制を作る等、ボランティアの受け入れを促進する予定でしたが、コロナウィルス感染症蔓延防止のため実施を見送りました。

認知症対応型通所介護事業報告

1. 基本方針

少人数で家庭的な雰囲気の中、個別のアセスメントを基に、その人らしさを引き出しながら個々の利用者の有する能力に応じた支援と提供を目指した運営を行いました。

2. 重点目標

(1) 認知症支援の質の向上を図りました。

認知症の方が有する能力に応じた自立した日常生活を営むことが出来るよう、内部・外部研修等を通じて、実践的な知識・技術を取得し、事業所の支援力を強化しました。

(2) ケアプランに基づく、適正なサービス提供を行いました。

個々のケアプランに基づき、身体介護、入浴サービス、食事サービス、送迎サービス等を適正に実施・提供しました。個別ケアによる自己選択・自己決定ができる環境づくりに取り組み、個別機能訓練についても、リハビリテーションセンターで日常生活に活かせる「生活リハビリ」を実施しました。

3. 各施設目標・サービス提供内容

(1) 東品川在宅サービスセンター（1単位目 定員12名 「福栄会の家 ぽかぽか」）

利用者サービスの向上・家族の介護負担軽減を視野に入れた提供時間の調整を行い、より充実したプログラムを提供しました。（1・2単位共通）

①ケアプランに則し、より個々の利用者の有する能力に応じた自立した支援を提供しました。

② サービス内容に対する取り組み

ア 入浴サービスは、個々の身体状況に合わせ、利用者・家族と相談の上で、機械浴、介助浴、個別浴など入浴サービスを行いました。

イ 利用者が能力を最大限引き出せるよう、余暇活動において自己決定（選択）できる環境を整えました。

③ ぽかぽかとなごみの利用者の交流を目的に同フロアでの受け入れを行い、交流による活性化を定期的に行いました。

(2) 東品川在宅サービスセンター（2単位目 定員12名 「福栄会の家 なごみ」）

①ケアプランに則し、個々のプログラムの構築など、より個々の利用者の有する能力に応じた自立した支援を提供しました。

② サービス内容に対する取り組み

ア 入浴サービスは、ご本人の生活状況に応じて「個別浴」方式を採り入れ、体調に留意し、各利用者のペースを重視して実施しました。

イ 利用者の能力を最大限引き出して頂くために、余暇活動や創作活動など自己決定（選択）できる環境を整え活動に幅や楽しみが増やせました。

- (3) 大崎在宅サービスセンター（定員12名 「福栄会の家 ほのぼの」）
- ① 令和3年度に導入した脳活性化メソッド「シナプソロジー」のプログラムを、利用者朝礼等で5分～10分程度（毎日）実施し、利用者の認知機能低下予防に努めました。
 - ② 東京都認知症介護実践者研修を受講（年1名）しました。認知症高齢者への支援の在り方を学び、受講した職員が研修報告会（3月）を実施することで、他職員へも学びを共有し事業所全体の支援力向上に努めました。
- (4) 運営推進会議を開催（6か月に1回以上）し、利用者・家族・地域住民の代表者等へ、日頃のサービス内容等を説明する予定でしたが、コロナウィルス感染症蔓延防止のため書面での報告とさせていただきました。また、広く意見を求めることで地域に開かれた施設を目指し、サービスの質の向上を図りました。
- (5) 介護者教室や認知症家族懇談会を通して、認知症介護から生じるさまざまな問題や課題を理解し、家族同士が交流の場を持つことで、不安やストレスの軽減を図るなど家族支援に取り組む予定でしたが、コロナウィルス感染症蔓延防止のため開催は見送りました。しかしながら、日頃の家族との接点がある場面での利用状況の説明や、ご心配に対するお声かけ等、家族支援に努めました。

〔別紙①〕 在宅課年間行事

①東品川在宅サービスセンター・支援センター・ヘルパーステーション

月	日	行事名等	内 容
4	1	自治八潮会サロン（東支援）⇒中止	以降毎月第1金曜日開催
	1	お花見ドライブ⇒中止	季節行事
	1	うどん教室（北浜公園）	一般介護予防事業、以降毎月第1・3木曜日実施
	5	係長・主任会議	以降毎月第1火曜日実施
	3	給食委員会	毎月第1週の水曜日実施
	7	東海ミーティング（東支援）	以降毎月第1木曜日実施
	11	東品川地区ケア会議⇒中止	以降毎月第2月曜日に実施（今年度はすべて中止）
	6	ちえのわ教室（東支援）⇒中止	以降毎月第1土曜日実施
	13	管理者会・居宅支援事業所連絡会（東支援）	以降毎月第2水曜日実施
	11	折り紙教室⇒中止	地域開放交流事業、以降毎月第2木曜日・第4金曜日
	12	東品川ミニサロン（第2金曜日）⇒中止	以降毎月第2金曜日実施
	12	支援職員会議（東支援）	以降毎月第2金曜日実施
	15	茶話会（お誕生会）週間	以降毎月第3週に実施
	17	刈崎町会サロン⇒中止	以降毎月第3水曜日実施、東海ホーム職員が実施
	16	職員会議⇒中止	以降毎月1回開催（各宣言発令中は書面回覧確認）
	18	台場地区ケア会議⇒中止	以降毎月第3木曜日開催
	23	アットホームカフェ（東支援）⇒中止	以降毎月第4土曜日実施
	25	ヘルパーミーティング（東支援）	以降毎月第4土曜日実施
	25	在宅課ミーティング⇒中止	以降毎月最終火曜日実施（今年度はすべて書面回覧確認）
	25	法人防災訓練	以降毎月第4木曜日開催（机上訓練、機器作動確認）
	26	東品川ミニサロン（第4金曜日）⇒中止	以降毎月第4金曜日実施
5	1	開設記念日	
	6	菖蒲湯週間	
	12	福栄会まつり⇒中止	
	17	ひろまち保育園交流⇒中止	
	18	家族懇談会⇒中止	年1回開催
	20	東京医療保健大学実習（東支援）	20日・23日
	25	ちえのわ南校（東支援）⇒中止	奇数月第4水曜日に実施（今年度はすべて中止）
	25	認知症家族懇談会（アットホーム）⇒中止	年3回開催
6	14	認知症サポーター養成講座（東支援）	
		東京福祉専門学校実習・昭和大学医学部附属看護専門学校実習	14日
	15	介護者教室⇒中止	夏場の熱中症対策
	18	城南小学校訪問⇒中止	
	22	ボランティア懇談会⇒中止	年1回開催
	23	昭和大学医学部附属看護専門学校実習（東支援）	23日・24日
7	25	社会福祉士実習（東支援）	
	4	身近でトレーニング（土曜日）開始	一般介護予防事業、以降毎週土曜日実施
	6	マシンでトレーニング開始	一般介護予防事業、以降毎週月曜日実施
	8	身近でトレーニング（水曜日）開始	一般介護予防事業、以降毎週水曜日実施
	18	北品川保育園交流⇒中止	4歳児との交流
	20	介護者教室⇒中止	家庭で出来るやさしい介護技術
	26	すいか割り⇒中止	
8	1	教員ボランティア受け入れ	毎週3名程度、以降12月まで
	3	刈崎町会納涼祭⇒中止	
	23	運営推進会議⇒中止	第1回（年2回開催）
9	10	ひろまち保育園交流⇒中止	
	11	センター祭り⇒中止	
	21	認知症家族懇談会（アットホーム）⇒中止	年3回開催
	19	北品川保育園交流⇒中止	

月	日	行事名等	内 容
10	5	ジブラルタル生命ボランティア来所⇒中止	衛生用品の寄付あり
	8	城南小学校訪問⇒中止	
	12	社会福祉士実習(東支援)	12日13日
	14	東京医療保健大学実習(東支援)	14日17日
	28	運動会⇒中止	28日・29日
11	2	法人経営基礎研修⇒中止	
		東京福祉専門学校実習受け入れ	
	5	秋の収穫祭(さんま祭り)⇒中止	法人的行事
	5	城南小学校訪問⇒中止	5年生体験授業
	16	介護者教室⇒中止	高齢者の食事
	16	市民後見人見学⇒中止	
	18	紅葉ドライブ行事⇒中止	季節行事
	19	介護者激励の集い(東支援)	
	27	総合防災訓練・わかくさ荘防災訓練(東支援)	年1回・年3回開催(機器点検・消火・避難誘導等)
12	7	法人経営基礎研修⇒中止	
	24	クリスマス会⇒中止	
1	6	初詣ドライブ⇒中止	季節行事
	12	システム障害訓練(東支援)	
	19	理事長ヒヤリング	
		上級救命講習	
	23	品川学園職業体験(訪問しての説明実施)	
2	1	上級救命講習	1日・3日
	6	東海中学校職業体験	
	10	わかくさ荘防災訓練(東支援)	(機器点検・消火・避難誘導等)
	18	品川区デイサービスセンター合同作品展⇒中止	
	21	運営推進会議⇒中止	年2回開催
3	24	新任研修	配属先での研修
	31	親睦会総会・歓送迎会⇒中止	※感染症拡大に伴い中止

②大崎在宅サービスセンター・支援センター・五反田保育園ふれあいデイホーム

月	日	行事名等	内 容	
4		将棋ボランティア(大崎)	毎週金曜日 ※コロナの為、中止	
		バイオリンボランティア(大崎)	月2回 ※コロナの為、中止	
		大正琴ボランティア(大崎)	大正琴を使用した演奏と合唱、月1回 ※コロナの為、中止	
		八潮ウクレレボランティア(大崎)	毎月実施 ※コロナの為、中止	
		ギター・ハーモニカボランティア(大崎)	毎月1回開催 ※コロナの為、中止	
		ソプラノ(大崎)	不定期に開催 ※コロナの為、中止	
		落語ボランティア(大崎)	不定期に開催 落語・合唱 ※コロナの為、中止	
		利用者集会(大崎)	年1回開催 ※コロナの為、延期	
		家族懇談会(大崎)	年1回開催 ※コロナの為、中止	
		折り紙ボランティア(五反田)	季節の折り紙、毎月1回 ※コロナの為、中止	
		絵手紙ボランティア(五反田)	毎月1回 ※コロナの為、中止	
		お花見週間(五反田)	年1回・週間程度 ※令和4年3月28日～4月2日にコロナの為、ドライブのみ実施	
		管理者会・居宅支援事業所連絡会(大支援)	毎月実施 ※コロナの為Webにて参加	
		大崎地区ケア会(大支援)	毎月実施 ※コロナの為、中止	
5		係長主任会議	以降毎月第1火曜日に実施	
6		給食委員会	以降毎月第1水曜日に実施	
12		五反田保育園ふれあいデイホーム職員会議(五反田)	以降毎月1回実施	
		保育園との打ち合わせ(五反田)	以降毎月1回実施 ※コロナの為、中止	
19		西五反田地区ケア会議(五反田)	以降月1回開催 ※コロナの為、参加を控えた	
20		上大崎地区ケア会議(五反田)	以降月1回開催 ※コロナの為、参加を控えた	
21		台場地区ケア会議(五反田)	以降月1回開催 ※コロナの為、参加を控えた	
27		支援職員会議(大支援)	以降も毎月1回実施	
26		在宅課ミーティング	以降毎月最終火曜日に実施 ※コロナの為	
30		大崎SC職員会議	以降毎月1回実施	
5		福栄会まつり	年1回(法人全体) ※コロナの為、中止	
		保育園との交流会(五反田)	不定期に開催 ※コロナの為、中止	
		認知症家族懇談会(アットホーム)	年3回開催 ※コロナの為、中止	
5		菖蒲湯(大崎)	1週間程度	
30		品川介護専門学校実習(大崎)	5月30日～6月3日(5日間)1名	
6		貴船神社祭礼		
		介護者教室	「夏場の熱中症対策」 ※コロナの為、中止	
		ボランティア懇談会(法人全体)	年1回開催 ※コロナの為、中止	
		地域貢献事業「ふくふく」(大支援・大崎・五反田)	年4回開催 ※コロナの為、中止	
		大崎ウィズタワー全館防災訓練(大崎・大支援)	年2回実施(6・11月)	
13		大崎館内清掃(大崎)	年4回実施	
15		支え愛活動会議(大崎・大支援—管理者)		
23		昭和大学医学部付属看護専門学校実習(大支援)	23・24日 2名	
7		品川区立日野学園職場体験(五反田)	※コロナの為、中止	
		在宅課全体ミーティング	年1回開催 ※コロナの為、中止(課長・管理者のみで開催)	
		運営推進会議①(五反田)	年2回開催 ※コロナの為、書面開催	
	1		東京医療保健大学看護学科実習(大支援)	1・4日 2名
	14		昭和大学医学部付属看護専門学校実習(五反田)	14日、15日(2日間)2名・19日、20日(2日間)2名・21日、22日(2日間)2名
14		昭和大学医学部付属看護専門学校実習(大崎)	14、15日1名・19、20日1名・21、22日1名	
25		夏祭り(大崎デイ)		
8		夏の体験ボランティア(大崎)	※コロナの為、中止	
		運営推進会議(大崎認知デイ)	年2回開催 ※コロナの為、書面開催	
	1		教員介護等体験ボランティア(五反田)	(～12月、各週2名づつ)
	5		教員介護等体験ボランティア(大崎)	(～12月、各週2名づつ) ※コロナの為、中止
	8		介護支援専門員実務研修(大支援)	1名
15		夏祭り(五反田)	15～20日開催	
30		品川介護福祉専門学校(大崎)	30日～9月3日(5日間)1名	
9		夏の体験ボランティア(大崎)	※コロナの為、中止	
		コスモスの会(五反田)	保育園交流 ※コロナの為、中止	
		運営推進会議(五反田)	※コロナの為、書面開催	
		認知症家族懇談会(アットホーム)	年3回開催 ※コロナの為、中止	
		地域貢献事業「ふくふく」(大支援・大崎・五反田)	年4回開催 ※コロナの為、中止	
	5		利用者集会(五反田)	5～10日で実施
	8		昭和大学医学部付属看護専門学校実習(大支援)	8・9日及び15・16日 各2名づつ
	16		三事業所合同消防訓練(五反田)	毎年2回開催 ※コロナの為、参加を控える
21		教員介護等体験ボランティア(大崎)	(～12月、各週2～3名づつ)	
28		認知症家族懇談会(アットホーム)	年3回開催 ※コロナの為、中止	

月	日	行事名等	内 容
10		大崎中学職場体験（大崎） 介護者教室 14 東京医療保健大学看護学科実習（大支援） 17 運動会（五反田） 19 ハロウィン（大崎）	※コロナの為、中止 リハビリについて ※コロナの為、中止 14日・17日 2名 17日～22日 19～20日開催
11		8 炊き出し訓練 介護者激励の集い（大支援） 介護者教室 地域貢献事業「ふくふく」（大支援・大崎・五反田） 紅葉ドライブ行事（大崎） 10 三事業所合同消防訓練（五反田） 11 認知症サポーター養成講座（大支援）	法人的行事 ※コロナの為、中止 高齢者の食事 ※コロナの為、中止 年4回開催 ※コロナの為、中止 季節行事 ※コロナの為、中止（施設内で代替行事実施） 毎年2回開催 ※コロナの為、参加を控える 平塚ゆうゆうにて実施
12		7 支え愛活動会議（大崎・大支援—管理者） 21 ゆず湯週間（大崎） 22 大掃除週間（大崎） 23 大崎SCクリスマス会 19 クリスマス会（五反田） 29 年末年始休業	21～24日実施 22～28日実施 23～24日実施。 季節行事（保育園と合同） ※コロナの為、中止 19～24日までデイホームのみで実施 12月29日～1月3日まで
1		6 初詣ドライブ（大崎・五反田） 12 お正月の会（五反田） 13 獅子舞（大崎） 23 初詣ドライブ（五反田） 27 クアマネット大崎地区部会施設見学会（大崎） 30 介護支援専門員実務研修	季節行事6日～11日 ※コロナの為、中止 季節行事 保育園との交流 コロナの為、中止 23～28日実施 27日実施 1名
2		保育園展（五反田） 品川区デイサービスセンター合同作品展 三事業所合同消防訓練（五反田） 認知症家族懇談会（アットホーム） 3 節分（大崎） 3 節分の会（五反田） 6 認知症サポーター養成講座（大支援） 10 運営推進会議（大崎）	保育園の作品展に出展 ※コロナの為、中止 ※コロナの為、中止 年2回開催 ※コロナのため、中止 年3回開催 ※コロナの為、中止 保育園との交流 ※コロナの為、ベランダ越しに実施 大崎在支相談室にて実施 年2回開催 ※コロナの為、書面開催
3		ひなまつり会（大崎・五反田） 運営推進会議（五反田） お花見ドライブ（大崎） 2 認知症サポーターステップアップ講座（大支援） 11 五反田保育園 卒園式参加 13 晴楓職員研修 28 新任研修 29 認知症サポーター養成講座（大支援）	※コロナの為、書面開催 季節行事 大崎ゆうゆうにて実施 五反田保育園にて実施 ※コロナの為、不参加 13～14日1名 配属先での研修 ※We bにて実施

[別紙②] 年間利用状況

東品川在宅サービスセンター

1) 利用率

小数点第2位四捨五入

2) 利用率算出式

延利用数 ÷ (稼働日数 × 1日定員)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計
1. 通常規模型 通所介護 品川区総合事業	稼働日数	26	26	26	26	27	26	23	26	24	24	24	27	305
	要介護 実利用者数	75	78	77	82	81	76	80	81	82	80	80	84	956
	総合事業 実利用者数	37	38	39	37	37	38	38	38	38	39	39	38	456
	要介護 延利用数	628	664	673	697	674	675	587	679	658	641	674	749	7,999
	総合事業 延利用数	230	230	241	235	240	248	221	252	228	231	234	249	2,839
定員40名	利用率%	82.5	86.0	87.9	89.6	84.5	88.8	87.8	89.5	92.3	89.9	93.8	92.4	88.8
2. 認知症対応型 通所介護 (ぼかぼか)	要介護 実利用者数	10	10	9	8	9	10	10	10	11	12	11	11	121
	総合事業 実利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要介護 延利用者数	116	110	100	73	81	91	75	98	100	112	100	113	1,169
	総合事業 延利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	定員12名	利用率%	37.2	35.3	32.1	23.4	25.0	39.2	27.2	31.4	34.7	38.9	34.7	34.9
3. 認知症対応型 通所介護 (なごみ)	要介護 実利用者数	13	12	13	14	14	14	13	12	12	12	11	11	151
	総合事業 実利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要介護 延利用者数	110	102	118	128	129	121	110	122	113	94	100	105	1,352
	総合事業 延利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	定員12名	利用率%	35.3	32.7	37.8	41.0	39.8	38.8	39.9	39.1	39.2	32.6	34.7	32.4
4. 入浴	延利用数	739	771	793	797	807	806	660	811	761	734	755	843	9,277
5. 給食サービス	延利用数	1,065	1,088	1,109	1,112	1,103	1,115	977	1,125	1,072	1,044	1,080	1,194	13,084
6. 訪問給食	延利用数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7. 送迎サービス	延利用数	2,050	2,092	2,135	2,135	2,129	2,139	1,882	2,166	2,064	2,004	2,073	2,261	25,130
8. 相談件数	延利用数	72	76	65	70	84	77	265	95	76	75	56	81	1,092
9. 介護者教室	参加者数	/	/	0	/	/	0	0	/	/	0	/	/	0.0
10. 身近でトレーニング ※全24回開催 ※週2回開催・各回12名定員	実利用数	22	21	20	20	20	20	23	23	23	23	22	22	259
	延利用者数	78	69	80	88	57	78	67	78	72	65	65	81	878
11. マシンでトレーニング ※全24回開催	実利用数	8	8	8	7	7	7	8	8	8	8	8	8	93
	延利用者数	28	19	36	24	24	25	31	29	19	20	28	22	305
12. 東品川ミニサロン (月2回開催)	実利用数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13. 自治八潮会サロン (月1回開催)	実利用数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14. 洲崎町会サロン (月1回開催)	実利用数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15. 折り紙教室 (月2回開催)	実利用数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※新型コロナウイルス感染拡大の影響で、左記9, 12, 13, 14, 15は、中止となる。

大崎在宅サービスセンター

1) 利用率

小数点第2位四捨五入

2) 利用率算出式

延利用数 ÷ (稼働日数 × 1日定員)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計
1. 通常規模型 通所介護 品川区総合事業 定員35名	稼働日数	26	26	26	26	27	26	26	26	24	24	24	27	308
	要介護 実利用者数	66	67	67	67	63	65	67	68	68	68	66	66	798
	総合事業 実利用者数	12	16	19	25	20	25	26	29	28	28	29	31	288
	要介護 延利用者数	591	617	619	595	578	578	595	590	535	554	560	579	6,991
	総合事業 延利用者数	81	108	114	130	120	140	154	172	157	158	175	206	1,715
	利用率%	73.8	79.2	80.5	79.0	73.9	78.9	82.3	83.7	82.4	86.1	88.5	84.4	81.1
2. 認知症対応型 通所介護 (ほのぼの) 平成26年6月1日開所 定員12名	要介護 実利用者数	18	19	19	18	17	18	16	17	17	18	16	20	213
	要支援 実利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要介護 延利用者数	169	178	193	187	186	183	156	175	153	158	138	203	2,079
	要支援 延利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用率%	54.2	57.1	61.9	59.9	57.4	58.7	50.0	56.1	53.1	54.9	47.9	62.7	56.2
3. 入浴	延利用数	729	762	789	768	740	752	764	767	701	720	728	794	9,014
4. 個別機能訓練	延利用数	759	794	815	782	756	750	742	755	681	706	698	789	9,027
5. 給食サービス	延利用数	841	876	896	874	848	872	878	916	831	860	853	972	10,517
6. 訪問給食	延利用数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7. 送迎サービス	延利用数	1,606	1,723	1,759	1,738	1,689	1,706	1,746	1,798	1,636	1,694	1,706	1,932	20,733
8. 相談件数	延利用数	95	105	96	84	103	92	91	95	116	94	90	90	1,151
9. 介護者教室	参加者数	/	/	0	0	/	0	0	0	/	0	/	/	0
10. 予防事業 身近でトレーニング (定員10名)	実利用者	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72
	延利用者	17	23	27	21	14	21	20	19	22	22	21	21	248
11. 地域貢献事業 (大崎ふくふく)	延利用数	/	/	/	0	/	0	/	0	/	/	0	/	0

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、「介護者教室」・「地域貢献活動(大崎ふくふく)」は中止。

品川区立五反田保育園ふれあいデイホーム

1) 利用率

小数点第2位四捨五入

2) 利用率算出式

延利用数 ÷ (稼働日数 × 1日定員)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計
1. 地域密着型 通所介護 品川区総合事業 定員10名	稼働日数	25	23	26	26	26	24	25	24	24	23	22	26	294
	要介護 実利用者数	19	20	20	21	21	23	22	21	21	21	21	20	250
	総合事業 実利用者数	12	12	12	11	10	10	11	11	11	10	10	9	129
	要介護 延利用者数	141	130	149	142	140	158	149	156	158	146	131	128	1,728
	総合事業 延利用者数	59	63	80	64	66	63	69	64	61	59	56	65	769
	利用率%	80.0	83.9	88.1	79.2	79.2	92.1	87.2	91.7	91.3	89.1	85.0	74.2	85.1
2. 給食サービス	実利用数	31	30	31	31	30	32	32	31	31	30	30	28	367
	延利用数	200	187	226	204	205	219	215	218	217	203	186	189	2,469
3. 送迎サービス	延利用数	324	310	372	332	303	354	332	343	341	323	290	287	3,911
4. 相談件数	延利用数	4	30	14	15	16	18	7	13	6	15	7	6	151

[別紙③] 過去の各事業の推移

小数点第2位四捨五入
延利用数：(稼働日数×1日定員)

実利用数は月平均数
延利用数は年間合計数

ア 東品川在宅サービスセンター

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考
1. 基本事業 一般デイサービス	平均実利用数	164.3	142.1	142.8	131.8	130.7	123.8	112.3	107.0	108.0	117.0	平成13年1月より定員数を、基本25名から40名に変更。
	延利用数	10,295	10,707	10,851	10,360	10,843	10,208	9,432	9,092	9,769	10,838	
	平均利用率(%)	82.9	87.0	88.9	84.9	85.8	83.0	76.8	73.0	79.3	88.8	
2. 認知症対応型 デイサービス	平均実利用数	37.4	35.6	30.2	31.9	33.0	32.8	28.8	29.0	26.5	22.6	平成24年12月1日より2単位目「なごみ」開始に伴い、定員数を12名から24名に変更
	延利用数	4,357	3,712	3,323	3,621	3,447	3,463	3,214	3,292	3,070	2,521	
	平均利用率(%)	62.9	50.0	45.7	48.6	47.5	46.9	43.6	44.0	41.5	34.9	
3. 入浴(介助浴)	延利用数	5,948	4,906	5,080	4,507	5,801	5,601	5,047	5,887	6,151	6,477	
4. 入浴(機械浴)	延利用数	3,648	2,983	2,858	2,696	3,379	3,545	3,413	2,957	2,639	2,899	
5. 機能回復訓練	平均実利用数	173.3	194.0	191.4	194.0	198.0	176.0	145.5	164.0	179.0	178.5	平成20年11月1日より認知症デイ機能訓練請求開始
	延利用数	13,763	14,343	14,600	14,921	15,965	14,212	13,033	12,615	14,110	14,692	
6. 給食サービス	平均実利用数	169.9	161.8	170.0	158.7	171.4	154.9	140.4	136.0	135.0	140.0	
	延利用数	14,328	14,227	13,874	13,921	14,290	13,601	12,603	12,382	11,651	13,084	
7. 訪問給食	平均実利用数	14.5	11.4	4.9	5.3	1.0	1.0	1.0	1.0	0.0	0.0	
	延利用数	1,260	956	151	498	307	89	95	99	0	0	
8. 送迎	延利用数	26,488	27,119	27,391	26,897	26,688	25,945	23,955	22,924	24,448	25,130	片道送迎を1回としてカウント
9. 相談件数	年間相談件数	1,505	1,293	1,369	1,632	1,546	1,235	1,086	1,136	1,053	1,092	
10. 介護者教室	総参加者数	65	88	58	133	30	53	78	0	0	0	

イ 大崎在宅サービスセンター

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考
1. 基本事業 一般デイサービス	平均実利用数	106.0	104.1	106.5	109.9	114.0	104.5	95.8	84.2	77.8	90.5	平成13年1月より定員数を、基本25名から35名に変更。平成15年8月より定員数を基本35名から30名に変更。平成19年11月より定員数を基本30名から35名に変更。
	延利用数	9,649	8,974	9,292	9,667	10,202	9,461	8,924	8,485	7,962	8,706	
	平均利用率(%)	90.1	83.5	85.5	88.8	83.4	87.9	82.8	78.8	73.8	81.1	
2. 認知症対応型 デイサービス	平均実利用数		15	19.5	20.4	16.8	22.8	21.1	18.7	18.1	17.8	平成15年8月より認知症開設(定員10名)。平成19年11月より認知症休止。平成26年6月より認知症定員12名で開始。
	延利用数		1,375	1,773	1,911	1,191	2,144	2,243	2,382	2,293	2,079	
	平均利用率(%)		45.1	47.8	51.2	39.8	58.3	60.7	64.5	61.8	56.2	
3. 入浴(介助浴)	延利用数	4,225	5,388	5,848	5,348	5,595	6,264	6,661	5,854	5,870	6,789	平成26年6月より認知症開始。(個浴を含む)
4. 入浴(機械浴)	延利用数	3,470	2,989	3,452	3,828	3,164	3,334	2,595	3,028	2,591	2,202	平成22年度よりチェアバス設置。平成26年3月よりチェアバス1台増設。
5. 機能回復訓練	平均実利用数	108.5	98	102	107.2	95	127	117	103	96	108	
	延利用数	6,482	8,111	8,667	9,581	8,307	9,314	8,850	9,411	9,083	9,027	
6. 給食サービス	平均実利用数	102.5	117.1	126	130	112	126.5	115	110	93.9	103.6	
	延利用数	9,345	10,330	11,329	11,578	10,012	11,480	12,350	10,721	10,021	10,517	
7. 訪問給食	平均実利用数	2.3	1.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	延利用数	161	63	6	0	0	0	0	0	0	0	
8. 送迎	延利用数	18,860	20,419	21,779	22,610	20,890	22,854	21,441	20,866	19,663	20,733	片道送迎を1回としてカウント
9. 相談件数	年間相談件数	1,004	1,369	1,321	1,321	989	846	1,108	953	999	1,151	
10. 介護者教室	総参加者数	102	49	47	47	64	39	47	0	0	0	令和2年度より、新型コロナウイルス感染拡大により中止

ウ 品川区立五反田保育園ふれあいデイホーム

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考
1. 基本事業 一般デイサービス	平均実利用数	29.0	27.0	27.0	33.0	33.0	31.4	23.9	20.0	24.7	31.6	平成18年度から運営受託(品川区より)。定員数を8名から10名に変更。平成19年5月より土曜日開設
	延利用数	2,319	1,937	1,196	2,371	2,640	2,413	2,035	1,919	2,051	2,497	
	平均利用率(%)	79.1	66.6	60.8	81.2	91.5	82.7	70.5	65.5	70.1	85.1	
2. 給食サービス	平均実利用数	29.0	27.0	20.0	33.0	33.0	31.4	23.9	20.0	24.7	30.6	
	延利用数	2,319	1,937	1,196	2,371	2,592	2,413	2,035	1,919	2,051	2,469	
3. 送迎	延利用数	4,440	3,504	2,385	4,216	4,257	4,113	3,579	3,334	3,520	3,911	片道送迎を1回としてカウント
4. 相談件数	年間相談件数	155	143	152	60	31	147	181	189	288	151	

[別紙④] 防災訓練実施状況

ア 東品川在宅サービスセンター

年	月	日	曜日	訓練内容
令和4年	4	28	木	防災機器等、自主点検、机上訓練
	5	26	木	防災機器等、自主点検、机上訓練
	6	23	木	防災機器等、自主点検、机上訓練
	7	28	木	防災機器等、自主点検、机上訓練
	8	25	木	防災機器等、自主点検、
	9	22	木	防災機器等、自主点検、法定点検
	10	27	木	防災機器等、自主点検、
	11	27	日	総合防災訓練、自主点検、
	12	22	木	防災機器等、自主点検、
令和5年	1	26	木	防災機器等、自主点検、
	2	22	水	防災機器等、自主点検、法定点検
	3	23	木	防災機器等、自主点検、

イ 大崎在宅サービスセンター

年	月	日	曜日	訓練内容	
令和4年	4	18	月	日中想定 消火・避難・通報訓練	
	5	17	火	日中想定 消火・避難・通報訓練	
	6	15	水	日中想定 消火・避難・通報訓練 ※6月 大崎ウィズタワー総合防災訓練	
	7	14	木	日中想定 消火・避難・通報訓練	
	8	19	金	日中想定 消火・避難・通報訓練	
	9	17	土	日中想定 消火・避難・通報訓練	
	10	17	月	日中想定 消火・避難・通報訓練	
	11	23	水	日中想定 消火・避難・通報訓練	
	12	20	火	日中想定 消火・避難・通報訓練 ※12月 大崎ウィズタワー総合防災訓練	
	令和5年	1	19	木	日中想定 消火・避難・通報訓練
		2	17	金	日中想定 消火・避難・通報訓練
		3	18	土	日中想定 消火・避難・通報訓練

ウ 五反田保育園ふれあいデイホーム

年	月	日	曜日	訓練内容
令和4年	4	21	木	日中想定 消火・避難・通報訓練
	5	28	土	日中想定 消火・避難・通報訓練
	6	29	水	日中想定 消火・避難・通報訓練
	7	22	金	日中想定 消火・避難・通報訓練
	8	31	水	日中想定 消火・避難・通報訓練
	9	30	金	日中想定 消火・避難・通報訓練
	10	31	月	日中想定 消火・避難・通報訓練
	11	29	火	日中想定 消火・避難 3所(保育園・シルバーセンター合同訓練)
	12	28	水	日中想定 消火・避難・通報訓練
	令和5年	1	28	土
2		25	土	日中想定 消火・避難・通報訓練
3		31	金	日中想定 消火・避難・通報訓練

エ 東品川在宅介護支援センター(東品川わかくさ荘)

年	月	日	曜日	訓練内容
令和4年	6	17	金	防災機器取り扱い確認、消化・避難・通報訓練
	9	22	木	防災機器取り扱い確認、消化・避難・通報訓練
	11	27	日	総合防災訓練
令和5年	2	10	金	防災機器取り扱い確認、消化・避難・通報訓練

ヒヤリハット報告状況

	東品川在宅SC	大崎在宅SC	五反田保育園ふれあいDH
4月	1	8	4
5月	3	9	2
6月	1	9	1
7月	0	2	
8月	0	4	
9月	0	1	1
10月	0	5	3
11月	1	7	4
12月	1	4	
1月	1	6	4
2月	1	5	
3月	3	3	
合計	12	63	19

[内訳]
東品川SC 異食2件無断外出5件転倒1件利用者誘導2件
水分補給時の注意2件

大崎SC 誤提供(水分)1件 誤提供(おやつ)2件
入浴14件 車椅子操作2件 見守り不足9件
物品保管4件 座席からのずり落ち1件
申し送り連絡4件 服薬管理4件 個人情報3件
送迎時の対応10件 爪切り対応2件 薬品取り扱い3件
利用者誘導1件 備品不備1件 利用者衣類1件

五反田 トイレ水漏れ1件、義歯管理1件
利用者誘導4件、服薬管理1件
薬管理1件、水分補給時の注意1件、配膳時の注意2件
送迎時の対応6件、創作時の注意1件、検温時の注意1件

事故報告状況

医療機関を受診し治療・入院等に至ったもの

	東品川在宅SC	大崎在宅SC	五反田保育園ふれあいDH
4月	0		
5月	0		1
6月	0		
7月	0		1
8月	0		
9月	0		
10月	※1	※1	1
11月	0		
12月	0	※1	
1月	1		
2月	0	1	
3月	※2		2
合計	4	3	5

※医療機関を受診したが、診察または検査のみで治療を伴わないもの/医療機関を受診することなく、軽微な治療のみで対応したもの

[内訳]
東品川SC ※転倒3件、転倒1件

大崎SC ※転倒2件、体調不良1件

五反田 転倒2件、体調不良2件、感染症(疥癬)1件

品川区ヘルパーステーション東品川事業報告

1. 基本方針

利用者がいつまでも住み慣れた地域で生活していけるよう、訪問介護サービスの充実に取り組みました。

2. 重点目標

(1) 地域の関係事業者と連携したサービスの提供

法人内及び近隣の居宅介護支援事業所・通所介護事業所・短期入所生活介護事業所等と協力してサービスを提供しました。利用者のご家族の相談を踏まえ、訪問、通所、短期入所の各事業と連携した生活支援を行いました。

(2) 大規模多機能施設としての機能を活かす

①総合福祉法人の強みを活かし、法人内の居宅介護支援事業所・通所介護事業所・短期入所生活介護事業所等と日常的に情報交換等を行い、利用者のご家族のニーズを迅速に把握し、臨機応変に対応しました。

②障害者等の地域における自立生活と社会参加を促すことを目的に、移動支援事業を引き続き実施しました。また、研修等に積極的に参加し、障害福祉サービスの充実を図りました。

(3) 利用者の自立支援に努める

法人のサービス方針に謳われている「自立の援助」と「相互援助」の方針に基づき、利用者の人間性と生きてきた過程を尊重しました。そして、専門的知識を活かし、一人ひとりの生きがいのある生活を支援し、利用者のADLの維持・向上に努めました。

3. サービス提供体制

(1) サービス提供責任者及び訪問介護員の配置について、常に事業所として必要とされる適正な人員を配置しました。

サービス提供責任者（正規職員）	3名
登録ヘルパー	4名

(2) サービス提供にあたっては懇切丁寧に利用者及びそのご家族に対応しました。また、サービス提供方法等について、分りやすく説明しました。

(3) 感染症対策に努め、サービス提供を行ってまいりました。

(3) 利用状況及び過去の推移

—令和4年度—
(令和4年4月～令和5年3月)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	月平均
介護	26	25	26	26	26	25	25	25	25	26	26	27	308	25.6
利用実人数	18	18	22	18	20	20	20	21	20	20	20	21	238	19.3
生活	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	6	71	5.9
介護	276	276	286	287	296	290	291	304	291	271	272	346	3486	290.5
利用延人数	99	107	119	108	134	129	116	118	111	105	110	133	1389	115.7
生活	21	26	26	25	27	25	25	28	24	22	20	24	293	24.4
介護	243.4	248.5	251.4	261	263.5	256.5	259.5	263.2	252.4	247.9	242.4	297.1	3086.8	257.2
派遣時間数	91.7	104	112.7	104	129.5	129.2	115.2	117.7	110	107.7	109.7	133.5	1364.9	113.7
生活	20.7	23	22.7	22.2	24.7	22	22	24	21.5	20.2	18.2	21.7	262.9	21.9

—令和3年度—
(令和3年4月～令和4年3月)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	月平均
介護	28	25	23	25	29	31	28	27	27	26	27	28	324	27.0
利用実人数	15	17	19	19	17	19	19	17	18	17	17	19	213	17.7
生活	11	8	8	7	7	6	7	8	7	6	6	5	86	7.1
介護	347	334	303	332	371	363	260	256	255	281	268	339	3709	309.0
利用延人数	73	85	105	107	98	111	98	97	90	90	90	115	1159	96.5
生活	37	29	32	31	30	28	29	32	23	24	25	23	343	28.5
介護	267.1	292.8	274.5	296.3	316.3	299.6	225.6	225.3	225.1	248.3	237.7	289.8	3198.4	266.5
派遣時間数	65	80.3	99.5	100	94.1	106.1	92.5	93	84.1	85.6	86	109	1095.2	91.2
生活	31.1	23.5	28.3	26.5	25.5	24	26	28.1	21.5	21.6	19.1	20.5	295.7	24.6

—令和4年度—
(令和4年4月～令和5年3月)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	月平均
利用実人数	6	6	5	4	4	5	5	6	3	4	4	4	56	4.6
利用延人数	15	18	13	13	11	14	16	14	8	10	9	9	150	12.5
派遣時間数	41	43.5	44.2	35.7	27.5	38	48.5	39.2	30.7	36.5	30.7	31.7	447.2	37.2

—令和3年度—
(令和3年4月～令和4年3月)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	月平均
利用実人数	3	2	3	2	4	2	4	4	5	4	3	4	40	3.3
利用延人数	5	6	6	6	47	5	13	10	13	14	12	14	151	12.5
派遣時間数	24.1	29.1	27.6	33.5	52.3	25.6	40	16.3	36.5	40.1	34.1	34	393.2	32.7

オ 自費訪問介護事業利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	月平均
利用実人数	5	4	6	6	4	7	4	6	1	2	5	3	53	4.4
利用延人数	5	5	8	10	7	7	4	6	1	2	5	3	63	5.2
派遣時間数	4.5	7	14.7	8.7	8	5	4.5	10	2.5	2.7	8.7	3.5	80	6.6

福栄会リハビリテーションセンター事業報告

1. 基本方針

利用者が希望する生活を営んでいくために、その人に応じたリハビリが行えるように、理学療法士・看護師・介護職など多職種がチームとなり、多面的な視野を持ったリハビリテーションを目指して実施しました。

2. 重点目標

- (1) 利用者が安全にリハビリを行えるよう配慮し、設備・備品については、日々の点検を行い、必要な安全対策を行いました。
- (2) 自立支援・重度化予防を目指し、介護支援専門員や関連事業所の介護職員などと連携しました。また、高齢者福祉部、障害者福祉部の各施設・事業所と情報交換を行い、適切なリハビリを提供しました。
- (3) 介護予防事業「マシンでトレーニング」「身近でトレーニング」において、事業内容の充実とともに虚弱高齢者の受け入れを積極的に行いました。また、修了者へのフォローアップとして、運動の継続とボランティア活動の提案などの社会参加を促し、マシンでトレーニングの機器を使用して、安全かつ効果の高い運動を提供しました。

3. サービス提供内容

- (1) 生活している環境や状況に配慮し、利用者個々の身体機能に合わせたリハビリの提供を行いました。
- (2) 介護予防事業において、感染症対策を行いつつ、虚弱高齢者でも運動が行えるように個々の状態に合わせた運動を行いました。また、自宅などで行える運動プログラムを提案し、事業修了後の運動継続を支援しました。
- (3) 大崎在宅サービスセンターやその他の施設・事業所への派遣については、コロナウィルス感染症の蔓延防止のため実施を見送りました。

<サービス提供体制>

リハビリの内容	サービス提供時間	職員体制（一日当り）
①運動療法 （立位・歩行訓練等）	午前／ 9時30分～11時30分	常勤理学療法士2名 非常勤理学療法士または
②温熱療法	午後／	非常勤介護士等数名
③福祉用具相談等	13時30分～16時00分	

機能訓練実施状況

個別リハビリ利用者数（上段：実人数（登録数） 下段：延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
日数	26	26	26	26	27	26	26	26	24	24	24	27	308	26
基本デイ	74	77	75	76	78	81	79	77	80	74	76	76	923	77
	607	646	646	674	650	656	569	663	641	606	636	706	7,700	642
予防デイ	32	30	31	33	30	29	30	33	32	30	31	33	374	31
	225	226	240	237	235	244	219	252	227	238	241	259	2,843	237
認知デイ(ばかばか)	16	14	17	14	14	13	11	12	12	13	11	10	157	13
	116	110	99	77	80	93	74	98	99	114	102	111	1,173	98
認知デイ(なごみ)	13	14	12	13	13	14	14	15	15	13	13	13	162	14
	107	100	117	122	124	118	108	122	113	92	96	105	1,324	110
マシンでトレーニング	8	8	8	7	7	7	8	8	8	8	8	8	93	8
	28	19	36	24	24	25	31	29	19	20	28	22	305	25
身近でトレーニング	22	21	20	20	20	20	23	23	23	23	22	22	259	22
	78	69	80	88	57	78	67	78	72	65	65	81	878	73
単独リハビリ	14	14	15	14	14	14	15	15	15	15	15	15	175	15
	42	44	36	29	32	37	32	46	39	45	43	44	469	39
晴楓ホーム	74	72	78	80	80	79	80	81	82	82	79	81	948	79
	98	80	115	113	138	236	270	303	223	95	181	236	2,088	174
ショートステイ	61	58	54	61	54	65	53	45	50	44	44	60	649	54
	48	36	39	38	52	43	47	40	35	26	19	42	465	39
実人数合計	314	308	310	318	310	322	313	309	317	302	299	318	3,740	312
延べ人数合計	1,349	1,330	1,408	1,402	1,392	1,530	1,417	1,631	1,468	1,301	1,411	1,606	17,245	1,437
一日の利用者数平均	52	51	54	54	52	59	55	63	61	54	59	59		56

高齢者施設実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
大森在宅サービスセンター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※新型コロナウイルス感染症の影響で今年度実施していない。

障害者施設実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
しいのき学園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西大井福祉園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
かがやき園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害者福祉部計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※新型コロナウイルス感染症の影響で今年度実施していない。

品川区立東品川わかくさ荘事業報告

1. 基本方針

居住者が安心して生活を営めるよう、安全性の高い建物設備の維持管理を区所管課とともに行いました。また、日常生活上の相談に丁寧に対応するとともに、緊急時には法人内の他施設と連携して迅速に対応するなど多面的な支援体制を構築しました。

2. 重点目標

(1) 安心・安全な生活の確保

- ①緊急通報システム（生活リズムシステム）や朝夕の巡回などにより、居住者の安全確認を行い、事故防止に努めました。また、緊急時には病院などの関係機関と迅速な情報共有を図る必要があるため、適宜、居住者情報の更新を行いました。
- ②健康状態の確認を含めた声掛けや、日常生活における様々な困りごとに対する相談を受ける事により、居住者が居室内で孤立しないように、また心身共に健康で過ごせるように支援を行いました。
- ③ 防犯対策を強化するため、令和2年1月に設置された防犯カメラを適切に運用し、施設内掲示板等を活用しながら、居住者の防犯意識の向上に努めました。
- ④施設管理職員が建物機械設備を適切に維持管理し、専門業者による定期点検を実施して、適切な建物管理を実施しました。

(2) 防災対策への取り組み

高齢者住宅での火災発生に備え、「迅速な避難」を第一に居住者対象の防災訓練を実施しました。近隣町会との合同防災訓練も含め、年4回訓練を実施しました。また、チラシでの周知や声掛けにより、居住者の訓練への参加を促しました。

(3) 利用者の意見、要望の調整

日常会話や相談窓口で収集した居住者の意見・要望について、状況確認・調整等を速やかに行い、対応困難な事例は区所管課へ報告して、対応を協議しながら居住者の理解を得られるよう努めました。

<東品川わかくさ荘管理体制概要>

職 員	配置数	担 当 業 務
常勤職	1名	防火管理、建物管理者
常勤職（支援センター）	1名	相談業務、一部ワーデン業務
準職員（支援センター）	1名	一部ワーデン業務
常勤職（総務課）	1名	経理、施設管理、一部ワーデン業務
防災宿日直（法人本部職員）	1名	夜間帯の見回り・緊急対応等

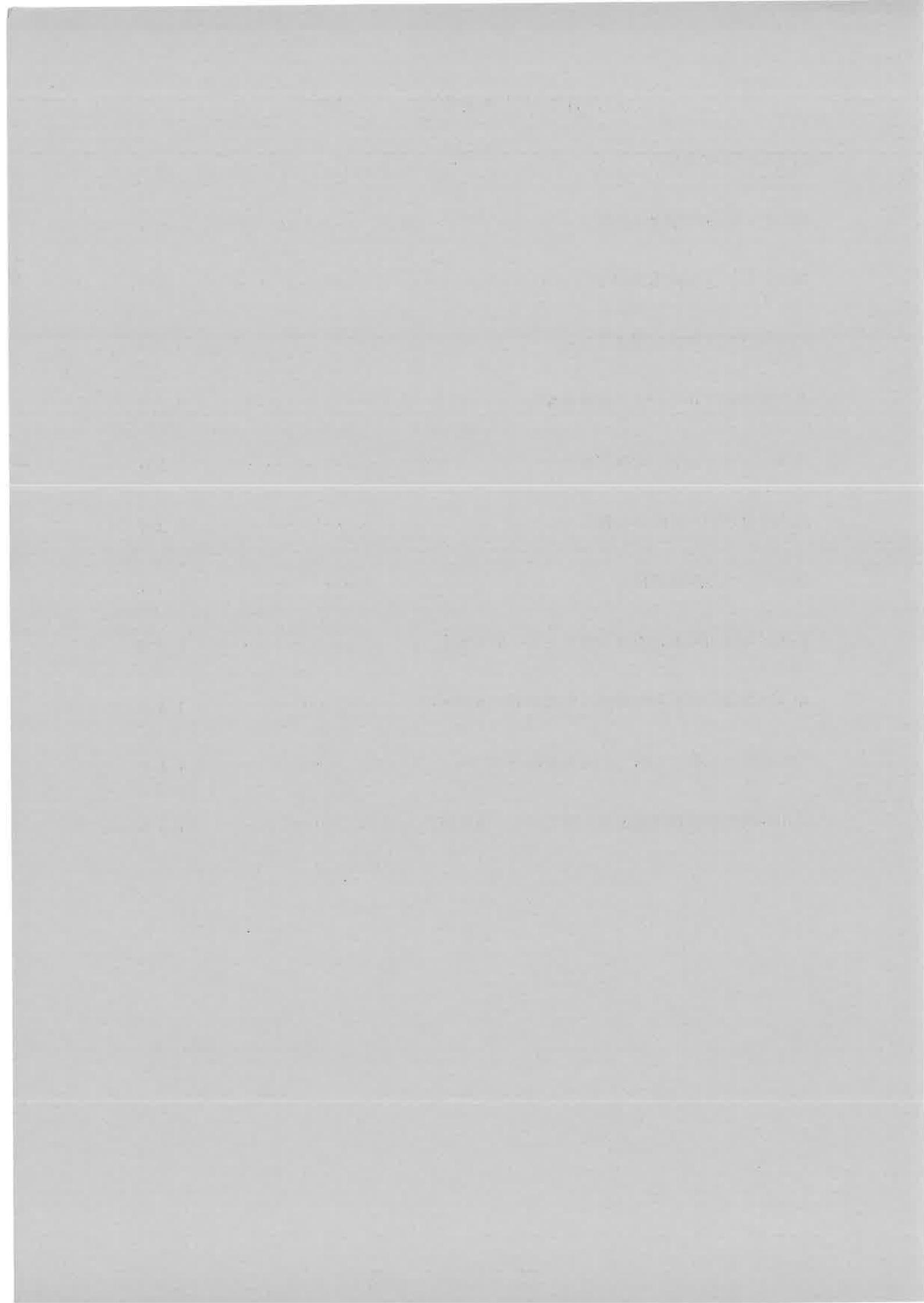
令和4年度 東品川わかくさ荘事業報告資料 (指定管理含む)

令和5年3月末現在 単位：(人)

	全体	女性		男性		非該当		支援1		支援2		介護1		介護2		介護3		介護4		介護5		
		女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	
年齢関係	82	85	79																			
高齢者平均年齢																						
高齢者最少年齢	71	73	71																			
高齢者最長年齢	95	95	89																			
高齢者年齢比 (65～69代)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
高齢者年齢比 (70～79代)	12	3	9	3	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
高齢者年齢比 (80～89代)	28	19	9	14	8	0	0	2	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	
高齢者年齢比 (90～)	6	6	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	1	0	0	0	
高齢者枠当年度入居者数	5	4	1																			
高齢者枠当年度退居者数	7	5	2																			
高齢者枠当年度未入居者数 (50室)	43	27	16																			
高齢者平均居住年数	7	8	6																			
障害者当年度入居者数	0	0	0																			
障害者当年度退去者数	0	0	0																			
障害者枠当年度未入居者数 (2室)	1	1	0																			
緊急対応 (4月～3月)	4	2	2																			
高齢者日中緊急対応 (件数)																						
高齢者夜間緊急対応 (件数)	0	0	0																			
障害者夜間緊急対応 (件数)	0	0	0																			
生活相談・環境整備等への個別対応 (件数)			396																			
備考																						
その他の対応 (4月～3月末)			105																			
健康管理面への対応 (件数)																						
備考																						

障害者福祉部事業報告 目次

障害者福祉部事業報告	85
第一しいのき学園事業報告	87
第二しいのき学園事業報告	95
品川区立西大井福祉園事業報告	104
品川区立西大井つばさの家事業報告	112
グループホーム金子山事業報告	118
品川区立かがやき園事業報告	124
南品川むつみ園事業報告	134
品川区東品川障害者相談支援センター事業報告	142
品川区東品川障害者計画相談支援事業所事業報告	146
かもめ第一・第二・第三工房事業報告	148
品川区精神障害者地域生活支援センター事業報告	155



障害者福祉部事業報告

1. 基本方針の遵守

通所・入所・短期入所・共同生活援助・特定相談支援等、障害者福祉部の各事業所は、基本サービスの機能向上を図ると同時に、緊急事態や新たなニーズに対応するため、各事業所が一体となり、また関係機関と連携し地域福祉の発展に努めました。

2. 重点目標への対応

(1) 品川区立障害児者総合支援施設の指定管理に向けた準備

障害児の療育支援拠点、障害児者の地域生活支援拠点の2つの重要な機能を担う品川区立障害児者総合支援施設の運営（令和4年10月に指定管理業務を開始）に向けた準備を品川区及び関係機関と連携しながら執り行いました。

(2) 障害者福祉事業の拡大への対応

障害者福祉事業の急速な拡大に対応するために、積極的な人材確保、育成活動を継続的に実施しました。また、地域生活支援拠点機能を高めるため、事業所間連携によるケースワークの機会などを活用し、障害者部内全体の技術や知識の向上を図りました。

(3) 業務合理化とサービス向上に向けたICT化

業務の合理化と利用者サービスの向上を目指し、令和3年度より継続的に取り組んでいるICT化を引き続き取り組みました。

3. サービス支援体制

(1) 各施設の利用実績

事業・施設名	障害者自立支援法に基づく事業、施設	定員	利用率 ※(%)
第一しいのき学園	生活介護	40	86.4%
第二しいのき学園	就労継続支援B型	60	66.6%
区立西大井福祉園 (多機能型)	生活介護	30	89.8%
	就労継続支援B型	10	92.1%
区立西大井つばさの家	共同生活援助	7	69.4%
グループホーム金子山 (含む森前ユニット)	共同生活援助	16	84.3%
区立かがやき園	施設入所支援	30	94.7%
	生活介護	30	100.8%
	短期入所	3	105.1%
南品川むつみ園	生活介護	20	40.5%
かもめ第一工房	就労継続支援B型	25	58.3%
かもめ第二工房	就労継続支援B型	20	65.0%
かもめ第三工房	就労継続支援B型	20	66.4%
品川区精神障害者地域生活支援センター	相談支援事業・ 地域活動支援センター		—
品川区東品川障害者相談支援センター	相談支援事業・ 地域拠点相談支援センター		—
品川区東品川障害者計画相談支援事業所	相談支援事業		—

※利用率は、実開園日数に対しての利用率です。

第一しいのき学園事業報告（生活介護）

1. 重点目標

（1）障害者サービスの質の向上を図る

サービス担当者会議は感染症予防のため、回覧形式により支援方針や支援内容を職員全員で確認しながら適切に進めてまいりました。嘱託医や専門職との専門相談も定着し、利用者のサービス向上に活用されています。今後も専門職との連携を通じて職員の支援力向上が図れる機会を確保してまいります。

（2）職場環境の改善

今年度は福祉の森のカスタマイズにより、職員の事務負担の軽減とともに利用者へのサービス提供時間の確保に努めました。チェアインバスの更新については次年度以降に向けた取り組みとして行ってまいります。また、感染症対策はこれまでの取り組みを継続し、利用者の安全性や健康管理を図りました。

（3）日中活動の充実と健康維持の強化

感染症対策を講じながらグループごとに日中活動や季節の行事を行いました。今年度はサービス向上に対する取り組みとして、送迎付きでの延長支援を7月より試行的に実施しています。その後、家庭に向けてアンケートを行い、3月より人数を拡充した形で取り組んでおります。また日中活動の充実や外出活動の実施は来年度への課題として取り組んでまいります。

2. 家族・支援者との協力体制

学園連絡会は感染症対策を講じながら4月と10月、3月の年3回実施しました。ご家族との面談も個別支援計画の更新やモニタリングなどを中心に全利用者を対象に年2回実施しております。また利用者やご家族の健康問題など緊急性の高いケースについては適宜面談を実施し、同行受診をするなど東品川相談支援センターとも連携して対応してまいりました。

3. 地域交流及び貢献活動

（1）体験利用等の受入れ

今年度は特別支援学校の実習生を2名受け入れました。また支援学校の卒業や就労サービスからの移行で7名が入所しました。退所については8名の利用者が入所施設へとつながり、東品川相談支援センターと連携して適切なサービスへと移行することができました。

(2) 地域交流事業の開催

新型コロナウイルス感染拡大予防のため、今年度は12月にイルミネーションを3月に桜のライトアップを行いました。地域の方たちとの直接的な交流はできていませんが、今後動向を見ながら感染症対策を取りつつ、引き続き検討してまいります。

(3) 子ども食堂運営の協力

コロナ禍においても変わらず、毎月定例で開催しました。実施方法は屋外で弁当や寄付物品を配るパントリー形式に変わって三年目となりましたが、毎回50人以上の子どもやその保護者たちが来場しており、定着ぶりが伺えます。今後も地域貢献事業として継続してまいります。

4. 事故防止・虐待防止

(1) 事故防止

ヒヤリハット・事故発生状況は別表10のとおりです。事故再発防止のために、職員の共通認識となるよう職員全体で意見交換や事例の分析、日々の自己点検の他、施設・設備等の点検を行いました。

(2) 虐待防止

虐待防止規定に基づいた、研修への参加、チェックリストを活用した自己点検に取り組む他、ケース会議の際に行動障害等への適切な対応について検討し、統一した対応による支援の質の向上に取り組みました。

5. 防災対策

防災計画及びBCPに基づき毎月1回火災想定及び地震想定 of 防災訓練を実施し、通報訓練・消火訓練・避難訓練を全支援員が習熟するよう努めました。

〔第一しいのき学園実績資料〕

(令和5年3月31日現在)

1. 利用者人員と入退所状況

(1) 利用者人員

定員(人)	現員(人)	内 訳			
		男(人)	比率%	女(人)	比率%
40	44	30	68.0	14	32.0

注) 内訳の構成率は、現員に対する比率を示します。

(2) 入退園状況 (令和5年4月1日現在)

区分	昨年度末人員	増	減	今年度末人員
男	29	3	2	30
女	18	2	6	14
計	47	5	8	44

2. 年齢状況

(1) 年齢構成

施設	第一しいのき学園			
	男	女	計	%
年齢(歳)				
～19	2	0	2	4
20～29	11	2	13	30
30～39	5	4	9	20
40～49	6	4	10	23
50～59	6	4	10	23
60～69	0	0	0	0
70～	0	0	0	0
人数計	30	14	44	100
最年少	19	28		
最高齢	58	56		

(2) 平均年齢

区 分	男	女	平均
平均年齢	36.8歳	41.1歳	38.2歳

注) 内訳の構成比率は、現員に対する比率を示します。

3. 障害状況

(1) 愛の手帳による利用者の障害状況

愛の手帳	1度			2度			3度			4度			非該当			合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
施設名																		
第一	0	2	2	24	9	33	6	2	8	0	1	1	0	0	0	30	14	44
構成比	4.5			75.0			18.2			2.3			0.0			100%		

(2) 身体障害者手帳を併所持する利用者の障害状況

愛の手帳	1度		2度		3度		4度		非該当		合計		
	所持人数		2名		33名		8名		1名		0名		44名
身 障 手 帳	1級	肢体1名		肢体1名		肢体2名						肢体5名	
	2級			肢体2名								肢体2名	
	3級			肢体1名 視覚1名								肢体1名 視覚1名	
	4級												
	5級												
	計	1名		5名		2名		0名		0名		8名	

(3) 障害支援区分の状況

障害支援 区分	区分	1	2	3	4	5	6	非該当	計
	人数	0名	0名	4名	20名	11名	9名	0名	44名

4. 通園状況

(1) 利用者の出席状況

開所日数	要出席者延べ人数 (定員×開所日数)	出席者延べ人数	利用率
257日	10,280	8,899人	86.6%

(2) 送迎車両運行及び利用者状況

送迎車両コース	利用人数	所要時間	対応車種	運転	添乗者
荏原コース	11名	90分	マイクロバス29人乗	職員	職員1名
東海コース	10名	90分	リフト付マイクロバス※	委託	職員1名
大井町コース	9名	100分	車いす対応ワゴン※	職員	職員1名
西大井コース	8名	90分	10人乗ワゴン	職員	職員1名
合計	38名	※車椅子対応車両。合計4コースで6台対応。			

(3) 通園形態

通園形態		男	女	計
自力 通園	徒歩	0	0	0
	交通機関	0	0	0
	小計	0	0	0
家庭 介護 通園等	徒歩等	3	1	4
	交通機関	0	0	0
	その他	1	1	2
	小計	4	2	6
合 計		4	2	6

5. 支援概要

(1) グループ編成

第一 しいの き学園	A				合計		
		男	女	計	男	女	計
		6	7	13	30	14	44
B							
	男	女	計				
	24	7	31				

(2) 余暇活動の実施状況

活 動	内 容
音楽レクリエーション	火曜日の午後に音楽講師のもと、楽器や歌などを通し身体を動かしたり歌をうたったりなどの活動を行いました。
ダンス	木曜日の午後にダンス講師のもと、ダンスを通して心身のリフレッシュを行いました。
ドライブ	マイクロバスを使用し、ドライブを行いました。
創作活動	月に1回、季節に応じたいろいろな工作を行いました。

※各活動についての参加人数については、利用者本人の希望やその日の体調等を考慮し、状況に応じ変更しています。

(3) 年間行事の実施状況

月	実施日	行事名	備考
4	22日(金)	新利用者の迎える集い	対象者3名
6	28日(火)	しいのき学園健康診断	
8	30日(火)	夏祭り	参加者12名
9	28日(水)	利用者ワクチン接種(4回目)	
10	28日(金)	ハロウィン茶話会	参加者15名
12	23日(金) 26日(月)	クリスマス会	グループごと
1	10日(火)	二十歳の集い	対象者1名
2	2日(木)	節分	第一・第二合同

6. 家族とのかかわり

(1) 学園連絡会の開催状況

区分	実施日	内容
第1回学園連絡会	令和4年 4月22日(金)	令和4年度事業計画・職員体制について 利用契約について
第2回学園連絡会	10月14日(金)	上半期事業報告・下半期事業について サービス向上についての提案
第3回学園連絡会	令和5年 3月24日(金)	令和4年度事業活動報告について サービス向上に関するアンケートの実施報告

(2) しいのき報の編集内容

発行月	発行内容
4月	新年度のご挨拶 新利用者入園
5月	新年度の職員紹介 感染症予防とゴールデンウィーク
6月	梅雨に向けた体調管理 活動報告
7月	熱中症への注意 活動報告
8月	熱中症予防、七夕行事
9月	収穫した夏野菜の調理実習 台風への対応
10月	休刊
11月	品川区障害児者総合支援施設について 職員の異動など
12月	ハロウィン報告 イルミネーションの予定
1月	新年のあいさつ 祝・二十歳の集い
2月	休刊
3月	年度末を迎えて、節分、バレンタイン

7. 実習・研修生の受け入れ状況(年間受け入れ人数)

区分	人数	備考
専門学校・大学・企業等	34名	保育、社会福祉援助技術現場実習、等の実習

8. 職員外部研修参加状況

(1) 外部研修

実施機関・主催	研修名・内容	日程	参加人数
三幸福祉カレッジ	介護職員初任者研修	5月9日他	2人
東京都社会福祉協議会	措置が終わって20年	5月27日	1人
東京都社会福祉協議会	利用者さんが飲んでいる薬を知ろう	6月29日	2人
東京都社会福祉協議会	初任者研修	7月14日他	2人
東京都福祉保健局	強度行動障害基礎研修	7月19日他	1人
品川介護福祉専門学校	腎不全と人工透析	7月21日	1人
日本てんかん協会	てんかん基礎講座	7月24日他	1人
東京都看護協会	感染症対策研修	7月29日	2人
東京福祉人材センター	中堅職員研修	11月27日	1人
品川福祉カレッジ	権利擁護研修	12月19日	2人
東京都社会福祉協議会	成年後見制度	1月20日	1人
大田幸陽会	移動支援従事者養成研修	2月18日他	2人

9. トワイライト実施状況

家族支援事業「トワイライトステイ」利用状況

施設	第一しいのき学園		
	延べ人数	1時間	2時間
4月	54	26	28
5月	38	18	20
6月	52	28	24
7月	55	22	33
8月	98	13	85
9月	68	16	52
10月	79	20	59
11月	71	16	55
12月	78	18	60
1月	82	22	60

2月	88	27	61
3月	127	38	89
合計	890	264	626
月平均回数	74.1	22.0	52.1

10. ヒヤリハット・事故発生状況

(1) ヒヤリハット報告状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	2	5	6	10	8	2	4	2	3	1	2	1	46

- ・他傷/他害行為 (23件)
- ・服薬 (1件)
- ・食事 (2件)
- ・車両 (4件)
- ・不穩 (5件)
- ・所在不明 (7件)
- ・転倒 (4件)

(2) 事故報告状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

- ・所在不明 (1件)

11. 感染症発生状況

インフルエンザ	感染性胃腸炎	新型コロナウイルス
0名	1名	3名

新型コロナウイルス感染予防として、検温、マスクの着用、手洗いの励行のほか、パーテーションおよびパネルの設置・館内消毒の徹底、乗車定員減による送迎サービスなど取り組みました。

第二しいのき学園事業報告（就労継続支援B型）

1. 重点目標への対応

（1）利用者サービスの向上

引き続き感染症対策を優先した取り組みを行い、支援の統一を図るためのサービス担当者会議は回覧形式に、支援力向上を図るための研修会等はウェブ形式により実施しました。

（2）日中活動の充実

社会スキルやマナーの習得を目的とした社会見学などの園外での活動として、従来の生産活動中心の取り組みとしました。緊急事態宣言などの影響から作業量の減少した活動もありましたが、令和4年度平均工賃額は20,432円となり目標（17,200円）を達成することができました。

（3）職場環境の整備

2階フロア部分のLED照明機器への更新工事や空気清浄機の設置など行いました。また、引き続きパネルやパーテーションの設置、消毒や検温の徹底など感染症対策を主体的に実施、整理整頓を心掛けるなど利用者が安心・安全に休息できる空間の増加を図りました。

2. 家族・支援者との協力体制

感染症対策により連絡会は4月、10月、3月の3回実施し、事業報告等を行いまいた。また利用者の日々の様子等については必要に応じて報告を行うとともに面談や家庭訪問を実施しました。

利用者が必要とするサービスの調整や緊急対応については相談支援事業所や法人内外の他事業所と連携し対応しました。

3. 地域交流及び貢献活動

地域のイベントや祭礼等での自主製品の販売や毎月第四土曜日開催の地域交流サロン『わかやぐ』は感染症対策として全て中止としましたが、館内利用者対象の土曜喫茶は年12回開催をしました。また地域の特別支援学校や特別支援級、在宅の方の体験利用等も昨年度同様に受入れを行いました。

4. 事故防止策・虐待防止対策

（1）事故防止

ヒヤリハット・事故発生状況は実績資料（別表9）のとおりです。

事故再発防止のために、職員の共通認識となるよう朝礼等を利用し

職員全体での事例の報告や意見交換、事例の分析、日々の自己点検の他、施設・設備等の点検を行いました。

(2) 虐待防止

虐待防止規定に基づいた、研修への参加、チェックリストを活用した自己点検に取り組んだ他、担当者会議において支援方針の統一を図り支援の質の向上に取り組みました。

5. 防災対策

防災計画及びBCPに基づき毎月1回火災想定及び地震想定 of 防災訓練を実施し、通報訓練・消火訓練・避難訓練を全支援員が習熟するよう努めました。

〔第二しいのき学園実績資料〕

(令和5年3月31日現在)

1. 利用者人員と入退所状況

(1) 利用者人員

定員(人)	現員(人)	内 訳			
		男(人)	比率%	女(人)	比率%
60	52	33	63%	19	37%

注) 内訳の構成率は、現員に対する比率を示します。

(2) 入退園状況 (令和5年4月1日現在)

区分	昨年度末人員	増	減	今年度末人員
男	36	3	6	33
女	20	0	1	20
計	56	3	7	53

2. 年齢状況

(1) 年齢構成

施設	第二しいのき学園			
	男	女	計	%
年齢(歳)				
～19	1	0	1	1.9%
20～29	6	2	8	15.4%
30～39	11	4	15	28.8%
40～49	6	8	14	26.9%
50～59	7	4	11	21.2%
60～69	2	1	3	5.8%
70～	0	0	0	0%
人数計	33	19	52	100%
最年少	19.4	26.8		
最高齢	65.1	60.2		

(2) 平均年齢

区 分	男	女	平均
平均年齢	39.6歳	43.3歳	41歳

注) 内訳の構成比率は、現員に対する比率を示します。

3. 障害状況

(1) 愛の手帳による利用者の障害状況

愛の手帳	1度			2度			3度			4度			非該当			合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
第二	0	0	0	9	4	13	14	9	23	9	7	16	0	0	0	32	20	52
構成比	0%			26%			44%			30%			0%			100%		

(2) 身体障害者手帳を併所持する利用者の障害状況

愛の手帳		1度	2度	3度	4度	非該当	合計
所持人数		0名	13名	23名	16名	0名	52名
身 障 手 帳	1級						
	2級						
	3級			体幹1名			体幹1名
	4級						
	計	0名	0名	1名	0名	0名	1名

(3) 障害支援区分の状況

障害支援	区分	1	2	3	4	5	6	非該当	計
区分	人数	1名	16名	6名	6名			23名	52名

4. 通園状況

(1) 利用者の出席状況

開所日数	要出席者延べ人数 (定員×開所日数)	出席者延べ人数	利用率
257日	15,420人	10,383人	67.3%

(2) 通園形態

通園形態		男	女	計
自力 通園	徒歩	8	2	11
	交通機関	20	11	28
	その他	2	0	1
	小計	30	13	43
家庭 介護	徒歩等	1	1	2
	交通機関	0	1	1

通園等	その他	2	4	6
	小計	3	6	9
合 計		30	19	52

5. 支援概要

(1) グループ編成

Cグループ	合計		
	男	女	計
	20	9	29
Dグループ	合計		
	男	女	計
	14	9	23

(2) 余暇活動の実施状況

感染症拡大防止の観点から講師およびボランティアの受け入れの全面中止、集団で調理を行うことおよびマイクロバス使用など3密の状態の回避するため、余暇活動は全て中止としました。

(3) 年間行事の実施状況

月	実施日	行事名	備考
12	28日	忘年会	
1	11日	成人の集い	
2	2日	節分	
3	20日	グループ活動 (いちご狩り)	市川・オヘロパパ農園
3	22日	グループ活動 (いちご狩り)	市川・オヘロパパ農園
3	29日	グループ活動 (いちご狩り)	市川・オヘロパパ農園

(4) 作業実施内容

作業種目	内 容
クリーニング (集荷・納品を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・区内保育園12ヵ所のシーツ、白衣、掛けカバー、エプロンなどの洗濯、たたみ ・同法人施設(高齢・障害・児童)のオムツ、タオル、リネン類、私物、予防衣、シーツ、エプロン、おしぼり等の洗濯およびたたみ ・同法人の制服の洗濯 ・区内高齢者施設の私物、タオル、おしぼり等の洗濯、たたみ ・図書館の風呂敷の洗濯 ・区内公共施設のリネン類の洗濯 ・他区の公共機関のリネン類やカーテンの洗濯 ・区内宿泊施設のリネン類の洗濯
清掃作業	<ul style="list-style-type: none"> ・区内公園17ヶ所の清掃 ・同法人高齢者施設の館内清掃 ・同法人障害者施設の館内清掃 ・同法人児童施設の館内清掃 ・同法人本部建物共有部の館内清掃 ・同法人本部建物外周部の清掃
軽作業	<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット、新聞納品(塗装資材) ・内職(封入、ペン入れ、シール張り等) ・ナッツ類のパック詰め、ネジ
お菓子 自主製品作り	<ul style="list-style-type: none"> ・喫茶海岸通り販売用お菓子製造、販売 ・同法人高齢者施設、誕生日会用ケーキ、おやつ製造 ・贈答用お菓子の製造、販売
リサイクル	<ul style="list-style-type: none"> ・法人内機密文書等の処理 ・古紙回収 ・小型家電の回収・解体 ・エコキャップ運動(ペットボトルキャップの回収)
喫茶実習	<ul style="list-style-type: none"> ・喫茶「海岸通り」での喫茶作業(接客・掃除・金銭の授受等)

(5) 工賃支給状況

年間総支給額	12,116,200円
支給対象利用者延べ人数	593人
月平均工賃(1人)小数点以下四捨五入	20,432円

6. 家族とのかかわり

(1) 学園連絡会の開催状況

区 分	実施日	内 容
第1回学園連絡会	令和4年 4月22日(金)	令和4年度事業計画・職員体制について 新型コロナウイルスに関する事項 利用契約について
第2回学園連絡会	10月21日(金)	上半期事業報告・下半期事業について その他
第3回学園連絡会	令和5年 3月24日(金)	事業活動報告 その他

(2) しいのき報の編集内容

発行月	発行内容
4月	新年度のご挨拶
5月	新年度の職員紹介 GWのお知らせ等
6月	活動報告
7月	活動報告
8月	熱中症への注意 活動報告
9月	感染症への注意 活動報告
10月	休刊
11月	障害時者総合支援施設紹介
12月	年末年始のお知らせ 活動報告
1月	施設長より新年のあいさつ
2月	休刊
3月	年度末を迎えて 活動報告

(3) 地域とのかかわり

ボランティアの受け入れ状況

活動名	人数	期間等	内 容
余暇活動ボランティア 作業補助			新型コロナウイルス対応に伴い中止

7. 実習・研修生の受け入れ状況(年間受け入れ人数)

区 分	人数	備 考
専門学校・大学・企業等	125人	保育、社会福祉援助技術現場実習、等の実習

8. 職員外部研修参加状況

(1) 外部研修

実施機関・主催	研修名・内容	日 程	参加人数
三幸福祉カレッジ	介護職員初任者研修	5月9日	1人
東京都社会福祉協議会	利用者さんが飲んでいる薬を知ろう	6月29日	2人
日本てんかん協会	てんかん基礎講座	7月24日	1人
東京都社会福祉協議会	初任者研修	7月14.15日	1人
社会福祉法人太田幸陽会	知的障害者移動支援従事者研修	7月18日他	2人
社会福祉法人太田幸陽会	知的障害者移動支援従事者研修	9月25日他	1人
福祉カレッジ	権利擁護	12月19日	6人
東京都社会福祉協議会	権利擁護	12月26日	1人
東京都社会福祉協議会	高齢障害者支援	1月19日	1人
東京都社会福祉協議会	成年後見制度	1月20日	2人
東京都社会福祉協議会	虐待防止研修	2月16日	1人
東京都社会福祉協議会	高齢化・重度化・強度行動障害	3月10日	1人
福祉カレッジ	意思決定支援	3月23日	1人

9. ヒヤリハット・事故発生状況

(1) ヒヤリハット報告状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	2	1	2	2	3	2	6	0	4	1	2	1	26

- ・他傷/他害行為 (24件) ・職員への暴力 (0件) ・器物破損 (0件)
- ・所在不明 (2件) ・転倒 (0件) ・その他(0件)

(2) 事故報告状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1

- ・所在不明 (0件) ・転倒 (0件) ・怪我(0件)
- ・その他(1) ・異食 (0件)

10. 感染症発生状況

インフルエンザ	感染性胃腸炎	コロナウイルス
0名	0名	6名

新型コロナウイルス感染予防として、検温、マスクの着用、手洗いの励行のほか、パーテーションおよびパネルの設置・館内消毒の徹底、乗車定員減による送迎サービスなど継続して取り組みました。

品川区立西大井福祉園事業報告 (生活介護・就労継続支援B型)

1. 重点目標への対応

(1) 生活介護サービス・就労継続B型サービスの提供

生活介護事業では新型コロナウイルス感染症に留意しながら、一人ひとりにあった介護や訓練、社会参加や余暇活動を模索しました。就労継続B型事業では受託作業の大量受注等を行い作業工賃向上に努めました。

令和4年度	目標工賃	15,800円
-------	------	---------

令和4年度	実績工賃	15,800円
-------	------	---------

(2) グループホームの改修工事への協力

品川区と協力しながら西大井つばさの家の全面改修工事を行いました。上半期は厨房・食堂等の改修工事を行う為、グループホームにおける夜間のバックアップ施設であるかがやき園にて夕食のお弁当を作り利用者へ提供しました。

(3) 品川区立障害児者総合支援施設との連携

新たに開設する品川区立障害児者総合支援施設へ人員協力し、新規採用した職員を上半期業務習熟研修で受け入れました。

(4) 新型コロナウイルスへの対応

昨年度から引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、利用者様以外の館内への立ち入りの制限、館内でのカラオケ活動の中止、食堂での集団給食の中止（代替えとしてお弁当給食の提供）に加え、班ごとに日中活動を行うようにいたしました。

2. 家族・支援者との協力体制

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、毎年開催している家族との連絡懇談会について流行期には文書による開催とし、個別面接事前に必要書類を送付し電話連絡にて行う等できる限りの連携に努めました。

3. 地域交流及び貢献活動

今年も新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う地域行事の中止が相次ぎ、法人全体で行う行事も全て中止となりました。また、西大井地区等で施設合同行事も、施設単体での行事に変更して行いました。なお、ボランティアの受け入れも引き続き中止しています。

4. 事故防止・虐待防止

(1) 事故防止

日々の朝礼・終礼及び職員会議で事故・ヒヤリハットの確認と対応を検討しました。また、事故の対応については1ヶ月後の振り返りを実施することで、再発防止に努めました。

(2) 虐待防止

法人全体で取り組んでいる虐待防止チェックリストを活用して業務の振り返りを行いました。また、西大井福祉園内で虐待防止研修を実施しています。

5. その他（質の高い人材の育成）

(1) 研修参加と資格の取得

新型コロナウイルス感染症流行により、勉強会や交換研修、集合座学式の研修等が相次いで中止になる中、キャリアパスに基づく人材教育を行うため、国家資格へチャレンジやコンピューターを用いたオンライン形式による研修に参加する等質の高い人材の育成に努めました。

【資格・研修実績】

○公認心理士	1名
○強度行動障害基礎研修	2名
○強度行動障害実践研修	2名

[西大井福祉園 実績資料]

1. 利用者人員と入退所状況（令和5年3月31日現在）

事業名	定員	性別	年度当初	増	減	年度末現員	比率
生活介護	30名	男	24名	0名	1名	23名	71.9%
		女	9名	0名	0名	9名	28.1%
		計	33名	0名	1名	32名	100.0%
就労継続支援B型	10名	男	9名	0名	0名	9名	69.2%
		女	3名	1名	0名	4名	30.8%
		計	12名	1名	0名	13名	100.0%
合計	40名	男	33名	0名	1名	32名	71.1%
		女	12名	1名	0名	13名	28.9%
		計	45名	1名	1名	45名	100.0%
人員増減理由		<ul style="list-style-type: none"> ・入所施設移行による減 ・新規通所による増 					

2. 年齢状況（令和5年3月31日現在）

年齢(歳)	男	女	計	%
18～19	0名	0名	0名	0.0%
20～24	0名	0名	0名	0.0%
25～29	2名	5名	7名	15.6%
30～34	3名	3名	6名	13.3%
35～39	7名	2名	9名	20.0%
40～44	9名	1名	10名	20.0%
45～49	2名	1名	3名	22.2%
50～54	1名	0名	1名	6.7%
55～59	0名	0名	0名	2.2%
60～	0名	0名	0名	0.0%
人数計	32名	13名	45名	100.0%
最年少	27歳	27歳	27歳	—
最高齢	55歳	53歳	55歳	—
平均年齢	41.3歳	35.0歳	39.5歳	—

3. 障害状況（令和5年3月31日現在）

（1）愛の手帳による利用者の障害状況および身体障害者手帳の併所持状況

愛の手帳		1度	2度	3度	4度	合計
	男	0名	23名	9名	0名	32名
	女	0名	11名	2名	0名	13名
	計	0名	34名	11名	0名	45名
身体 障害者 手帳	1級		視覚1名			
	2級		肢体1名			
	5級			肢体1名		
	計	0名	2名	1名	0名	3名

（2）障害支援区分の状況（令和5年3月31日現在）

現員	なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計	平均
生活介護	0名	0名	0名	2名	20名	10名	0名	32名	4.3
就労支援	2名	0名	1名	8名	2名	0名	0名	13名	2.6
合計	2名	0名	1名	10名	22名	10名	0名	45名	3.8

4. 通園状況（令和5年3月31日現在）

（1）利用者の出席状況（令和3年4月1日～令和5年3月31日）

年間開所日数	要出席者延べ人数	出席者延べ人数	出席率
257日			
生活介護	7,710人	6,911人	90%
就労支援	2,570人	2,367人	92%
合計	10,280人	9,278人	90%

（2）通園形態、送迎車両運行及び利用者状況

通園形態		男	女	計	所要時間	対応車種
送迎 車両	リフト・コース	11	2	13	90分	リフト付マイクロバス
	キャラバン・コース（2便運行）	2	6	8	70分	キャラバンチェアキャブ NV350
	西大井チェア・コース（2便運行）	6	2	8	90分	キャラバンチェアキャブ
	小計	19	10	29		
家庭介護通園（徒歩等）		5	3	8		
自力 通園	徒歩	5	3	8		
	交通機関	0	0	0		
	小計	5	3	8		
合計		32	13	45		

5. 支援概要

(1) グループ編成

(人)

	生活介護				就労継続 B	合計
	1 班	2 班	3 班	計	4 班	
男	6	9	8	23	9	32
女	3	4	2	9	4	13
計	9	13	10	32	13	45

(2) クラブ活動の実施状況（生活介護事業）

活動名	内 容
ドライブ	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため班ごとに分かれて、年間を通じて東京タワー周辺・羽田空港・お台場・平和島・等々力溪谷・城南島・砧公園・駒沢公園・夢見ヶ崎動物公園・池上梅園方面へ出かけました。
カラオケ	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため班ごとに分かれて、参加利用者に偏りが生じないように順番に活動しました。
室内運動	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため班ごとに分かれて、音楽に合わせた体操やストレッチ、バランスボールを使って体を動かす室内運動を実施しました。
芸術	墨と筆を使って字や絵を書く、色鉛筆を使った絵画を実施しました。仕上がった作品は館内に展示しました。
体育館運動	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため班ごとに分かれて、毎週火曜日の午前にウエルカムセンター原にて、講師の指導の下に体を動かしました。

(3) 生産活動支援状況

清掃作業・軽作業は作業の拡充を図り、工賃向上に努めました。

①生産活動の内容

作業種目	内 容
クラフト作業 (自主製作品)	<ul style="list-style-type: none"> ・ビーズ製品…携帯ストラップ、メガネチェーン・髪ゴム ・牛乳パックリサイクル製品…押し花はがき、しおり ・織物は中止をしました。
軽作業 清掃作業	<ul style="list-style-type: none"> ・宅配寿司等の箸セット、割箸袋入れ、チラシ折、袋詰め他 ・近隣区立公園 5ヶ所の清掃 ・森前障害者施設清掃

②自主製作品の販売状況

シンフォニーとして地域の各種イベント、近隣企業等の社会貢献活動の協力による自主製作品の社内販売等へ出店しました。その他、ひかり薬局・テルベ・区内の図書館での販売、西大井福祉園内での保護者への販売も随時実施しました。

(4) 年間行事等の実施状況

月	日	行事内容	月	日	行事内容
4	27	新年度を迎える集い	10	28	ハロウィンイベント
7	-	プール (21回)	12	23	クリスマス会
8			2	2	節分豆まき
9	16	秋祭り	3	24	炭火で焼いて食べよう

※毎週火曜日 (午前) : 体育館での講師による運動

※その他 年間を通して余暇活動を実施

6. 家族とのかかわり

(1) 家族参加行事等の開催状況

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止としました。

(2) 園連絡会等の開催状況

○令和4年度第1回園連絡会

令和4年7月29日 (金) ※書面開催

○令和4年度第2回園連絡会

令和5年3月17日 (金) 13:30~14:30 24名参加

(3) 西大井福祉園だよりの編集内容

発行月	主な内容	発行月	主な内容
4月	今年も春を見つけました	10月	秋祭り開催しました
5月	新年度を迎えるつどい	11月	ハロウィンイベント
6月	創作活動 (花紙あじさい等)	12月	障害者作品展に出展しました
7月	創作活動 (天の川づくり等)	1月	クリスマス
8月	プール活動	2月	正月遊び (福笑い、書初め等)
9月	ドライブ (羽田空港等)	3月	節分

7. 地域とのかかわり

(1) ボランティアの受け入れ状況

※新型コロナウイルス感染症の流行のため中止としました。

(2) 利用者実習生の受け入れ状況(年間延べ人数)

区 分	人 数
港特別支援学校実習生	0名

(3) 職員実習生受け入れ状況

区 分	人 数
社会福祉士実習	6名
介護福祉士実習	4名
保育士実習	8名
教職員介護等体験実習	2名

8. 職員研修参加状況

実施団体	研修名	実施時期	人数
公益財団法人 東京都福祉保健財団	強度行動障害支援者養成研修 (基礎研修)	7月～11月	2名
公益財団法人 東京都福祉保健財団	強度行動障害支援者養成研修 (実践研修)	10月～2月	4名
公益社団法人 東京社会福祉士会	社会福祉士実習指導者講習会	3月	1名
社会福祉法人 東京都社会福祉協議会	本人中心の支援から 虐待を考える	3月16日	1名
社会福祉法人 全国社会福祉協議会	社会福祉施設長資格認定講習	4月～3月	1名
社会福祉法人 東京都社会福祉協議会	中間職員研修	12月19,20日 10月20,27日	2名
社会福祉法人 東京都社会福祉協議会	三年目研修	8月5日 9月2日	1名
(福栄会法人内部)	業績評価にかかる考課者研修	11月22日	1名

9. 防災訓練の実施状況

回	実施日	内容
1	4月28日	火災想定による避難訓練（机上訓練）
2	5月26日	火災想定による避難訓練
3	6月23日	火災・地震想定による避難訓練
4	7月29日	火災想定による避難訓練
5	8月26日	火災想定による避難訓練（机上訓練）
6	9月22日	火災・地震想定による避難訓練
7	10月26日	火災想定による避難訓練
8	11月29日	火災想定による避難訓練
9	12月21日	火災・地震想定による避難訓練（机上訓練）
10	1月25日	火災想定による避難訓練（机上訓練）
11	2月21日	火災想定による避難訓練
12	3月28日	火災・地震想定による避難訓練（職員の動きのみ）

10. 家族支援事業「トワイライトステイ」実施状況

内 訳	件数	17:15～18:15	17:15～19:00
利用件数合計	3件	3件	0件

11. ヒヤリハット・事故件数

(1) ヒヤリハット報告状況 ※半年の小計を無くしました

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
件数	1	5	4	4	2	1	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	0	3	1	9	2	2	34

※ヒヤリハット：他害行為、職員への暴力、所在不明等（多い順）

(2) 事故報告状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
件数	0	0	0	2	0	0	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	0	0	0	0	1	0	3

※事故：職員への暴力、作業ミス、所在不明

品川区立西大井つばさの家事業報告 (外部サービス利用型共同生活援助)

1. 重点目標

(1) 関係機関との連携

日中活動施設で新型コロナウイルス感染症が流行した時は感染拡大防止のため、登園（通園制限）調整を行いました。

(2) 適切な支援及びサービスの提供

夜間宿直の応援体制を構築しています。また、新型コロナウイルス感染症拡大のため、地域行事は現在のところ中止となっています。

(3) グループホームのバックアップ体制について

障害者福祉課及び施工業者と連携を図りながら、入居者の居住環境を維持しつつ、円滑に工事を進めました。上半期は厨房・食堂等の改修工事を行う為、グループホームにおける夜間のバックアップ施設のかがやき園に夕食のお弁当作りを依頼し利用者へ提供しました。

(4) グループホームの改修に向けた品川区との連携

前述のとおり、地域交流行事中止となっていますが、PCR検査等を実施しながら、グループホーム内での行事を工夫し、利用者満足度の維持・向上に努めました。

2. 家族・支援者との協力体制

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、例年と比べて大幅な行事等の変更がありましたが、家族の協力と理解を得て利用者の生活支援を充実したものにしました。また、個別面接はマスク着用や定期的な換気など基本的な対策に十分留意した上で、流行時には事前に必要書類を送付し電話連絡にて行う等できる限りの連携に努めました。

3. 地域交流及び貢献活動

今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う地域行事の中止が相次ぎ、法人全体で行う行事も全て中止となりました。

4. 事故防止・虐待防止

(1) 事故防止

職員による施設内の見回りや利用者や世話人からの訴えについて、直ちに目視し必要な際は修理を行うことで事故予防に努めました。

また、補修箇所等が見つかった際は、速やかに修理を実施しています。

(2) 虐待防止

法人として、虐待防止チェックリストを実施し、人権擁護意識の向上につなげました。

5. サービス支援体制

(1) 管理者 1名

(2) サービス管理責任者 1名

(3) 世話人 1名以上（常勤換算）

(4) 西大井福祉園及びかがやき園との連携協力の上で支援を実施しました。

6. 防災対策

(1) 防災計画及び震災対応事業継続計画に基づき防災訓練を計画実施しました。

(2) 11月に法人が実施する参集訓練（西大井地区）に参加をしました。

7. 支援内容

(1) 食事提供

朝夕の2食を原則として提供しました。

(2) 健康管理

一日二回、バイタルチェックを行い健康に留意しました。

また、通院の同行、ワクチン接種等必要に応じ対応しました。

また、毎週職員、世話人のPCR検査を実施し感染予防に努めました。

(3) 金銭管理

利用者の金銭（貯金・給与等）は自主管理を原則としますが、金銭の浪費や紛失防止等のために適宜点検、相談等必要な支援をします。

利用者の希望等により、預金通帳、印鑑を法人規定「利用者預かり金等取扱規定」に基づき管理しました。

(4) 日常生活

利用者相互の自主性を基本としつつ、掃除・洗濯等の日常生活に必要なことについては助言・支援を行いました。また、利用者の申し出や必要に応じて社会生活上必要な知識、技術の習得について学習を行いました。

8. 施設予定

(1) 日課表

日 課	時 間	備 考
起 床	午前 6時～ 7時	朝食 午前 6時30分から
就 寝	午後 9時～10時	夕食 午後 6時00分から
門 限	午後 7時	施錠 午後 9時00分 開錠 午前 6時00分
入 浴	帰寮後、随時	毎日

(2) 年間行事予定

月	内 容	備 考
7月	食事会	わんこそば（各グループホーム）
12月	クリスマス会	グループホーム合同行事
1月	初詣	グループホーム合同行事

※ その他利用者の希望に応じて実施しました。

※ 家族連絡会を必要に応じて開催しました。

[西大井つばさの家 実績資料]

1. 利用者人員と入退所状況（令和5年3月31日現在）

(1) 利用者人員 (人)

事業名	定員	現員	内 訳			
			男	比率%	女	比率%
共同生活援助	7名	5名	5名	100%	0名	0%

注) 内訳の構成率は、原因に対する比率を示します。

(2) 入退園状況（令和4年4月1日より令和5年3月31日） (人)

区分	年度当初人員	増	減	年度末人員	増減理由
男	5名	0名	0名	5名	
女	1名	0名	1名	0名	転居のため
計	6名	0名	1名	5名	

2. 年齢状況

(1) 年齢構成

年齢(歳)	男	女	計	%
18~19	0	0	0	0
20~24	0	0	0	0
25~29	0	0	0	0
30~34	0	0	0	0%
35~39	1	0	1	20.0%
40~44	1	0	1	20.0%
45~49	0	0	0	0%
50~54	2	0	2	40.0%
55~59	1	0	1	20.0%
60~	0	0	0	0%
人数計	5	0	5	100%
最年少	36	-	-	-
最高齢	58	-	-	-

(2) 平均年齢

区 分	男	女	平均
平均年齢	47.6歳	-歳	47.6歳

3. 障害状況

(1) 愛の手帳による利用者の障害状況

1度			2度			3度			4度			合計		
男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
0	0	0	0	0	0	2	0	2	3	0	3	5	0	5

(2) 障害支援区分の状況

障害支援区分	区分	1	2	3	4	5	6	非該当	計
	人数	0名	2名	1名	1名	0名	0名	1名	5名
		0名	2名	1名	1名	0名	0名	1名	5名

4. 日課表

日課	時間	備考
起床	6:00～7:00	朝食 6:30頃から随時
就寝	21:00～	夕食 18:00頃から随時
門限	19:00	施錠 21:00 開錠 6:00
入浴	順次	毎日

5. 日中活動事業所

通園施設	男	女	計
しいのき学園	1	0	1
ふれあい作業所	3	0	3
さつき	0	0	0
福祉工場	1	0	1
合計	5	0	5

6. 年間行事等の実施状況

月	行事内容	備考
7月	食事会	各グループホーム実施
12月	クリスマス会	各グループホーム実施
1月	新年会	各グループホーム実施
2月	日帰り旅行	中止
3月	3GH 合同総合防災訓練	中止

7. 家族とのかかわり

家族連絡会の開催状況

区分	実施日	内 容
第1回 家族懇談会	令和4年5月15日(日)	令和4年度事業計画 令和3年度会計報告
第2回 家族懇談会	令和5年3月	中止

8. 職員研修参加状況

(1) 外部研修

実施機関・主催	研修名・内容	日 程	参加人数
株式会社アイディ 東京都委託	障害者グループホーム従 事者基礎研修	11月	1

(2) 法人内部研修

研 修 内 容	日 程	参加人数
虐待防止・権利擁護研修	9月30日・10月1日	2

9. ヒヤリハット・事故発生状況

(1) ヒヤリハット報告状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	
件数	0	2	0	0	0	1	3	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
件数	0	0	0	0	0	0	0	3

(2) 事故発生状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	
件数	0	0	0	0	0	0	0	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
件数	0	0	0	0	0	0	0	0

※事故…所在不明、転倒

グループホーム金子山事業報告 (介護サービス包括型共同生活援助)

1. 重点目標

(1) 関係機関との連携

生活の変化に対応できるよう品川区及び相談支援センター、日中活動事業所、町会などと連携を深め、利用者へのサービスの充実、共同生活の安定を図りました。

(2) 適切な支援及びサービスの提供

利用者にとって豊かなライフステージが送れるように適切な支援を行いました。また、行事や外出など利用者同士や世話人等と交流しあえる機会を通じ、共同生活者として相互理解を深めました。

(3) 法人内西大井地区の連携

10月よりグループホーム森前事業を廃止しグループホーム金子山のユニットとし編入しました。そのため、定員10名から16名に変更しています。

グループホーム管理施設である西大井福祉園、バックアップ施設であるかがやき園と連携を密に図り町会との関係を継続しました。

2. 家族・支援者との協力体制

コロナ禍で大幅な予定変更などがありましたが、家族の協力と理解を得て利用者の生活支援を充実したものにしました。また、個別面接は三密を避けると共に、新型コロナウイルス感染症の流行時には事前に必要書類を送付し電話連絡にて行う等出来る限りの連携に努めました。

3. 地域交流及び貢献活動

今年も新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴う地域行事の中止が相次ぎ、毎年度末に実施をしている「近隣町会福祉施設合同防災訓練」も感染症の予防の観点から中止をしました。

4. 事故防止・虐待防止

(1) 事故防止

転倒、誤嚥等の事故再発防止のために、職員の共通認識となるよう職員全体で意見交換や事例の分析に取り組みました。また、施設・設備等の点検などを通じ危険箇所の改善を行いました。

(2) 虐待防止

法人として、虐待防止チェックリストを実施しました。西大井地区において、虐待・人権擁護研修を実施しました。その後、事業所ごとでも伝達研修を実施し意識の向上につなげました。

5. サービス支援体制

- (1) 管理者 1名
- (2) サービス管理責任者 1名
- (3) 世話人 2名（常勤換算）
- (4) 生活支援員 1名（常勤換算）
- (5) 西大井福祉園及びかがやき園との連携協力の上で支援を実施します。

6. 防災対策

法人の合同防災訓練（11月）において、バックアップ施設である、かがやき園と共に参集訓練を実施しました。避難訓練については、新型コロナウイルス感染症の流行により、机上訓練としました。

7. 支援内容

(1) 食事提供

朝夕の2食を原則として提供しました。

(2) 健康管理

利用者の行動や顔色に留意し、健康に関し助言をしました。また、通院の同行等必要に応じ対応しました。

(3) 金銭管理

利用者の金銭（貯金・給与等）は自主管理を原則としますが、金銭の浪費や紛失防止等のために適宜点検、相談等必要な支援をしました。利用者の希望等により、預金通帳、印鑑を法人規定「利用者預かり金等取扱規定」に基づき管理しました。

(4) 日常生活

利用者相互の自主性を基本としつつ、掃除・洗濯等の日常生活に必要なことについては助言・支援を行いました。また、利用者の申し出や必要に応じて社会生活上必要な知識、技術の習得について学習を行いました。

8. 施設予定

(1) 日課表

日 課	時 間	備 考
起 床	午前 6時～ 7時	朝食 午前 6時30分から
就 寝	午後 9時～10時	夕食 午後 6時00分から
門 限	午後 7時	施錠 午後 9時00分 開錠 午前 6時00分
入 浴	帰寮後、随時	毎日

(2) 年間行事予定

月	内 容	備 考
9月	食事会	
1月	初詣	
2月	合同防災訓練	

※ その他利用者の希望に応じて実施しました。

※ 家族連絡会を必要に応じて開催しました。

[グループホーム金子山 実績資料]

1. 利用者人員と入退所状況（令和5年3月31日現在）

（1）利用者人員 (人)

事業名	定員	現員	内 訳			
			男	比率%	女	比率%
共同生活援助	16名	16名	10名	62.5%	6名	37.5%

（2）入退園状況（令和4年4月1日より令和5年3月31日）(人)

区分	年度当初人員	増	減	年度末人員	増減理由
男	10名	1名	1名	10名	
女	6名	6名	0名	6名	
計	16名	6名	0名	16名	

2. 年齢状況

（1）年齢構成

年齢(歳)	男	女	計	%
18～19	0	0	0	0
20～24	0	0	0	0
25～29	0	1	1	6
30～34	0	1	1	6
35～39	3	1	4	25
40～44	0	0	0	0
45～49	5	0	5	31
50～54	1	3	4	25
55～59	0	0	0	0
60～	1	0	1	6
人数計	10	6	16	100
最年少	36	27	—	—
最高齢	62	52	—	—

（2）平均年齢

区 分	男	女	平均
平均年齢	46.5歳	41.8歳	44.8歳

3. 障害状況

(1) 愛の手帳による利用者の障害状況

1度			2度			3度			4度			合計		
男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
0	0	0	2	1	3	5	2	7	3	3	6	10	6	16

(2) 障害支援区分の状況

障害支援区分	区分	1	2	3	4	5	6	非該当	計
	人数	1名	3名	1名	2名	0名	0名		

4. 日課表

日課	時間	備考
起床	6:00～7:00	朝食 6:30頃から随時
就寝	21:00～	夕食 18:00頃から随時
門限	19:00	施錠 21:00 開錠 6:00
入浴	順次	毎日

5. 日中活動事業所

通園施設	男	女	計
第二しいのき学園	3	0	3
西大井福祉園	4	2	6
福祉工場しながわ	1	2	3
アリストランプ	0	1	1
ふれあい作業所（西品川）	1	0	1
一般就労	1	1	2
合計	10	6	16

6. 年間行事等の実施状況

月	行事内容	備考
7月	食事会	各グループホーム実施
12月	クリスマス会	各グループホーム実施
1月	初詣	各グループホーム実施
2月	日帰り旅行	中止
3月	3GH 合同防災訓練	中止

7. 家族とのかかわり

家族連絡会の開催状況

区分	実施日	内 容
第1回 家族懇談会	令和4年5月15日(日)	令和4年度事業計画 令和3年度会計報告
第2回 家族懇談会	令和4年3月	中止

8. 職員研修参加状況

(1) 外部研修

実施機関・主催	研修名・内容	日 程	参加 人数
株式会社アイディ 東京都委託	障害者グループホーム従事者 基礎研修	11月	1

(2) 法人内部研修

研 修 内 容	日 程	参加人数
虐待防止研修	9月30日・10月1日	2

9. ヒヤリハット・事故発生状況

(1) ヒヤリハット報告状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	
件数	0	0	0	1	0	0	0	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
件数	0	0	0	0	0	0	0	1

(2) 事故発生状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	
件数	0	0	0	0	0	0	0	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
件数	0	0	0	0	0	0	0	0

品川区立かがやき園事業報告 (施設入所支援・生活介護・短期入所)

1. 重点目標への対応

- (1) 入所者の重度化・老年期の利用者への適切な支援を行えるよう、職員の支援・介護技術向上のため、昨年に引き続きオンライン形式による研修参加や、国家資格へチャレンジする等質の高い人材の育成に努めました。
- ・資格試験 精神保健福祉士 2名合格
介護福祉士 1名合格
 - ・応用行動分析（ABA）講師をかがやき園に招き、自閉症の方の行動の前後を支援することで、コミュニケーション能力の向上、社会性の向上を目指す療育法について学習しました。
 - ・ソーシャル・スキル・トレーニング（SST）の講師をかがやき園に招き、職員が利用者との人間関係やコミュニケーションに関わる「技術」「技能」の向上を目指す療育法について学習しました。
- (2) 職員の事務業務の改善を図る為、昨年に引き続きICT化を進めました。具体的には、昨年導入した館内のナースコール用スマートフォンで、出退勤の申請や館内各所の電子錠を開錠できるように変更し、職員業務の利便性の向上に努めました。これらの事務作業の効率化で空いた時間を研修や利用者の支援に充てました。
- (3) 短期入所事業の中長期の緊急利用が増加している実態をふまえ、品川区と協議し、ご家庭状況等を勘案しミドルステイの試行実施を行いました。
- (4) 建物・設備の経年劣化に伴う老朽化を考慮しつつ施設入所者の生活環境を整える為、品川区障害福祉課と協議しながら下記の改修工事を行いました。

新規導入・改修設備更新

- 館内点字ブロックの撤去工事
- 1階多目的トイレ柵設備
- 厨房洗面台柵設備
- 宿直室柵設備

小破修繕

- 男性居室の床張替
- 男性棟東側トイレ改修工事
- 2階廊下壁紙張替

2. 事故・虐待防止策

(1) 事故防止について

ヒヤリハット・事故報告書を「福栄会ヒヤリハット・リスクレベル評価表」に基づき作成し、職員間で供覧し、情報を共有しました。また施設内に事故発生防止委員会を設置し、定期的を開催し、直近の事故・ヒヤリハットを確認する等、事故の防止に努めました。これらの事故報告については東京都や品川区の指針に基づき速やかに報告をしました。

(2) 虐待防止について

法人の虐待防止委員会において、虐待防止・サービス向上を目的として虐待チェックリストを年2回実施し人権意識の向上を図りました。

更にかがやき園では概ね2ヶ月に1回程度独自の自己点検票を記入し、日常業務の振り返りを行うとともに、虐待防止に向けた意識向上を図りました。更に身体拘束を廃止する観点から身体拘束廃止委員会を開催し、身体拘束や抑制を是正するための検討を随時行いました。

3. 家族・支援者との協力体制

今年も新型コロナウイルスの流行に伴い、家族との連絡会や懇談会が開催できない時には、必要に応じて随時電話連絡や家庭訪問等を行うと共に園報号外を定期的に発行し、施設活動に対する理解を得ながらサービス提供を行いました。

4. 地域交流及び貢献活動

品川区及び区内計画相談支援事業所と連携し、就労や他の施設に適応できなかった知的障害者や引きこもりの知的障害者等を「体験利用」として7名、延べ122人を受け入れました。その内、4名については他の通所施設へ繋がりました。

ミニサロン等地域交流については新型コロナウイルス感染症の流行により原則中止としました。

○ミニサロン五月会

○ミニサロン西大井6丁目町会

5. 防災対策

消防計画及び震災対応事業継続計画に基づいて、通報訓練、避難訓練、夜間想定訓練及び消火訓練を毎月1回最終金曜日の14時から実施しました。また、今年も新型コロナウイルスの流行により区営住宅自治会との年1回の合同防災訓練は机上訓練としました。

品川区立かがやき園実績資料

(1) 利用者の入退所状況

<施設入所支援>

令和5年3月31日現在 単位：人

		入所者数			退所者数			月末在籍数
		病院 その他から	グループホーム 他施設から	区内通所 施設から	地域移行	他施設入所	入院・死亡	
4月	男	18	0	0	0	0	0	18
	女	12	0	0	0	0	0	12
	計	30	0	0	0	0	0	30
5月	男	0	0	0	0	0	0	18
	女	0	0	0	0	0	0	12
	計	0	0	0	0	0	0	30
6月	男	0	0	0	0	1	0	17
	女	0	0	0	0	0	0	12
	計	0	0	0	0	1	0	29
7月	男	0	0	0	0	0	0	17
	女	0	0	0	0	0	0	12
	計	0	0	0	0	0	0	29
8月	男	0	0	0	0	0	0	17
	女	0	0	0	0	0	0	12
	計	0	0	0	0	0	0	29
9月	男	0	0	1	0	0	0	18
	女	0	0	0	0	0	0	12
	計	0	0	1	0	0	0	30
10月	男	0	0	0	0	0	0	18
	女	0	0	0	0	0	0	12
	計	0	0	0	0	0	0	30
11月	男	0	0	0	0	0	0	18
	女	0	0	0	0	0	0	12
	計	0	0	0	0	0	0	30
12月	男	0	0	0	0	0	0	18
	女	0	0	0	0	0	0	12
	計	0	0	0	0	0	0	30
1月	男	0	0	0	0	0	0	18
	女	0	0	0	0	1	0	11
	計	0	0	0	0	1	0	29
2月	男	0	0	0	0	0	0	18
	女	0	0	0	0	0	0	11
	計	0	0	0	0	0	0	29
3月	男	0	0	0	0	0	0	18
	女	0	0	1	0	0	0	12
	計	0	0	1	0	0	0	30
総計		30	0	2	0	2	0	30

※入所「区内通所施設から」は、在宅利用者を示す。

「病院 その他から」には年度当初に契約したかがやき利用者数を含む。

※退所「地域移行」は、グループホーム・自宅を示す。

「他施設入所」には他の障害者支援施設・高齢者施設を示す。

<生活介護>

令和5年3月31日現在 単位：人

		契約者数			退園者数			月末在籍数
		生活介護利用者	家庭から新規	家庭からその他	他事業所へ	入院	死亡	
4月	男	20	0	0	0	0	0	20
	女	13	0	0	0	0	0	13
	計	33	0	0	0	0	0	33
5月	男	20	0	0	0	0	0	20
	女	13	0	0	0	0	0	13
	計	33	0	0	0	0	0	33
6月	男	19	0	0	1	0	0	18
	女	13	0	0	0	0	0	13
	計	32	0	0	1	0	0	31
7月	男	19	0	0	0	0	0	19
	女	13	0	0	0	0	0	13
	計	32	0	0	0	0	0	32
8月	男	19	0	0	0	0	0	19
	女	13	0	0	0	0	0	13
	計	32	0	0	0	0	0	32
9月	男	19	0	0	0	0	0	19
	女	13	0	0	0	0	0	13
	計	32	0	0	0	0	0	32
10月	男	19	0	1	0	0	0	20
	女	13	0	0	0	0	0	13
	計	32	0	1	0	0	0	33
11月	男	20	0	0	0	0	0	20
	女	13	0	0	0	0	0	13
	計	20	0	0	0	0	0	33
12月	男	13	0	0	0	0	0	13
	女	0	0	0	0	0	0	0
	計	13	0	0	0	0	0	13
1月	男	20	0	0	0	0	0	20
	女	13	0	0	1	0	0	12
	計	33	0	0	1	0	0	32
2月	男	20	0	0	0	0	0	20
	女	13	0	1	0	0	0	14
	計	0	0	1	0	0	0	34
3月	男	20	0	0	0	0	0	20
	女	14	0	1	0	0	0	15
	計	34	0	1	0	0	0	35
総計		326	0	3	2	0	0	327

(2) 利用者状況

(施設入所支援・生活介護)

令和4年3月31日現在

①障害状況

(人)

愛の手帳	男性	女性	計	%
1度	1	1	2	6.1
2度	13	9	22	66.7
3度	6	2	8	24.2
4度	0	1	1	3.0
合計	20	13	33	100.0

(人)

障害支援区分	男性	女性	計	%
区分1	0	0	0	0.0
区分2	0	0	0	0.0
区分3	0	0	0	0.0
区分4	6	5	11	33.3
区分5	8	5	13	39.4
区分6	6	3	9	27.3
計	20	13	33	100.0

平均障害支援区分		備考
生活介護	区分5.0	
施設入所支援	区分5.0	

②年齢構成

(人)

年齢(歳)	男性	女性	計	%
15~19	0	0	0	0.0
20~24	0	0	0	0.0
25~29	0	0	0	0.0
30~34	2	1	3	9.1
35~39	3	0	3	9.1
40~44	2	2	4	12.1
45~49	3	2	5	15.2
50~54	5	4	9	27.3
55~59	2	2	4	12.1
60~64	3	2	5	15.2
65~70	0	0	0	0.0
70以上	0	0	0	0.0
合計	20	13	33	100.0

(才)

平均年齢	男性	女性	平均
	49.1	54.8	51.4

(3) 地域生活移行の状況

令和5年3月31日現在

単位：(人)

年 度	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	合計
	年度	年度	年度	年度																
地域生活移行者	人数	0	0	3	2	0	1	0	0	0	0	0	0	2	1	0	1	0	0	10
	か所数	0	0	3	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	1	0	1	0	0	9
アパートへの転居	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自宅への帰宅	1	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	8
小 計	1	4	4	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	1	1	0	18
他施設	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	2	1	2	10
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1	4	4	3	0	1	0	0	0	0	0	1	2	3	2	0	3	2	2	21
利用者現員	男性	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	17	18	18	18	18	18	18	18
	女性	12	12	12	12	11	11	12	12	12	12	12	11	11	12	12	12	12	12	12
合 計	30	30	30	30	30	29	29	30	30	30	30	30	28	29	30	30	30	30	30	30

(4) 在園者の健康相談・通院状況 (延べ人数) 令和5年3月31日現在 単位：人

	内科	外科	整形外科	耳鼻科	眼科	皮膚科	泌尿・婦人	精神科	神経内科	脳外科	歯科	合計
4月	15						3	6			26	41
	4	2										15
5月	13				3			3			24	37
	4	4										14
6月	6						3	4			22	28
	5	2	8								19	22
7月	15							1	1	1		34
	7	8										18
8月	9							1	2	1	24	33
	5	5									1	15
9月	9							4	1		21	30
	2	5	1								1	14
10月	12							3			24	36
	6	6									1	16
11月	9							4		2	20	29
	4	5	1								23	16
12月	9							1				32
	1	6										8
1月	15										22	37
	3	5						1	2	1		12
2月	13						2	2			26	39
	4	3										11
3月	12							3	1		25	37
	2	2	4				1					13
合計	137	0	0	0	0	0	0	0	0	0	276	413
	47	4	61	0	5	0	9	33	7	5	3	174

※上段：施設内相談数 413名 下段：施設外診療数 174名

※季節性インフルエンザ予防接種状況：①10/12

※新型コロナウイルス予防接種状況：①5/19 ②11/2

入院者状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	1	2	2	1			1		1	1	1	1	11

原因 ○4月11日～(服薬調整)7月4日退院 ○5月11日～(服薬調整)6月23日退院

○10月2日～(てんかん発作)10月6日退院 ○12月8日～(服薬調整)継続中

(5) 行事等実施状況

月	日	行事名等	内 容	月	日	行事名等	内 容
4	13	ミニボーリング大会		10	8	ミニオータムフェス2022	
	15	調理 ※ニンニク収穫	ペペロンチーノ作り	10	10	夢さんばし	
	22	豪華おやつ	ドーナツ	14	14	調理	ペペロンチーノ作り
				28	28	地域交流	ハロウィン
				30	30	調理	パン作り
5	4	GW豪華おやつ 手作りアート	ケーキ	11	12	衣類販売	ふくまる
	11	調理	サンドイッチ	18	18	障害者作品展	区立障害児者総合支援施設
	22	おやつ作り	あんみつ	27	27	調理	ペペロンチーノ作り
	27	豪華おやつ	ケーキ				
	31	お別れ会					
6	3	調理	素麺作り	12	15	保育園交流	こころ なかのぶしながわ
	5	衣類販売	ふくまる	23	23	クリスマス会	
	18	ユニバールススポーツフェスタ	南大井文化センター	27	27	餅つき	
	22	調理	カレー作り	28	28	豪華おやつ	アメリカンドック
	24	豪華おやつ	パン	31	31	年越しそば	
7	～3	東京都知事選挙		1	2	握りずし	
	7	わんこ素麺大会		25	25	おでん屋さん	
	13	料理クラブ	夏野菜カレー				
	22	豪華おやつ	エクレア				
	24	おやつ作り	クリームソーダ				
	29	調理	素麺作り				
	31	創作	風鈴作り				
8	5	品川納涼祭		2	3	節分	
	13	お盆	迎え火	28	28	プラレールを見に行こうの会	区立障害児者総合支援施設
	14	第1回花火大会					
	28	調理	カレーとゼリー作り				
9	9	魚釣り大会		3	3	佐原七福人巡り	
	17	障害者スポーツチャレンジデー	しながわ中央公園				
	23	第2回花火大会					
	25	おやつ作り	フルーツサンド				
	30	かがやき緑日					
							※利用者集会は第四週金曜日に開催

(6) 施設入所支援、生活介護 ヒヤリハット・事故状況

令和5年3月31日現在 単位：人

ヒヤリハット報告状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生活介護	6	14	11	16	9	4	13	7	9	2	9	5	105
施設入所	7	9	6	21	13	9	12	10	12	10	14	7	130
短期入所	0	0	2	1	2	1	2	1	2	0	0	1	12

興奮、自傷、暴力、転倒、誤薬等(多い順)

事故報告状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生活介護	1	0	0	1	3	2	0	0	2	0	0	0	9
施設入所	1	0	0	1	1	0	2	4	0	1	1	2	13
短期入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1

器物破損1件、怪我・傷4件、転倒2件、その他16件

(7) 研修

①外部研修

主催	日程	内容	参加人数
公益財団法人総合健康推進財団		東京都サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者基礎研修	2
公益財団法人総合健康推進財団		東京都サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者実践研修	1
特定非営利法人日本トイレ研究所	5/21:22	災害時トイレ衛生管理講習会	1
東社協	6/10	新任職員向け研修	7
専門学校高崎福祉医療カレッジ	6/14・15・21・22	介護福祉士実習指導者講習会	1
東社協	7/14~	初任者研修	8
東社協	8/5 9/2	三年目研修	4
東社協	8月26日	職場内研修担当者研修	1
品川区介護福祉専門学校	9/21	医療・リハビリテーション講座	1
公益財団法人東京都福祉保健財団	9/21~(全3回)	強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)	3
一般財団法人 保健福祉広報協会	10/5	第49回国際福祉機器展	1
東社協	10月11日	管理者のためのメンタルヘルス研修	1
三幸福祉カレッジ	10.13~(全15回)	介護初任者研修	1
岩谷産業株式会社	10/19	BCP策定セミナー どうする?BCP対策	1
一般財団法人 東京防災設備保守協会	10/26・27 12/24・25	防災センター要員講習・自衛消防業務講習	3
公益財団法人東京都福祉保健財団	10/31~(全2回)	強度行動障害支援者養成研修(実践研修)	2
ぜんち共働株式会社	11/24	安全運転研修	2
東社協	12/3~	権利擁護接遇マナー	18
品川区総合福祉センター	3.3 3.4	ヤングケアラー研修	2
公益財団法人東京都福祉保健財団	3.22~3.25	喀痰吸引等研修	1

②法人研修

主催	日程	内容	参加人数
かがやき園	4月~6月	OJT研修(新任、異動)	7
法人	7/20~(全11回)	福祉サービス運営学習会(SST・ABA実践研修)	22
法人	11/1	新人フォローアップ研修	7
法人	3/11	品川児童学園講演会	3

(8) 防災訓練実施状況

年	月	日	曜日	訓練内容
3	4	22	金	日中想定 [火点：1階食堂]
	5	27	金	日中想定 [火点：2階大浴場]
	6	24	金	日中想定 [火点：1階厨房]
	7	22	金	日中想定 [火点：2階北側トイレ]
	8	19	金	日中想定 [火点：2階北側トイレ]
	9	16	金	日中想定 [火点：1階食堂室]
	10	16	金	日中想定 [火点：2階洗濯室]
	11	16	金	日中想定 [火点：2階洗濯室]
	11	27	日	参集訓練
4	12	28	金	日中想定 [火点：2階洗濯室]
	1	20	金	日中想定 [火点：2階洗濯室]
	2	24	金	日中想定 [火点：2階夜勤室]
	3	31	金	日中想定 [火点：2階北側トイレ]

西大井六丁目複合施設防火管理関係構成員

事業所名	管理権原者	防火管理者	使用階等
西大井六丁目 第三区営住宅	品川宅建センター 取締役	宅建センター防火管理者	3階～6階
品川区立 かがやき園	福栄会理事長	施設長	1階～2階
統括防火管理者		施設長	

(9) 実習・研修生受入状況 (年間受け入れ人数)

	受入学校数	人数	備考
保育実習	11	28	
福祉実習	4	10	介護福祉・社会福祉
計	15	38	

南品川むつみ園事業計画（生活介護）

1. 重点目標

（1）利用者サービスの向上

感染症対策を継続しながら利用者のニーズに合わせた活動を行いました。また、利用者個々の状況を把握しつつ、専門職・関係機関との連携を図り、各種研修などにも参加し職員の専門性・支援力の向上を図りました。

（2）日中活動の充実

長距離運動や外出活動などの運動を主体的に取り組み、創作活動や余暇活動についても利用者の方のニーズを考慮しながら行いました。また行事なども少しずつ再開しました。

東品川文化センターにおいて地域の方と一緒に植花の活動も行いました。

（3）職場環境の整備

室内の換気や消毒、利用者の検温や外出先からの帰ってきた後のうがい手洗いの実施などを行いながら、利用者が安心、かつ快適に利用できる空間づくりの整備を行いました。

2. 家族・支援者との協力体制

利用者の日々の事柄や様子については都度家庭へ連絡し報告を行いました。家族連絡会については4月・10月・3月の3回の開催し事業報告などを行いました。

また、利用者や家族が必要としているサービスや対応については、相談支援センターやその他関係機関と連携を取りながら対応しました。

3. 地域交流及び貢献活動

日中活動のなかで地域の高齢者の会と協同で花の植花を行うことで、高齢者との関わりを持つことができました。また、運動や外出活動を通して地域の方との交流を行いました。

4. 事故防止策・虐待防止対策

（1）事故防止

ヒヤリハット・事故発生状況は実績資料（別表10）のとおりです。事故再発防止のために、職員の共通認識となるよう朝礼等を利用し職

員全体での事例の報告や意見交換、事例の分析、日々の自己点検の他、施設・設備等の点検を行いました。

(2) 虐待防止

虐待防止規程に基づいた、研修への参加、チェックリストを活用した自己点検に取り組んだ他、ケース会議において支援方針の統一を図り支援の質の向上に取り組みました。

5. 防災対策

防災計画及びBCPに基づき毎月1回火災想定及び地震想定 of 防災訓練を実施し、通報訓練・消火訓練・避難訓練を全支援員が習熟するよう努めました。

〔南品川むつみ園実績資料〕

(令和5年3月31日現在)

1. 利用者人員と入退所状況

(1) 利用者人員

定員(人)	現員(人)	内 訳			
		男(人)	比率%	女(人)	比率%
20	8	7	90	1	10

注) 内訳の構成率は、現員に対する比率を示します。

(2) 入退園状況

区分	昨年度末人員	増	減	今年度末人員
男	9	1	3	7
女	1	0	0	1
計	10	2	3	8

2. 年齢状況

(1) 年齢構成

年齢(歳)	男	女	計	%
18~19	0	0	0	0
20~29	5	1	6	76
30~39	1	0	1	12
40~49	0	0	0	0
50~59	1	0	1	12
60~	0	0	0	0
人数計	7	1	8	100
最年少	24	27		
最高齢	53	27		

(2) 平均年齢

区 分	男	女	平均
平均年齢	30.6 歳	27 歳	30.13 歳

注) 内訳の構成比率は、現員に対する比率を示します。

3. 障害状況

(1) 愛の手帳による利用者の障害状況

1度			2度			3度			4度			合計		
男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
0	0	0	6	0	6	1	1	2	0	0	0	7	1	8

(2) 身体障害者手帳の併所持・主な合併症状をもつ利用者の状況

愛の手帳		1度	2度	3度	4度	非該当	合計
所持人数		0名	6名	2名	0名	0名	8名
身 障 手 帳	1級						
	2級						
	3級						
	4級						
	計	0名	6名	2名	0名	0名	0名

(3) 障害支援区分の状況

障害支援	区分	1	2	3	4	5	6	非該当	計
区分	人数	0名	0名	1名	5名	2名	0名	0名	8名

4. 通園状況

(1) 利用者の出席状況

開所日数	要出席者延べ人数 (定員×開所日数)	出席者延べ人数	利用率
257日	5,140人	2,048人	39.8%

(2) 通園形態

通園形態		男	女	計
自力通園	徒歩	0	0	0
	交通機関	0	0	0
家庭介護通園	徒歩等	0	0	0
送迎車両利用		7	1	9
合計		7	1	9

(3) 送迎車両運行及び利用者状況

送迎車両	利用人数	主なコース	所要時間	対応車種
コンピューター	8名	品川区内	90分	ハイエース
合計	8名			

5. 支援概要

(1) 活動の実施状況

活動名	内 容
散歩 ウォーキング 外出活動	1 時間～1 時間半程度の長距離のウォーキング活動を実施しました。 車で行ける距離の大きい公園に行き散歩を実施しました。
カラオケ	午前、午後のどちらかの活動時に 1 時間～1 時間半程度の時間で実施しました。
ドライブ	活動時間（午後）にお台場や東京タワー、羽田空港、横浜などへのドライブを実施しました。
書道	毛筆・ペン習字を月 2 回程度実施しました。
創作	月曜日の午後にしぎり絵の作品でカレンダー作りを実施しました。また、季節の飾りなども作成しました。
喫茶利用	福栄会の喫茶海岸通りや近所のカフェに行き、地域交流や社会体験の場としました
音楽レクリエーション	講師による音楽レクリエーションを月 1 回実施しました。
体育館活動	東品川文化センターの体育館に行って、ジョギングやストレッチなどの身体を動かす場面を提供しました
室内運動	南品川むつみ園にてストレッチやカラオケ機器で音楽をかけながら体操等を中心に室内運動を実施しました。

(2) 地域交流活動状況

活動名	内 容
地域交流	植栽活動(すみれ会) 5 月

(3) 年間行事等の実施状況

月	日	行事内容	備 考
4	28	誕生日会	
6	23	誕生日会	
7	29	誕生日会	
8	30	誕生日会	
9	29	誕生日会	
10	25	誕生日会	
11	29	誕生日会	
12	6	誕生日会	
	23	クリスマス会	

1	5・6	七福神巡り	
---	-----	-------	--

6. 家族とのかかわり

(1) 園連絡会の開催状況

区分	実施日	内 容
第1回	令和4年4月23日(土)	職員体制 書類について その他
第2回	令和4年10月	利用者について その他
第3回	令和5年3月4日(土)	令和4年度活動報告 その他

(2) 園報の発行内容

発行月	発行内容
4月	外出活動報告 新年度挨拶
5月	外出活動報告
6月	外出活動報告
7月	外出活動報告
8月	外出活動報告
9月	外出活動報告
10月	外出活動報告
11月	外出活動報告
12月	外出活動報告
1月	外出活動報告
2月	外出活動報告
3月	外出活動報告

(3) 地域とのかかわり

ボランティアの受け入れ状況

活動名	人数	期間等	内 容
音楽活動講師	1	通年(月1回)	音楽レクリエーション

新型コロナウイルス対応に伴い中止

7. 実習・研修生の受け入れ状況(年間受け入れ人数)

区 分	人数	備 考
専門学校・大学・企業等	0名	

8. 職員研修参加状況

(1) 外部研修

実施機関・主催	研修名・内容	日 程	参加人数
東京都社会福祉協議会	精神・神経に作用する薬を学ぶ	令和4年6月 29日(水)	1名
知的発達障害部会	知的発達障害部会「強度行動障害支援 公開基礎講座」	令和4年7月 7日(木)	1名
東北福祉カレッジ	強度行動障害支援者養成研修 (基礎研修)	令和5年3月 7日(火)・8日(水)・9日(木)	1名
東北福祉カレッジ	強度行動障害支援者養成研修 (実践研修)	令和5年3月 18日(土)・19日(日)	1名

9. トワイライト実施状況

家族支援事業「トワイライトステイ」利用状況

内 訳	件数	17:15～18:15	17:15～19:15
利用件数合計	12	0	12

10. ヒヤリハット・事故発生状況

(1) ヒヤリハット報告状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	0	1	0	3	2	2	1	0	0	2	1	0	12

・他傷/他害行為 (8件)・転倒 (2件)・その他 (1件)・所在不明 (1件)

(2) 事故報告状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

1 1. 防災訓練の実施状況

回	実施日	内 容
1	4月28日(木)	日中想定による避難訓練 火災
2	5月31日(火)	日中想定による避難訓練 火災
3	6月23日(木)	日中想定による避難訓練 地震・火災
4	7月29日(金)	日中想定による避難訓練 火災
5	8月30日(火)	日中想定による避難訓練 火災
6	9月29日(木)	日中想定による避難訓練 火災
7	10月25日(火)	日中想定による避難訓練 地震・火災
8	11月29日(火)	日中想定による避難訓練 火災
9	12月23日(金)	日中想定による避難訓練 地震・火災
10	1月27日(金)	日中想定による避難訓練 火災
11	2月22日(水)	日中想定による避難訓練 火災
12	3月30日(水)	日中想定による避難訓練 地震・火災

1 2. 感染症発生状況

新型コロナウイルス	インフルエンザ・感染性胃腸炎
4名	0名

品川区東品川障害者相談支援センター事業報告

1. 重点目標への対応

(1) 高齢障害者や家族の高齢化等への対応

高齢障害者や家族の高齢化に対しては、品川区東品川障害者計画相談事業所（在支併設型事業所）との連携を中心に、当該事業所を有効に活用できる様、実践をふまえながら介護保険制度や医療保険制度と連携し利用者の相談支援にあたってきました。

また、事例を通して各制度・サービスを効果的に活用する経験を通じ、相談員としての資質を高めるための努力をしながら、利用者の生活の質の向上に繋げました。

(2) 地域生活支援拠点事業の課題及び対策を整理

特定相談支援事業所や在支併設型事業所、サービス提供事業所と連携を行い、相談、緊急時の対応、体験の機会の調整・地域の体制づくり等に努めました。

(3) 障害者相談支援センターとしての体制、力量の整備

ケアマネジメント、就労、権利擁護、高次脳機能障害、医療的ケア、発達障害、視力障害等、様々な研修への積極的な参加を行いました。また、相談事例を通して関係機関との連携や障害・高齢・医療・権利擁護など各制度への習熟、各種資格取得に向けた取り組みの継続も行いました。

(4) 適切なケアマネジメントの構築

関係機関との協力関係を築き、ケースカンファレンスや担当者会議等を適時実施し、適切な支援計画の作成を行い、利用者の支援に活かしています。

2. 相談支援体制

(令和4年4月)

職種	職務	人員
管理者	事業所全体の管理（計画事業所管理者兼務）	1名
地域生活支援拠点 マネージャー	地域生活支援拠点事業所マネージャー業務 相談支援専門員業務	1名
相談支援専門員	アセスメント、サービス等利用計画の作成、モニタリング、サービス調整等 ※支援区分調査は全職員	4名

3. サービス内容

<p>指定特定相談支援事業所</p>	<p>計画相談</p>	<p>(1) 対象者</p> <ul style="list-style-type: none"> ①居宅介護利用者（既利用者・新規利用者） ②通所系（就労継続支援 A・B、就労移行支援、自立訓練） ③グループホーム利用者等 ④区内入所施設利用者等 ⑤その他（就労定着などを含む） <p>(2) 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ①アセスメント・サービス利用計画作成（マネジメント） ②担当者会議・ケースカンファレンスなど ③モニタリング（月1回～年2回など、標準モニタリング期間を基本に適宜実施） ④関係機関調整 （開始時、変化のある時、問題発生時に適宜実施。基幹相談支援センター、各支援機関との連携） ⑤支援区分調査
--------------------	-------------	---

<p>地域拠点相談支援センター事業</p>	<p>一般相談</p>	<p>(1) 対象者</p> <p>指定相談以外で就労や福祉サービスの利用等の相談者等 各種福祉サービス、医療機関等、支援機関の相談者</p> <p>(2) 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ①アセスメント・ケアプラン作成（年度当初の登録更新時に実施） ②ケア会議 ③面接・訪問等による相談継続 ④緊急時対応（日中、夜間、休日等も状況に応じて実施） <p>(3) 事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ①個別相談（訪問、同行支援も含む） <p>(4) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規相談支援事業所・計画相談支援事業所の支援など
-----------------------	-------------	--

	各種会議・検討会	(1) 地域拠点相談支援センター整備・充実のための協議への出席 (6回) (2) 自立支援協議会及び、分科会への出席 ①自立支援協議会(3回) ②相談支援部会(3回) (3) 指定特定相談支援事業者連絡会(1回) (4) 指定特定相談支援事業者；在宅介護支援センター併設型 準備検討会及び定例会 ※いずれもコロナの関係で書面開催、または開催の中止あり。
地域拠点相談支援センター	相談	主に困難ケースの対応 33件
	体験	グループホームや施設入所に向けての体験をして次の方向性を検討 32件
	緊急	介護者不在時の緊急受け入れ先の調整 363件
	専門性	在宅介護支援センターの地区ケア会議にて、障害福祉の制度の説明 0件(各個別への説明に変更)
	地域	ケースを通して様々なニーズに対応できるサービス体制の確保や、 地域の社会資源の連携体制の構築に努めた。
	その他	受診同行などは、上記相談・緊急対応に含む 苦情対応など：0件

4. 相談支援実績

※コロナの関係で訪問・ケース会議・調査などの対応は状況に応じて実施。

<相談支援を利用している障害者等の人数>

障害の種類別	実人数	計	765人
身体障害		152人	
重症心身障害者		66人	
知的障害		620人	
精神障害・発達障害		31人	
高次脳機能障害・他		5人	

(年度)	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
相談件数 実	1,062	1,071	592	693	765
延	14,101	11,678	680	764	874
計画作成件数	275	208	168	104	156

モニタリング件数	683	628	222	450	471
カンファレンス・件	92	94	53	29	186
延参加人数	542	331	統計表に該当なし	統計表に該当なし	統計表に該当なし
支援区分調査件数	68	109	121(～12月)	85	112

相談方法の年度推移

相談方法	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
電話相談	6,564	4,608	1,698	1,391	2,219
来館相談	1,334	1,171	182	152	237
訪問(自宅)	3,119	2,536	618	761	991
訪問 (施設等)	2,368	2,793	—	—	—
同行支援	511	500	154	249	393
文書等	88	15	24	107	82
関係機関	—	—	—	85	216
その他	117	54	58	26	51
合計	14,101	11,677	2,734	2,771	4,189

※令和2年度より、統計の変更があり、計上の仕方も変更有。

支援内容

支援内容	件数
福祉サービスの利用	1,604件
障害や病気の理解	86件
健康・医療	492件
不安の解消・情緒安定	208件
保育・教育	54件
家族関係・人間関係	524件
家計・経済	44件
生活技術	13件
就労	35件
社会参加・余暇活動	20件
権利擁護	36件
その他	1,259件

品川区東品川障害者計画相談支援事業所事業報告

1. 重点目標への対応

- (1) 令和2年1月に開設以降、品川区東品川在宅介護支援センター並びに基本圏域の在宅介護支援センター、品川区東品川障害者相談支援センター、その他関係機関との連携のもと、高齢障害者への対応を行いました。
- (2) 品川区のモデル事業として、高齢障害者及び高齢のご家族の豊かな生活に向けて、障害者福祉施策と高齢者福祉施策の適切な活用を念頭に置き、実績をフィードバックできるように進めています。

2. 相談支援体制

職種	職務	人員
管理者（兼務）	事業所全体の管理	1名
相談支援専門員	アセスメント、サービス等利用計画の作成、モニタリング、サービス調整等	1名

3. 実績

- (1) 65歳到達により、原則、障害福祉サービスから介護保険制度への移行に向けて、事前の準備（制度の説明、介護保険との連携等）を行うことで、スムーズな動きを作りつつあります。
- (2) 老障介護世帯（介護者が65歳以上で子が障害者等の世帯）については、介護支援専門員や拠点相談支援センターとの連携を行い、障害特性や家庭環境に応じた適切でスピーディーな対応をすすめ、包括的な家族問題の解決を図っています。

<計画相談を利用した障害者等の人数>(延) (①～④重複障害も在る)

障害の種類別	実人数
① 身体障害	224人
② 重症心身障害者	126人
③ 知的障害	19人
④ 精神・高次脳機能障害 他	56人

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
相談件数（実）	124件	101件	224件
（延）	140件	107件	242件
計画作成件数	25件	21件	32件
モニタリング件数	20件	43件	88件
カンファレンス件数	37件	6件	9件

<相談方法>

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
訪問相談	217件	145件	222件
来所相談	5件	14件	33件
同行	17件	12件	61件
電話相談	300件	164件	160件
関係機関調整	45件	49件	9件
文書・その他	8件	14件	31件
個別支援会議	別掲	14件	9件

<支援内容>

支援内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度
福祉サービスの利用	254件	187件	434件
障害や病気の理解	7件	78件	4件
健康・医療	45件	30件	164件
不安の解消・情緒安定	2件	5件	15件
家族関係・人間関係	34件	16件	70件
家計・経済	3件	0件	42件
就労	3件	0件	12件
権利擁護	0件	8件	29件
その他	211件	79件	51件

かもめ工房事業報告（就労継続支援B型）

1. 重点目標

(1) 利用者支援の向上（安定した利用者支援）

利用者の精神症状の変化などを確認し、関係機関との連携や必要に応じて同行受診などを行い、長期欠席者の減少や再発入院の予防をし、利用者の安定した通所や受け入れが出来るようにしていきます。

引き続き保健センターや計画相談支援事業所等と連携し、利用者のステップアップや地域の受け皿としての機能が果たせるようにしていきます。

(2) 作業体制の見直し

作業等の生産活動が安定して提供出来るように、利用者にあった種目の確保や工程を見直し、安定した活動が提供出来るようにしました。標準化したマニュアルの整備については、引き続き検討していきます。

また、各所目標工賃を達成しており、来年度については資材価格等の高騰もあり、受注作業の単価や販売価格の見直しなども行い、安定した作業の提供が出来るようにしていきます。

<工賃実績>

施設名	令和4年度目標額	令和4年度実績額
かもめ第一工房	14,000円	16,075円
かもめ第二工房	14,500円	14,788円
かもめ第三工房	12,000円	12,186円

(3) 職員の育成、資質向上

障害の多様化等に伴い、利用者支援に必要な知識や技術の習得に努め、研修や学習講座等へ参加をしています。一部職員体制が整わない状況もありましたが、今後も職員の資質向上に繋げ、安定した利用者支援が出来るようにしていきます。

2. 家族・支援者との協力体制

利用者や家族の高齢化に伴い、介護保険の申請などについて同行し支援しています。また、一人暮らしの利用者についても、安心した生活が送れるよう、引き続き関係機関等との連携を図っていきます。

3. 地域交流及び貢献活動

コロナ渦ですが徐々に再開されたお祭りなど、地域活動への参加や実習生の受け入れなどを行っています。ボランティアの再開や地域団体や企業

と連携した活動等については、来年度以降再検討していきます。

4. 事故防止・虐待防止

精神症状によるところで、思わぬ事故に繋がる場合があります。障害特性を理解することが事故防止に繋がることを認識し、職員間で情報共有をしていきます。

虐待防止についてはチェックリストを実施し、利用者の人権擁護の観点から職員間で意識していきます。

5. サービス支援体制と支援の方向性

(1) 支援体制

事業所名称	第一工房	第二工房	第三工房
管理者	1名	1名	1名
サービス管理責任者	1名	1名	1名
支援員	利用者状況に応じて配置		
定員	25名	20名	20名
活動内容	・生産活動を中心とした活動の提供 ・就労支援や自立を目指した支援 ・行事や余暇活動等の提供		

※管理者、サービス管理責任者は兼務あり

(2) 支援の方向性

① かもめ第一工房

ア 製菓作業の持続可能な体制への見直し

商品の種類や製造方法等を見直し、利用者の作業が継続して行えるようにしました。また、繁忙期は多くの利用者へ声をかけ、一部の利用者へ負担が偏らないようにしました。

イ 安全に過ごせる環境の整備

作業室などの整理整頓を行い、利用者が安心して作業などしやすい環境を整えました。

② かもめ第二工房

ア 利用率の維持

利用者の要望を確認し、生活講座の内容の見直しを行いました。また、第一、第三と合同でイベント販売などの企画を実施し、利用者が楽しみながら通所が出来るよう工夫をしました。

イ 環境の整備

ラウンジスペースの物品の整理や配置等を見直し、利用者が過ごしやすい環境を整備しました。

③ かもめ第三工房

ア 地域との交流

作業や販売などを通じて地域との繋がりをもち、地域との交流が持てるよう支援しました。

イ 関係機関との連携

利用者が安定して通所が出来るよう、医療を始めとした地域の関係機関等と連携を図りました。

6. 防災対策

施設内の点検を定期的に行い、各施設で避難訓練を実施しました。今後は震災や火災等の災害に備え、消防計画やBCP計画を含むマニュアルの再検討を行っていきます。

7. 支援内容

生産活動内容

作業名	作業内容	事業所
公園清掃	区内公園の清掃	全事業所
館内清掃	法人内・法人外施設の清掃	全事業所
製菓作業	クッキー、マドレーヌ等の焼き菓子	第一・第二工房
手工芸品製作	雑巾・たわし・クラフト製品等製作	全事業所
軽作業	折込発送、パッケージ、組み立て等	全事業所
クリーニング	区内保育園、その他リネン洗濯等	第三工房
イベント販売	シンフォニー製品の接客販売	全事業所
ラウンジ販売	シンフォニー製品・雑貨等の販売	第二工房

※10月、12月、2月、3月に、かもめ工房3所合同でイベント販売を実施している。

8. 各所利用状況（令和5年3月31日現在）

（1）利用者人員

施設	定員	在籍者数	内訳			
			男	比率%	女	比率%
第一工房	25名	25名	15名	60%	10名	40%
第二工房	20名	24名	13名	54%	11名	46%
第三工房	20名	33名	19名	58%	14名	42%

（2）入退所状況

施設	在籍数 (年度初)	増	減	在籍数 (年度末)	退所者理由			
第一工房	24名	3名	2名	25名	就労	0名	他サービス	1名
					状態悪化	0名	死亡	0名
					その他	1名	転居	0名
第二工房	23名	4名	3名	24名	就労	1名	他サービス	1名
					状態悪化	0名	死亡	0名
					その他	1名	転居	0名
第三工房	34名	3名	4名	33名	就労	0名	他サービス	0名
					状態悪化	1名	死亡	0名
					その他	0名	転居	3名

（3）年齢構成

施設／年齢		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
第一工房 25名	男	0	2	1	7	3	2	0
	女	0	0	4	5	1	0	0
第二工房 24名	男	0	0	0	2	6	4	1
	女	0	1	2	1	6	0	1
第三工房 33名	男	0	2	2	5	5	5	0
	女	0	0	3	4	6	1	0

（4）年齢

施設/年齢	男（平均）	女（平均）	平均年齢	最年少者	最高齢者
第一工房	45.5	42.3	44.2	25	67
第二工房	58.4	48.1	53.7	23	73
第三工房	48.4	51.9	48.4	27	67

(5) 精神障害者福祉手帳等取得状況 ※複数所持あり

施設／等級	1 級	2 級	3 級	他障害 手帳等	なし	合 計
第一工房	0	13	6	5	2	27
第二工房	0	17	3	0	4	24
第三工房	0	20	9	1	3	33

(6) 生活状況

施設／状況	障 害 年 金受給	老 齢 年 金受給	無年金	生活保 護受給	家族同居	単身者
第一工房	16	1	6	10	15	10
第二工房	18	0	6	6	12	12
第三工房	18	1	13	11	14	19

(7) 利用状況 (実開所)

施設/状況	開所日数	年間延べ 人数	月平均 人数	一日平均 人数	利用率
第一工房	243日	3,546 人	295 人	14.6 人	58.4 %
第二工房	243日	3,146 人	262 人	12.9 人	64.7 %
第三工房	243日	3,276 人	273 人	13.6 人	68.1 %

9. 作業状況

(1) 館内清掃

	施設名称	作業スケジュール	分担
1	北品川つばさの家	週5回	第一工房
2	品川区立西大井福祉園	週5回	第二工房
3	品川区立かがやき園	※実績なし	第二工房
4	西大井六丁目第三区営住宅	月1回	第二工房

(2) 公園清掃

施 設	内 容
第一工房	区内10カ所の清掃
第二工房	区内17カ所の清掃
第三工房	区内15カ所の清掃

※第二工房で行っている源氏前公園、源氏前特定児童遊園の清掃は改修工事の為10月～4月末まで中止となっている。

(3) 自主製品イベント販売

10、12、2、3月にかもめ工房三所合同で実施（計4回）

毎月第一水曜日学研販売（計12回）

地域祭り等（計1回）

合計：平日16回、土日祝祭日1回

(4) 令和4年度工賃支給実績

施設	年間総支給額	支給対象 延人数	平均工賃金額
第一工房	4,051,029円	252人	16,075円
第二工房	3,800,592円	257人	14,788円
第三工房	4,289,568円	352人	12,186円

10. 運営状況

(1) ボランティア受け入れ状況

施設	作業補助	昼食作り	行事
第一工房	0名	0名	0名
第二工房	0名	0名	0名
第三工房	2名	0名	0名

(2) 実習生受け入れ状況

依頼先機関	延数	依頼先機関	延数
東京福祉大学	64名	東京医科歯科大学	0名
東京福祉専門学校	0名	社会福祉士会	0名
東京医療保健大学	137名	品川介護専門学校	0名
明治学院大学	15名	都立荏原看護専門学校	4名
		合計	220名

11. ヒヤリハット・事故報告状況

	ヒヤリハット報告				
	第一	第二	第三	相支	合計
4月	0	0	0	0	0
5月	1	0	1	0	2
6月	0	1	0	0	1
7月	2	1	0	0	3
8月	0	0	0	0	0
9月	0	1	0	0	1
10月	0	1	0	0	1
11月	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0
2月	0	1	0	0	1
3月	0	0	0	0	0
合計	3	5	1	0	9

<ヒヤリハット内訳>

- ・パニック-0件
- ・自傷他害-0件
- ・器物破損-0件
- ・車両関係-0件
- ・転倒転落-2件
- ・体調不良-0件
- ・作業関係-3件
- ・異物混入-1件
- ・感染症等-0件
- ・その他-3件(所在不明、落葉、個人情報)

	事故報告				
	第一	第二	第三	相支	合計
4月	2	1	0	0	3
5月	0	1	0	0	1
6月	0	0	0	0	0
7月	1	0	2	0	3
8月	4	0	1	0	5
9月	0	0	0	0	0
10月	1	1	0	0	2
11月	0	1	0	0	1
12月	0	2	1	0	3
1月	0	1	0	0	1
2月	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0
合計	8	7	4	0	19

<事故内訳>

- ・パニック-0件
- ・自傷他害-0件
- ・器物破損-0件
- ・車両関係-4件
- ・転倒転落-1件
- ・体調不良-0件
- ・作業関係-2件
- ・異物混入-0件
- ・感染症等-10件
- ・その他-2件(鍵紛失、鍵番号紛失)

品川区精神障害者地域生活支援センター事業報告

1. 重点目標報告

障害者総合支援法に基づき、福祉サービス利用者に対し計画相談を実施し、地域活動支援センターI型の事業者として、次の重点目標を計画し実施しました。

相談支援事業件数	8, 623件
地域活動支援センター利用総数	1, 048名
開所日数 251日	従事職員 (常勤5名・非常勤3名)

(1) 相談支援事業所と地域活動支援センターI型の持病の明確化

これまで兼務で運営してきた相談・交流室運営を、令和4年度からは事業ごとに担当職員を置いて運営します。相談はより質の高い相談支援を目指し、また交流室では利用者のニーズに合わせたプログラム運営を検討していきます。

(2) 居心地が良く、安心できる居場所を目指す

区内に1カ所の精神障害者の交流室として、日々変化する利用者のニーズに寄り添った、興味・関心のあるプログラム運営や安心できる雰囲気づくりに取り組みます。また、精神障害に対する啓発を図るため、地域交流会や講演会等を開催していきます。

(3) 身近な相談先と質の高い相談支援を目指す

区内に相談支援事業所をはじめ、福祉サービス提供事業者が少しずつ増えてきており、利用者自身が希望する選択肢を選べるよう、行政や医療機関、各事業所等の連携をより一層図り、利用者の支援に関わっていきます。

2. 相談支援体制

職 種	常勤	非常勤	合計	職 務 内 容
管 理 者 (相談支援専門員兼務)	1		1	施設運営上の管理及び調整、生活相談、サービス利用計画作成及び相談支援
相談支援専門員	3		3	生活相談、サービス利用計画作成及び相談支援
指 導 員	1	3	4	地域活動支援センター事業の業務全般事務補助等

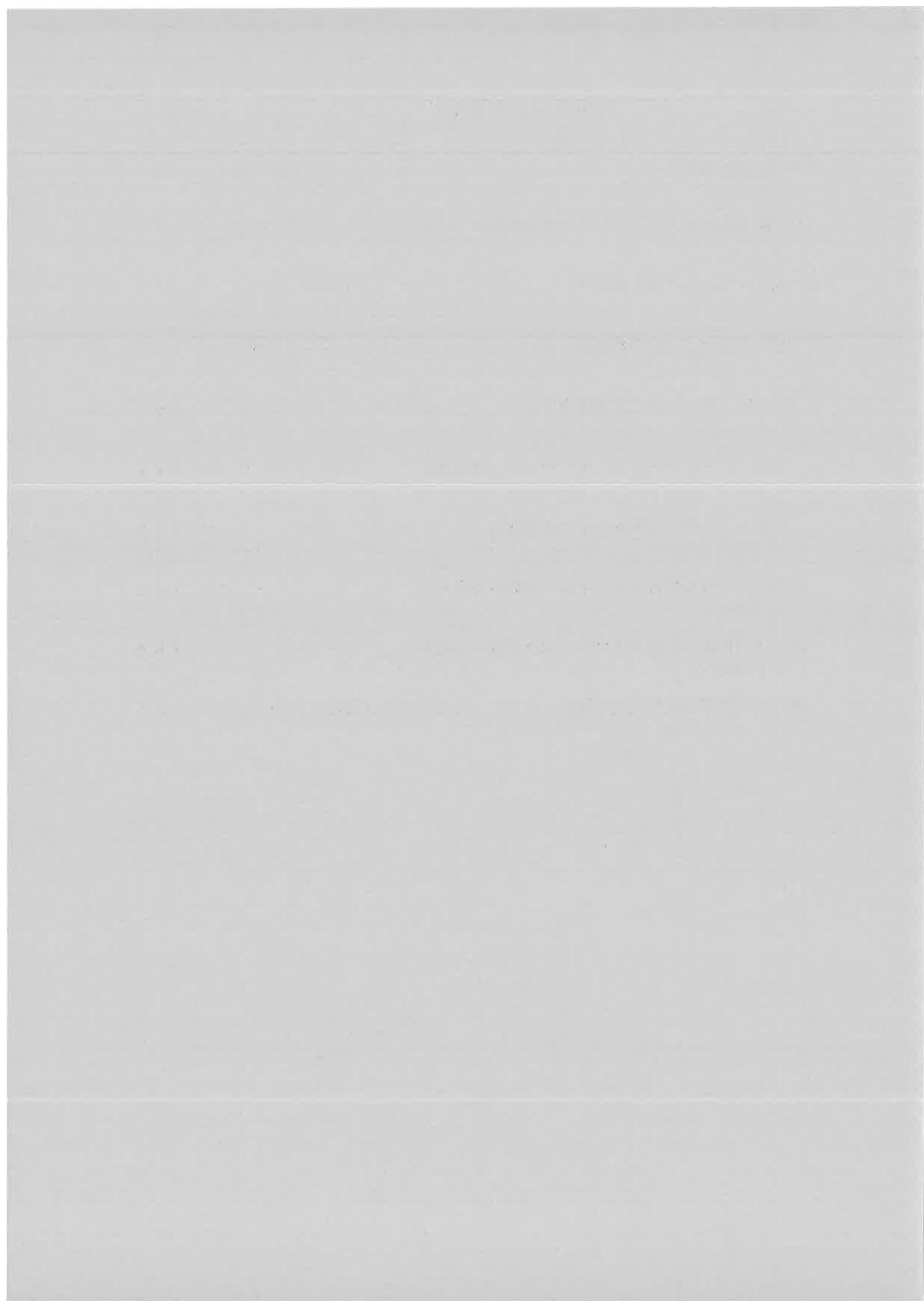
3. サービス内容

相談支援事業	相談支援（サービス等利用計画を含む）	特定相談	<p>(1) 実績（サービスの重複含） 合計 216 件</p> <p>① 介護給付（居宅介護・通院等介助） 33 件</p> <p>② 訓練等給付（自立訓練・就労移行支援・就労継続支援・就労定着支援・共同生活援助） 183 件</p> <p>(2) 内容</p> <p>① アセスメント・サービス利用計画作成 156 件</p> <p>② カンファレンス 406 件（延数）</p> <p>③ 区分認定調査 43 件</p> <p>④ モニタリング（月1回～年1回） 274 件（延数）</p> <p>※新型コロナウイルス感染の影響で、対面支援だけではなく必要な方には電話や郵送等でも対応しました。</p>
		一般相談	<p>(1) 対象者：区内在住の精神障害者</p> <p>(2) 内容：生活・就労・健康・福祉サービス等の各種相談</p> <p>(3) 方法 面接、電話、訪問等による相談支援 その他、関係機関との調整・会議等</p> <p>※生活や体調面、制度利用等の相談を受けています。相談内容から制度利用となった場合には特定相談で引き続き支援していきます。</p> <p><地域移行支援：精神科病院への長期入院者への退院支援> (退院終了) 0 件 (支援中断) 0 件 (支援継続) 0 件</p> <p>※新型コロナウイルス感染の影響で病院への訪問・面接等に制限がかかり、支援に至りませんでした。</p>
		専門相談（顧問医）	<p>実施実績：毎月1回（第2金曜日）年間8回</p> <p>年間を通して、利用者のみならず家族からの相談や関係機関、事業所内の事例検討を行い、医療面を中心に助言を頂きました。</p>

地域活動支援センター事業	交流促進 (交流の場と居場所の提供)	<p>(1) 交流室利用者数 1,048名(延数) 年間251日開所日</p> <p>(2) 自主活動:参加人数 190名(延数) (非常勤・ボランティアによる運営 実施内容 以下①～⑧)</p> <p>①パソコンクラブ 週1回 ②体操クラブ 週1日 ③エコ創作クラブ 週1日 ④創作クラブ 週1日</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の影響で、通所の自粛を行っている方有り</p> <p>(3) たいむミーティング:31名(延数) 年間12回開催 月1回、様々なテーマで意見交換をしたり、交流室での活動についての希望などを話したり、聞いたりしました。</p> <p>(4) たいむりいNEWSの発行 (毎月1回 220部発行) 月の予定や、自主活動の様子、利用者からの投稿を毎月紙面にして発行し、区役所・保健センターや医療機関、関係する事業所に送付しました。</p>
	生活支援	<p>(1) 食事サービス:50名利用(延数) かもめ第3工房の昼食サービスを利用しました(食事の提供日が週1日から週4日へ増えています)。</p> <p>(2) 入浴サービス:93名利用(延数) 主に自宅入浴設備がない方の利用が中心に定期利用となっています。</p>
	ピアカウンセリング	<p>(1) 対象者:たいむ登録者</p> <p>(2) 内容:個別、グループ相談等(年間12回 19名(延数)) 新型コロナウイルス感染防止に留意しながら、個別での相談及びグループミーティング形式でも行いました。</p>
	地域交流事業	<p>地域交流会参加数 0名(延数)</p> <p>年4回ほど地域の方にもご参加いただけるイベントを実施していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で開催は出来ませんでした。</p>

児童福祉部事業報告 目次

児童福祉部事業報告	161
品川区立家庭あんしんセンター事業報告	163
品川区ひまわり荘事業報告	164
品川区子育て支援事業報告	168
品川区子育て短期支援事業事業報告	169
平塚ファミリー・サポート・センター事業報告	171
平塚きぼう荘（障害者住宅）事業報告	172
品川区立平塚高齢者多世代交流支援施設事業報告	181
品川区立東品川高齢者多世代交流支援施設事業報告	188
品川区立就学前乳幼児教育施設ぷりすくーる西五反田事業報告	193



児童福祉部事業報告

1. 基本方針

児童福祉部は、「子どもの最善の利益」を基本に、各施設の専門機能や社会資源を活用し地域の子どもやその家族の支援を進めました。新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中での運営とはなりましたが、感染対策を徹底しながら、徐々に多世代及び他機関との交流の機会が持てるように取り組みました。

新型コロナウイルスの感染症法上の取扱いが見直されることもあり、その動向を踏まえつつ、引続きサービスの安全・安定供給に取り組みます。

2. 重点目標

- (1) 品川区における子ども・子育て支援施策及び、区立児童相談所設置に向けた方針・広域利用の方針等を踏まえ、家庭あんしんセンターを中心に、地域のニーズに対し、速やかな対応と適切なサービスの提供に努めました。
- (2) 高齢者多世代交流支援施設について、新型コロナウイルス感染症対策に留意しつつ、可能な範囲で事業展開に努めました。
- (3) 受託2年目となる区立就学前乳幼児教育施設ぷりすくーる西五反田の円滑な事業運営に努めました。新型コロナウイルスの変異株の特徴から、子どもが感染する例が多くなっていた中、園児からも数名感染者が発生し、クラスを休園することがありましたが、幸い園児は通常登園に戻ることができました。夏には、子どもたちが楽しみにしていた、プール遊びを再開しています。

3. 児童福祉部事業内容

品川区立家庭あんしんセンター事業内容

	施設・事業種別	定員等
第一種社会福祉事業	母子生活支援施設 品川区ひまわり荘	20世帯
第二種社会福祉事業	品川区子育て短期支援事業 短期入所事業（子どもショートステイ）	5名
第二種社会福祉事業	品川区子育て短期支援事業 夜間養護事業（トワイライトステイ）	20名
第二種社会福祉事業	平塚ファミリー・サポート・センター 子育て援助活動支援事業	大崎・荏原 地区担当
公益事業	品川区子育て支援事業 育成相談、地域組織化事業 品川区育児支援ヘルパー派遣事業 養育支援訪問事業	

平塚高齢者多世代交流支援施設（平塚ゆうゆうプラザ）事業内容

	施設・事業種別	定員
第二種社会福祉事業	地域子育て支援拠点事業（ポップンルーム）	
第二種社会福祉事業	一時預かり事業（オアシスルーム）	12名
公益事業	高齢者多世代交流・介護予防・施設貸出事業	

東品川高齢者多世代交流支援施設（東品川ゆうゆうプラザ）事業内容

	施設・事業種別	定員
第二種社会福祉事業	老人福祉センター	
公益事業	高齢者多世代交流・子育て交流支援・介護予防・施設貸出事業	

就学前乳幼児教育施設（ふりすくーる西五反田）事業内容

	施設・事業種別	定員
第二種社会福祉事業	公立保育園	46名
公益事業	認可外保育事業（幼児教育施設）	54名
第二種社会福祉事業	地域子育て支援拠点事業 ふれあい交流室（ポップンルーム）	
第二種社会福祉事業	一時預かり事業（オアシスルーム）	6名

品川区立家庭あんしんセンター事業報告

1. 重点目標への対応について

(1) 区外利用者受け入れ（広域利用）の充実

児童福祉法第23条第3項に規定する所管外区域の母子生活支援の受け入れについては、区・子育て応援課の母子・父子自立支援員の要請に基づき受け入れを図り、今年度は1世帯が入居しました。

(2) 子育て短期支援事業の利用者の拡大

地域でニーズのあるサービスに対して、利用要件の拡大に伴い、利用する児童の年齢・特性に配慮しながら、児童には「安心・安全の保障」、保護者には「安心の保障」を目指し、適切な人員配置・室内環境づくりに努め、対応しました。

	令和3年度	令和4年度
ショートステイ宿泊数（延べ）	173泊	325泊
育児疲れを理由とする宿泊数（延べ）	68泊	140泊
全体に占める割合	39.3%	43.1%
実利用世帯数	10世帯	24世帯

(3) 子ども家庭支援センターとの連携強化

子ども家庭支援センターを中核とした品川区における児童虐待防止体制に寄与し、また、品川児童相談所とも連携を図り、協力体制の構築を目指しました。

品川区ひまわり荘 事業報告

1. 重点目標への対応について

(1) 品川区との連携強化

母子生活支援施設を必要とする地域の母子世帯や、区外広域事業の利用者も随時受け入れができるように 品川区子育て応援課とさらなる連携強化を図り、受け入れについての協力体制の確立を目指しました。

(2) 利用者支援の充実

①母親支援の充実

地域生活で必要となるスキルを学ぶ機会や、精神的な安定を維持できるように、心理職員との面談などを、積極的に導入し、持っている能力及び自立への意識が高まるような支援を行いました。

②子ども支援の充実

互いが育ち合う場と個々に直接アプローチする場面を設け、子どもの育ちを支援します。また、児童自立支援計画において、退所後の生活を見据えた支援に努めました。

③退所後のアフターケア継続と充実

退所後も自立した生活が安定的に維持できるよう関係機関と連携し、アフターケアの充実を図りました。

2. 事業内容

(1) ひまわり荘 年間行事

月	日	曜日	行事名	内 容	参加人数
4	17	日	春を呼ぶ会	互助会・職員紹介	母6名・子8名
5	5	日	端午の節句	記念撮影	全世帯
5	8	日	母の日行事	記念品と花	全世帯
7	7	日	七夕	短冊飾り	全利用者
8	21	日	夏まつり	魚釣り、的当て、ヨーヨー釣り等	入居者、及び、退所者 全参加者 20名
10	16	日	バスハイク	外出行事 八景島シーパラダイス	母8名・子10名
12	18	日	年末お楽しみ会	プレゼント配布、クイズ大会	母6名・子8名
1	15	日	新年を祝う会	記念品作成・配布	母7名・子9名
2	3	火	節分	豆・菓子配布	全利用者
3	2	火	ひなまつり	記念撮影	母6名・子8名

(2) 学童保育の年間行事

月	日	曜日	行事名	参加人数	内 容
5	8	日	母の日	全員	手作りメッセージカード作り
5	22	日	映画鑑賞会	1名	映画鑑賞会
6	11	土	外出行事	1名	科学技術館
7	14	水	学童制作行事	4名	スノードーム作り
8	4	月	外出行事	2名	林試の森公園にて遊ぶ
9	25	日	映画鑑賞会	3名	映画鑑賞会
10	30	日	学童制作行事	5名	レジンで小物製作
11	23	水	食育行事	2名	食材を使用した食育
1	28	日	ニチレイ工場見学	8名	オンライン工場見学
2	12	日	制作行事	2名	買い物体験：花束制作
3	21	火	クッキング	3名	調理体験：たこ焼き作り
3	26	日	春ドライブ	2名	桜見学と東京都内見学

(3) 乳幼児行事

月	日	曜日	行事名	参加人数	内 容
5	8	日	母の日	全員	手作りメッセージカードを渡す
7	1～		保育月間	4名	保育のみ3時間
11	1～		保育月間	8名	保育のみ3時間

3. 支援の具体的内容

(1) 生活の支援

- ①入所前の事前情報・入所後のアセスメント及び、日常的な会話や生活場面から母親と子どもの意向をくみ取り、課題・ニーズを適切に把握し、精神面での支援も積極的に行いました。
- ②「寄り合い」・「共に行う」・「見守り」を基本とし、品川区子育て応援課を含めた三者面談で課題確認を行い、自立支援計画に基づいた支援を行いました。
- ③「子育てに関する事」・「日常生活で役立つ事」などの講座開催や、定期的開催した互助会でも情報交換・学びの機会を提供しました。
- ④家事や育児、基本的な生活習慣などの日常の生活支援を行いました。また、必要に応じて債務整理の解決や、面会交流・養育費の取り決め・心理・健康面についての相談、就労、住宅確保等の個別課題にも共に対応しました。
- ⑤健康診断を年に2回実施し、必要に応じて専門医療機関への紹介や同行を行いました。

⑥退所後も地域で安心した生活が送れるよう母親、子どもと話し合い、支援計画を作成し、アフターケアを実施しました。

(2) 子どもの支援

①「児童自立支援計画」に基づいた一貫した自立支援

入所前の情報や、日頃の関わりや遊び中等で、その子どもの課題・ニーズを洗い出し、退所後を見据えた「児童自立支援計画」を作成します。ひまわり荘内での支援の流れ（PDCAサイクル）を全職員が共有し、様々な場面で個々の子どもの支援をしました。

②子どもの育ちの課題を直接アプローチする支援

子どもとの面談を実施し、個々の心身の状況を把握しながら、基本的な生活習慣から学習面など、育ちの課題に取り組みました。退所後の生活を見据えた支援を母親と子どもと相談し入所者の自己決定を大切にしながら実施しました。

自尊感情・自己コントロールを高める ～個別場面での支援～	社会性を高める ～集団場面での支援～
①個別支援 ・学習 ・子どもが興味を持っている分野 （手芸、料理、プログラミング等） ②学童相談室 ・言葉で、自分の気持ちを、表現できる場	①行事 ・宿泊行事 ②地域の間 ・児童センターとの連携 ・すまいるスクールとの連携 ・各学校との連携 ・各関係機関との連携

(3) 緊急一時事業

配偶者などの暴力、遺棄等で、緊急的な避難が必要な母子に対して必要な保護を実施しました。その他、利用者に応じた支援を行い、安心・安全な生活作りを提供しました。

4. 関係機関との連携

- (1)品川区子育て応援課・生活福祉課・子ども育成課・子ども家庭支援センター・児童相談所と連携し利用者支援を行いました。
- (2)医療機関・保健センターと連携し、利用者の健康増進に努めました。
- (3)子どもの育ちの支援の為、学校・保育園と連携し、必要な情報交換を行いました。
- (4)法テラスをはじめ、その他の専門機関と連携して個別課題・解決に対応しました。

5. 事故防止策・虐待防止・防災対策

(1) 虐待防止への取り組み

ア 虐待防止規程に基づく虐待防止研修への参加や、業務・虐待チェックリストを活用した取り組みを実施し人権意識向上に取り組みました。

イ 利用児童の安全の確保を図るため、マニュアルに基づいた対応を職員間で周知徹底しました。

(2) 事故防止の取り組みとして、ヒヤリハット事例の検討、危険箇所の点検、事故発生時の迅速な再発防止策の検討、業務マニュアルの作成・見直しなど、リスクマネジメントに取り組みました。

(3) 災害などに備え、毎月1回の防災避難訓練及び、年1回の荏原消防署立会での防災避難訓練(中止)を実施し、防災対策、意識の向上に努めました。また、大災害などが発生した場合は事業継続計画(BCP)に基づき行動し、利用者の安全確保・事業継続に必要な対応を併せて確認をしました。

(4) 施設の定期的な建物保守管理を実施し、必要となる修繕・更新を品川区と協議し適切な維持管理を行いました。

品川区子育て支援事業報告

1. 重点目標

- (1) 品川区の育児支援サービスの充実に伴い、現行の育児支援ヘルパー派遣事業の要綱の見直しを品川区子ども家庭支援センターと連携し、一部変更しました。
- (2) 地域の子育て支援機関として、主に、子ども家庭支援センター子育てサポート担当と連携し、児童虐待防止のネットワークづくりに寄与しました。

2. 支援の具体的内容

(1) 親子の関わりを重視した子育て広場の運営

新型コロナウイルス感染症蔓延の為、子育て広場の開催時は、利用人数制限や時間制限などを図り感染予防に十分留意しました。親子のかかわり遊びの時間を設け、親子遊びの楽しみを体験できる時間をつくと共に、子どもとの関わり方のスキルの獲得を支援することで児童虐待予防に努めました。

(2) 子育て支援会議、及び、検討会議の継続

月間打ち合わせでのケース報告及び緊急な対応が必要なケースへの検討をしました。

(3) 虐待予防の取り組み

虐待予防や虐待の重篤化防止を目的として養育支援訪問事業及び育児支援ヘルパー派遣事業に取り組みました。

(4) 広く区民への虐待防止への取り組み

「子育て応援出前講座」として、区内児童センターに職員を派遣し区民向けの児童虐待防止講座や子育て講座を13施設で行いました。

身近なところで専門的な話を聞く場として、区内関係機関職員向けの公開講座も4回開催しました。

3. 関係機関との連携

- (1) 児童虐待問題をはじめ、子育ての困難さを抱える家庭の課題に対して、子ども家庭支援センター子育てサポート担当を主として、地域関係機関との情報交換・連携を図りました。
- (2) 児童相談所については、検討会議での情報の共有化だけではなく、相談への対応について専門的な助言も受けました。

4. 事故防止策・虐待防止・防災訓練

- (1) 虐待防止の取り組みでは、虐待防止規程に基づき人権意識向上を図りました。
- (2) 職員はマニュアルに沿った対応を身につけられるように努めました。
- (3) 利用者の安全を確保するため、防災訓練には、子育て広場利用者にも声を掛け参加を促しました。

品川区子育て短期支援事業報告

1. 重点目標

(1) 子育て短期支援事業対象者の拡大への対応

利用者年齢、特性を考慮した人的・物理的環境の整備を進めました。また、電話での問い合わせや面談時の対応については、品川区子ども家庭支援センターと連携した組織的な対応を行いました。また、「育児疲れ」による利用理由が増えた為、面談の際、家庭状況の確認を強化し、適正な利用に努めました。

(2) 子ども家庭支援センターとの連携強化

虐待早期発見を目指し、子ども家庭支援センター子育てサポート担当や他機関と、継続した連携強化に努めました。

2. サービス提供体制

職名	人数	主な担当業務
子育て短期事業相談員	3	利用相談及び子育て短期の運営
子育て短期臨時職員	13	子育て短期の業務全般

3. 支援の具体的内容

短期入所事業	定員	5名
	1回の利用期間	7日以内（1泊2日からの宿泊を伴う利用）
	1回の利用時間	36時間（午前8時から翌日の午後8時の間）
	利用料金	1泊2日6,000円（減免制度あり） （2泊目以降は1日につき3,000円を加算）
	対象児童	品川区に住所のある1歳以上15歳以下の子ども
夜間養護事業	定員	20名
	1回の利用	1日から最長6ヶ月程度の利用・延長可能
	利用時間	午後5時から午後10時
	利用料金	1回1,200円（減免制度あり）
	対象児童	品川区に住所のある1歳以上15歳以下の子ども
その他	送迎あり（迎えのみ）1回 300円	

(1) 支援内容

- ①おやつを含めた食事の提供と身の回りのケア。
- ②学習及び遊びの援助。
- ③通園及び通学の援助。
- ④その他必要とする援助。

(2) 感染症対策

- ①新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、入館時の体温計測やショートステイ室・トワイライトステイ室内での3密を避けるような対応を継続して行いました。
- ②児童引き渡しの際、お迎え者の館内入館は控えていただき、職員が館外まで同行して館外での引き渡しを行う対応を行いました。

4. 事故防止策・虐待防止・防災対策

(1) 虐待防止への取り組み

- ①虐待防止規程に基づく虐待防止研修への参加や業務・虐待チェックリストを活用した取り組みを年2回、実施し人権意識向上に取り組みました。
- ②利用児童の安全を確保するため、マニュアルに基づいた対応を職員間で確認し、周知徹底を図りました。
- ③事故・ヒヤリハット報告の検討を迅速に行い、必要な対応を職員間で確認し、決定した事について、周知徹底を図りました。
- ④危険物がないか室内環境を定期的に確認し、必要に応じて整備しました。
- ⑤業務開始前の打ち合わせで、利用児童の特性を確認し、安全に留意した対応を行いました。

(2) 事故防止の取り組みとしてスタッフの保育技術の向上を目指し、また、ヒヤリハットの活用、危険箇所の点検、事故発生時の報告・分析、再発予防、その他、マニュアルの見直しを行いました。

(3) 利用者の安全を確保するため、防災避難訓練の実施を促し、また、震災対策として、震災マニュアルに基づき行動できるよう、冊子を回覧して意識の向上も図りました。

平塚ファミリー・サポート・センター事業報告

1. 基本方針

地域で子育ての援助を受けたい方（依頼会員）と、子育ての支援を行いたい方（提供会員）が会員組織をつくり、地域の中でお互いに助け合いながら子育てをする総合援助活動を行い、子育ての支援と児童福祉の向上を図りました。

2. 重点目標

新規提供会員登録の拡大を継続しました。

【目標】登録提供会員の5%増

3. サービス提供体制

職名	人数	主な担当業務	保有資格
アドバイザー	2	会員登録・コーディネート等	保育士・幼稚園教諭 社会福祉士等

4. 事業内容

- (1) 提供会員の養成講座及び依頼会員加入時の説明及び登録等
- (2) 会員間の相互援助活動の調整及びトラブル等の調整助言
- (3) 相互援助活動を進めるための会員の交流会及び講習会の実施
- (4) 事業内容の広報活動
- (5) 関係機関との連絡調整
- (6) 事故への迅速な対応
- (7) 緊急対応（活動）

5. 関係機関との連絡調整

依頼内容及び会員状況により、保健センター・保育園・幼稚園・子育て支援センター等と情報交換を行い、連携しながら会員をサポートしました。

6. 事故防止対策と事故後の対応

- (1) 安全チェックリスト表を活用しました。
- (2) 事件事例を記録し、事例の分析、リスクの発見、再発の防止に取り組みました。
- (3) 「ヒヤリ・ハット」事例を活用して、事故防止・改善に役立つ情報を提供会員研修会・提供会員交流会等で取り上げ、危険察知の目を養うなど活用しました。

平塚きぼう荘（障害者住宅）

併設されている平塚きぼう荘設備管理を行い、居住者が緊急の場合などに、必要な支援を行いました。

居室数 2室

令和4年度 家庭あんしんセンター 実績報告

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計	内容	
保羅者	父親	35	25	41	32	25	27	185	34	46	25	34	37	207	392父親来館数	
	母親	72	79	147	123	125	107	653	140	139	141	112	149	791	1444母親来館数	
	その他	0	0	1	0	2	4	7	2	1	3	1	0	10	17上記以外の保護者来館数(ひまわり荘来館者・原倉屯)	
小計	107	104	189	155	152	138	845	176	186	169	147	141	189	1008	1853	
子ども	乳幼児	57	46	104	64	73	76	420	115	77	96	91	99	121	599	1019乳幼児来館数(ショート・トワイライトスタイルを含む)
	小学生	67	65	219	70	75	69	565	75	93	67	70	53	76	434	999小学生来館数(ショート・トワイライトスタイルを含む)
	中学生・高校生	0	0	0	0	0	0	0	3	1	2	2	0	1	9	9中学生・高校生来館数
小計	124	111	323	134	148	145	985	193	171	165	163	152	198	1042	2027	
その他	30	29	40	31	30	31	187	38	27	31	34	35	26	191	378上記以外の来館者数(関係機関等)	
合計	261	240	552	320	330	314	2017	407	384	365	344	328	413	2241	4258	

ひまわり荘

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計	内容
入所状況	継続入所	8	10	10	10	9	9	9	10	10	11	12	13	9	前月より継続入所世帯数
	新規入所	2	0	2	0	0	0	1	5	1	1	1	1	4	9新規入所世帯数
小計	10	10	12	10	9	9	10	10	10	11	12	13	13	13	在所年数世帯数
在所期間	6ヶ月未満	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	～1年未満	5	5	7	7	3	4	3	2	3	4	4	3	5	
	1年～2年未満	3	5	5	3	3	3	3	5	6	6	5	5	5	
	2年～3年未満	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	2	3	
	3年～4年未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	4年～5年未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
5年以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
小計	10	10	12	10	9	10	10	10	10	11	12	13	13		
母親の状況	～19歳	3	3	3	2	1	2	1	1	1	1	1	1	1	
	20～24	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	25～29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	30～39	7	7	8	6	5	5	6	6	6	7	8	8	8	
	40～49	2	2	3	3	3	4	3	3	4	4	4	4	4	
	50～59歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	60歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	10	10	12	10	9	10	10	10	10	11	12	13	13	
	0歳	3	3	3	2	1	2	1	1	1	1	1	0	0	
	1歳	3	2	2	3	3	4	3	3	3	3	3	4	4	
2歳	1	2	3	3	3	3	5	5	5	5	6	6	4		
3歳	4	4	5	6	7	7	8	8	8	8	9	8	8		
4歳	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
5歳	0	0	0	2	2	1	1	1	2	2	2	2	2		
6歳	0	0	0	3	3	1	1	1	2	2	2	3	3		
7歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
8歳	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0		
9歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
10歳	2	2	2	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1		
11歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
小計	3	3	4	2	1	1	1	1	1	1	2	2	3		
12歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
13歳	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		
14歳	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	2	2	2		
小計	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		
15歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
16歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
17歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
18歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
20歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
小計	13	13	18	15	12	13	13	13	13	14	15	15	16		
結婚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
復職	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
実家に同居	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
公営住宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
民間アパート・住込	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1		
その他	0	0	0	0	1	1	0	2	1	0	0	0	1		
小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
新規世帯数	0	1	0	1	0	2	1	0	3	1	0	0	1	5	
継続世帯数	0	0	1	0	1	0	0	2	1	0	0	1	0	2	
退所世帯数	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2	
延べ人数	0	1	1	1	1	0	0	3	0	0	0	1	4	7	

ひまわり荘

品川区立家庭あんしんセンター実績報告

令和4年度 品川区立家庭あんしんセンター 別表2 年度別実績推移

児童家庭相談実績(延数)	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	R3年度	R4年度
養護																	
児童虐待	673件	610件	666件	971件	1,434件	1,854件	908件	1,144件	1,053件	1,204件	2,386件	4,710件	7,305件	6,104件	1,638件	150件	6件
その他	182件	203件	934件	2,377件	2,142件	1,717件	1,817件	1,880件	1,989件	2,811件	3,819件	5,248件	5,257件	3,927件	3,134件	250件	14件
保健	34件	10件	6件	9件	5件	0件	0件	0件	1件	0件	0件	7件	0件	0件	0件	0件	5件
知的/言語発達	781件	1,107件	28件	12件	8件	16件	8件	6件	2件	0件	0件	0件	0件	2件	2件	0件	0件
障害	1,688件	1,651件	37件	19件	31件	2件	3件	0件	0件	0件	15件	0件	0件	13件	0件	0件	0件
身体不自由/視覚/重度心障	2件	0件	7件	6件	61件	0件	0件	0件	0件	0件	0件						
非行	0件	6件	5件	1件	2件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	22件	0件	2件	0件	0件	0件
育成	35件	120件	509件	66件	85件	23件	36件	6件	27件	31件	61件	30件	14件	7件	31件	0件	0件
性格行動/育児・しつけ	540件	503件	770件	839件	777件	598件	710件	456件	447件	628件	814件	948件	1,031件	903件	1,045件	313件	262件
その他	125件	125件	2件	0件	2件	1件	0件	0件	0件	42件	0件	0件	1件	1件	0件	1件	112件
合計(延数)	4,060件	4,073件	2,889件	4,300件	4,547件	4,211件	3,482件	3,492件	3,519件	4,716件	7,097件	10,965件	13,610件	11,068件	5,865件	714件	399件

※児童虐待の相談や対応は、令和4年度から区(品川区児童相談所、及び、子ども家庭支援センター)が窓口となっています。 ※発達相談事業は平成20年度に品川児童学園に移転しました

シヨーストステイ実績	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者数(件数)	80人	62人	41人	44人	38人	21人	20人	27人	10人	11人	22人	34人	57人	52人	59人	105人	163人
宿泊数(延数)	207泊	142泊	70泊	74泊	97泊	77泊	84泊	79泊	31泊	33泊	57泊	125泊	130泊	96泊	99泊	173泊	325泊

トワイラーストステイ実績	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者数(件数)	488人	457人	483人	405人	318人	364人	435人	476人	453人	360人	386人	498人	492人	434人	135人	134人	260人
利用回数(延数)	2,743回	3,766回	3,559回	2,905回	2,176回	2,788回	3,524回	3,663回	3,176回	1,938回	1,982回	2,016回	1,656回	1,637回	560回	543回	1,030回

ファミリーポート実績	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	R3年度	R4年度
提供会員登録者	266人	177人	199人	222人	255人	234人	229人	257人	255人	229人	236人	224人	203人	190人	155人	161人	164人
依頼会員登録者	1,196人	1,077人	1,035人	1,247人	1,417人	1,581人	1,708人	1,953人	2,103人	2,386人	2,342人	2,424人	2,517人	2,579人	2,453人	2,292人	2,213人
活動件数(延数)	4,811件	5,060件	3,591件	3,516件	3,643件	3,746件	3,532件	2,766件	3,299件	3,878件	2,920件	2,614件	2,550件	2,907件	1,311件	1,811件	1,377件

※ 平成19年10月 大井ファミリ-ポート・センター開設

ひまわり荘	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	R3年度	R4年度
入所世帯数	9	10	8	9	8	5	6	4	11	3	5	7	1	8	6	4	6	9
退所世帯数	13	6	8	10	9	6	7	9	3	7	7	8	4	4	8	4	6	5
年度末世帯数	14	18	18	17	16	15	14	9	17	13	11	10	7	11	8	10	8	12

〈別表3〉

家庭あんしんセンター職員研修実施報告

1. 法人による研修

法人による研修は、事務部事業報告に記載の通り。

2. 家庭あんしんセンターによる研修

研修	研修テーマ	実施時期	職員数
部署内研修	事業計画読み合わせ・重点テーマ等の確認	4月	全職員
	子育て応援夜間公開講座 全4回	10月(4回)	6名
	防犯対策研修	中止	
	「保護者へのことばがけ」	9月	15名

※新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止あり

3. 外部機関による研修 (ひまわり荘)

実施機関	研修名	参加時期	職員数
NPO法人 チャイボラ	ストレスマネジメントとタイプ別生き方のコツ	6月	1名
東京都母子福祉部会	新任職員研修会	6月	1名
東京都保育士協会	乳児の言葉と心の育ちについて	7月	1名
東京都福祉人材センター研修室	令和4年度 初任者研修	7月	1名
子ども家庭支援センター	ヤングケアラーについて知る	8月	4名
東京都保育士協会	乳児の言葉と心の育ちについて	9月	1名
社会福祉法人東京都社会福祉保健医療研修センター	婦人相談員等現任研修	9月	1名
家庭あんしんセンター	子どもの虐待を考える	10月	6名
東京都福祉保健局	若者のこころと依存症	11月	1名
東京ウィメンズプラザ	「配偶者暴力(DV)が子どもに与える影響	12月	1名

※新型コロナウイルス感染拡大防止の為、リモート研修が主体となる。

4. 内部研修

実施機関	研修名	参加時期	職員数
社会福祉法人 福栄会	子育て応援夜間公開講座 全4回	10月	6名

5. 外部機関による研修（ファミリー・サポート・センター）

実施機関	研修名	参加時期	職員数
東京都福祉保健局 少子社会 対策部 家庭支援課	令和4年度 地域子育て支援研修 「ファミリー・サポート・センター事業 における意義を再確認する。」	10月	4名
一般財団法人 女性労働協会	子育て応援講演会「地域みんなで子育て のためにできる事」	10月	4名
一般財団法人 女性労働協会	令和4年度 リスクマネジメント実践セ ミナー「ファミリーサポートセンター事 業における自然災害対応の手引き」	12月	4名
東京都福祉保健局 少子社会 対策部 家庭支援課	「ファミリー・サポート・センター事業 における関係機関との連携について」	1月	2名
東京都福祉保健局 少子社会 対策部 家庭支援課	令和4年度 地域子育て支援研修 「ファミリー・サポート・センター事業 における関係機関との連携」	1月	2名
東京都福祉保健局 少子社会 対策部 家庭支援課	令和4年度 地域子育て支援研修 「ファミリー・サポート・センター事業 におけるリスクのマネジメントについ て」	2月	2名

<別表4>

家庭あんしんセンター防災訓練報告

月	日	想定	状況想定	訓練内容	参加者
4	18	夜間	火災・地震	避難誘導・消火・通報	職員3名、利用者 0名
5	20	夜間	火災	避難誘導・消火・通報	職員3名、利用者 3名
6	19	日中	火災・地震	避難誘導・消火・通報	職員3名、利用者 4名
7	20	夜間	火災	避難誘導・消火・通報	職員3名、利用者 4名
8	28	日中	火災・地震	避難誘導・消火・通報	職員3名、利用者 3名
9	22	日中	火災	避難誘導・消火・通報	職員3名、利用者 3名
10	23	日中	火災・地震	避難誘導・消火・通報	職員5名、利用者 3名
11	21	日中	火災	避難誘導・消火・通報	職員2名、利用者 2名
12	11	日中	火災・地震	避難誘導・消火・通報	職員3名、利用者 0名
1	20	日中	火災	避難誘導・消火・通報	職員2名、利用者 2名
2	19	夜間	火災・地震	避難誘導・消火・通報	職員3名、利用者 4名
3	23	日中	火災	避難誘導・消火・通報	職員2名、利用者 0名

※普通自衛消防力検定（荏原消防署立ち合い）

⇒令和4年度は、新型コロナウイルス感染症蔓延のため、消防検定中止。

※偶数月はひまわり荘における防災訓練

奇数月はひまわり荘とトワイライトステイによる防災訓練

<別表5>

令和4年度 家庭あんしんセンターヒヤリハット報告・事故報告の発生の状況

	ヒヤリハット報告				合計
	ひまわり	子育て短期	子育て支援	ファミサポ	
4月	6	0	0	0	6
5月	3	0	0	0	3
6月	8	0	0	0	8
7月	1	0	0	0	1
8月	32	0	0	0	32
9月	9	0	0	0	9
10月	12	0	0	0	12
11月	5	0	0	0	5
12月	25	0	0	0	25
1月	13	0	0	0	13
2月	11	0	0	0	11
3月	10	0	0	0	10
合計	135	0	0	0	135

子どもが鍵を口に入れる、転倒、口の中からティッシュが出てくる、帰荘遅滞、在宅確認不備、郵便物投函不備、しりもち、飛び出し、オーバードラッグ、非常階段扉を子どもが開けてしまう、子供の手が届く場所に飲み込めそうな物が居室内に散乱している。その他、ひまわり荘入居者については、精神疾患を患う体調不安など

	事故報告				合計
	ひまわり	子育て短期	子育て支援	ファミサポ	
4月	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	0
8月	1	0	0	0	1
9月	3	0	0	0	3
10月	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0
合計	4	0	0	0	4

ひまわり荘入居者について、精神疾患を患う体調不安により意識消失、オーバードーズ、痙攣発作等があり、救急車を要請し、病院へ搬送された回数

品川区立平塚高齢者多世代交流支援施設事業報告

1. 基本方針への対応

安全・安心を基本に快適で清潔感あふれる施設として、また誰もが気軽に立寄れて過ごせる施設環境の実現を目指し施設運営に取り組みました。

各事業等を通じ地域や関係団体等との良好な関係づくりを図っています。

2. 重点目標への対応

- (1) 地域のニーズに適したサービスを誰もが安心・安全に受けられる、多世代交流へと繋げられる施設づくり

日頃から利用者とコミュニケーションを図り、将棋・習字教室や高齢者スマートフォン教室等を開催し、地域のニーズに応えるようにしました。ひらゆうクラブ、ゆうゆうプラザまつり等、多世代の交流を図るためのイベントを開催しました。

- (2) 仲間と楽しく健康を増進できる介護予防機能を持った施設づくり

地域ミニデイの介護予防のほか、グループ活動を通して健康増進、維持及び生きがいづくりができる施設づくりを図りました。

- (3) 子育て親育ちをサポートする子育て支援機能を持った施設づくり

子育て支援等、保護者を支えていくためのサポートを家庭あんしんセンター等の関係機関と協力して行いました。

3. 施設及び各事業の報告

< 1階貸出し施設事業報告 >

- (1) 重点目標への対応

①感染症対策マニュアルを整備し、スタッフに周知させ利用者の安心・安全な利用に繋げました。館内消毒、換気を定時で行い感染症を予防しました。

②地域ミニデイ、地域ミニデイ卒業生グループは各グループとも満員での開催となり、体操を切れ目なく継続して行う仕組みを構築できました。参加者とボランティアが主体となり準備から片付けまでを出来るように側面から支えています。ボランティアは体操の卒業生が担っています。

< オアシスルーム(生活支援型一時保育)事業報告 >

- (1) 重点目標への対応

①児童の健全育成を目標とし、子どもの年齢や発達に応じて必要な保育、相談に応じました。

②保護者の悩みや不安へ対応できるよう、必要時には家庭あんしんセンタ

一等の関係機関と連携し支援を行いました。

- ③新型コロナウイルス感染症拡大予防のための消毒や環境整備を行い、利用者が安全で快適に過ごせる環境づくりを推進しました。

<ポップンルーム(地域交流室)事業報告>

(1) 重点目標への対応

- ①館内と区役所内に施設のパンフレット及び定期通信『ポップン通信』(毎月発行)を置くことでポップンルームの紹介と利用促進を図りました。
- ②イベントを定期的に行い、利用率の向上を図りました。
- ③新型コロナウイルス感染症拡大予防のための消毒や環境整備を行い、利用者が安全で快適に過ごせる環境づくりを推進しました。

4. 交流支援事業(自主事業)報告

(1) 多世代交流塾『ひらゆうクラブ』

食堂・レクリエーション・学習支援・ダンスに総合的に取り組んでいる「ひらゆうクラブ」を、毎月第1・2・3土曜日と第4日曜日に開催しました。食堂ではおにぎりを配布しました。

毎月第1・3土曜日・・・学習支援、食堂

毎月第2土曜日・・・レクリエーション(工作)、食堂

毎月第4日曜日・・・ファミリーダンス(低年齢対象・子育て世代)

(2) 開放されたフリースペース『くつろぎスペースゆうゆう』

空き部屋を有効活用し、地域高齢者が講師になって将棋教室と習字教室を7月から開始、毎週木曜日に開催しました。

(3) おもちゃ図書館『ぼかぼか』

感染症対策を徹底し、おもちゃの貸し出しを月2回開催しました。

(4) スマートフォン教室『ひらゆうスマホをマナブ会』

今年度から開始しました。第2・4木曜日勉強会、第1木曜日相談会を開催しました。定員3名なので知りたいことを丁寧に教わることができました。

(5) ストレッチ教室『とにかく伸ばそうストレッチ教室』

毎月第1・3金曜日夜間帯に開催しました。地域住民の健康増進と夜間帯の利用率向上を図りました。

(6) ゆうゆうプラザ主催のイベント

新型コロナウイルス感染症流行のため、当初予定をしていた行事のすべては開催できませんでした。開催した行事は、特に感染症予防対策を図った上で行いました。

- ① 冬のお楽しみ会(令和4年12月10日開催 71人参加)

落語、ちんどん屋、マジック等の演芸鑑賞を楽しみ、しいのき学園製菓をプレゼントしました。

② ゆうゆうプラザまつり（令和5年3月25日開催 42人参加）

絵本・紙芝居の読み聞かせや模造紙に絵を描くワークショップを行いました。高齢者は主にゲームの受付や絵を描くアドバイスなどで参加しました。

5. 地域貢献事業・関係機関との連携

- (1) 3月に文書方式（自由意見記載アンケート）にて地域懇談会を開催しました。日頃から町会や関係機関と定期的に新型コロナウイルス感染症拡大に関する対応等を連絡することで連携体制を構築できました。
- (2) やりがいを持って継続して参加していただけるよう、地域ミニデイでボランティアの方々にお手伝いしていただく内容を工夫しました。品川区主催の地域ミニデイ運営者向け講習会にボランティアが参加しました。
- (3) 地域ミニデイに関しては在宅介護支援センターと利用者状況を共有し一体的な介護予防サービスの提供に努めました。
- (4) 「ほっと・サロン」の開催や、交流支援事業を行う際にボランティア募集をする等、品川区社会福祉協議会と連携し利用者サービスの充実を図りました。
- (5) 学習支援をはじめ、家庭あんしんセンターと連携し更なる利用者のニーズの充足を図りました。

6. 事故防止策・防災対策

- (1) 救命講習と防犯研修（資料供覧）を受講しました。
- (2) 事故の発生または再発を防止するために法人のヒヤリ・ハットリスクレベル評価表に基づくリスク分析と管理に取り組みました。
- (3) 地震や火災に備えて毎月防災訓練を実施しました。非常時に対応できるように訓練の際は避難経路や消火器の場所を確認しました。

7. 安全対策

1・2階事務所の防犯カメラで不審者対策を行いました。また、2階事務所の非常通報装置運用について、非常時に備え職員研修を実施しました。

8. 新型コロナウイルス対策

品川区の指示により次のような運営となりました。

【1階貸出し施設】

通常の定員数で運営。令和5年3月13日から施設内、マスク着用推奨、飲食可能へ緩和されました。

【オアシスルーム】

通常運営

【ポップンルーム】

利用人数（7組まで）と飲食（不可）の制限あり。
利用時間には制限なし。

品川区立平塚ゆうゆうプラザ実績資料

(1)貸出し事業利用状況

		令和5年3月31日現在												単位：人	
利用種別	対象者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	
(登録利用) (目的内利用)	高齢者	327	250	303	287	216	259	249	248	266	258	304	320	3,287	
	ほっとサロン	109	118	120	85	105	79	97	109	115	94	101	98	1,230	
(一般利用) (目的外利用)	全年齢	利用人数	205	237	243	306	210	284	316	300	309	233	243	275	3,161
		団体数	25	30	35	51	42	64	59	60	42	43	39	39	529
区事業	高齢者	いきいき健康 マーじゃん広場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		運動教室	0	16	0	0	0	0	8	2	0	0	4	0	30
合計利用人数		641	621	666	678	531	622	670	659	690	585	652	693	7,708	

(2)自主事業実施状況

		令和5年3月31日現在		
事業名		対象者	延べ回数	延べ人数
イベント	フリーマーケット(6月・中止)	多世代	0	0
	演芸大会(9月・中止)	多世代	0	0
	クリスマス会(12月)	多世代	1	71
	ゆうゆうプラザ祭り(3月)	多世代	1	42
	ひらつかタイム(工作)	子育て世代	41	358
	ひらつかタイム(トランポリン)	子育て世代	10	120
	ひらつかタイム(ボールプール)	子育て世代	8	91
	おもちゃ図書館(ポップンルーム)	子育て世代	64	311
	年間行事(秋まつり・クリスマス・ハロウィン)	子育て世代	12	98
講座	ひらゆうクラブ	多世代	32	328
	ポップンルーム子育て講座(ファミリーダンス)	子育て世代	12	202
	ひらゆうスマホをマナブ会	多世代	22	44
予防	地域ミニデイ	高齢者	48	408
	元気ゆうゆう体操	高齢者	46	517
	ストレッチ教室	高齢者	24	235
その他	くつろぎスペースゆうゆう	多世代	161	803
合計			482回	3,628人

(3)部屋別稼働率

		令和5年3月31日現在											単位：%
部屋名/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
レクリエーション室1	65.9	67.1	75.6	77.0	73.9	79.8	79.3	88.1	77.5	81.0	87.2	73.9	77.1
レクリエーション室2	50.6	49.4	54.7	62.1	60.2	57.1	62.1	70.2	66.3	57.0	60.3	47.7	58.1
コミュニティ室	49.4	43.5	53.5	64.4	71.6	47.6	58.6	53.6	51.3	49.4	59.0	43.2	53.8
全部屋	55.3	53.3	61.2	67.8	68.6	61.5	66.7	70.6	65.0	62.4	68.8	54.9	63.0

(4) オアシスルーム利用状況

令和5年3月31日現在

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
利用人数	0歳	30	24	29	36	24	61	70	78	112	115	166	845人	
	1歳	44	29	44	33	28	22	37	40	44	40	32	423人	
	2歳	28	29	24	18	22	22	21	27	31	26	28	306人	
	3歳	14	8	12	19	4	16	6	9	14	8	10	133人	
	4歳	10	6	5	10	18	5	3	4	6	5	5	82人	
5歳	6	6	7	14	16	4	8	11	9	5	3	13	102人	
小計	132	102	121	130	112	130	145	159	200	200	201	259	1,891人	
利用延べ時間	0歳	138	124	133	132	112	267	334	387	551	566	853	4,069人	
	1歳	254	167	240	192	160	115	209	143	228	217	152	2,272人	
	2歳	129	153	99	90	125	96	94	141	174	149	158	1,541人	
	3歳	83	55	79	113	29	98	42	50	73	44	51	72	789人
	4歳	64	38	31	62	92	35	18	27	37	27	29	28	488人
5歳	27	27	41	65	76	24	33	51	34	28	13	67	486人	
小計	695	564	623	654	594	635	730	799	985	1,011	1,025	1,330	9,645人	
保育料	347,500	282,000	311,500	327,000	297,000	317,500	365,000	399,520	492,500	505,500	512,500	665,000	4,822,500円	

(5) ポップンルーム利用実績

令和5年3月31日現在

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延利用者	214	166	232	268	266	284	295	277	321	311	295	364	3,293人
登録人数	69	23	26	33	15	21	25	27	16	34	14	25	328人
食育(母乳・ミルク・断乳・離乳食・咀嚼・マナーなど)	2	3	1	2	3	1	3			1			16件
健康(病気・アレルギー)	1												1件
発達(発達の遅れ・歩行・言葉・行動など)	1	3	1				1	1		1	1	1	10件
遊びや玩具に関すること	1	1											2件
睡眠・夜泣き			1				1				2		4件
排泄・トイレトレーニング						1	1						2件
しつけ・片づけ	1												1件
その他		4	1		8	7	5	3	3	5	6	6	48件
小計	6	11	4	2	11	9	11	4	3	7	9	7	84件

(6) 研修

①外部研修

主催	日程	内容	参加人数
公益財団法人東京防災救急協会	2月18日・3月12日	普通救命講習	3
東京都福祉保健局少子社会対策部	7月27日・8月29日・9月30日・3月6日	子育てひろば職員研修	6
NP0法人ふれあいの家 おばちゃんち	9月22日	子育てサポーター養成講座	1
NP0法人芸術と遊び創造協会	9月11日	おもちゃインストラクター養成講座	2
品川区立家庭あんしんセンター	9月16日	保護者へのごとげ	2
子ども家庭支援センター子育てサポート担当	8月24日・8月31日	ヤングケアラー	2
品川区立家庭あんしんセンター	10月20日	児童虐待の基礎知識	3
品川区保健所生活衛生課	10月3日	食品衛生実務講習会	1

②法人研修

主催	日程	内容	参加人数
法人	7月・8月	情報セキュリティ・防犯(資料供覧)	27

(7) ヒヤリハット・事故状況

①ヒヤリハット報告

事業	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1階													0
オアシス	5	3	1	2	2	3	3	3					19
ポップン		4	2			2							8

②事故報告

*12月23日保育課の巡回指導を受けて以降、今までのヒヤリハットレベルを事故報告としている。

事業	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1階									1(骨折)				1
オアシス									2	4	2	4	12
ポップン												1	1

品川区立東品川高齢者多世代交流支援施設事業報告

1. 基本方針

安全・安心を基本とし、快適で清潔感あふれる施設、誰もが気軽に立寄れて過ごせる施設環境の実現を目指すとともに、地域や関係団体等との良好な関係を構築してきました。高齢者の介護予防、健康維持・増進及び生きがいづくりの支援という従来のシルバーセンターの機能に加え、高齢者と子育て世代等、多世代の区民との交流の支援に対応する各種事業を実施し、地域交流の拠点として機能を発揮しました。

2. 重点目標

- (1) 地域のニーズに適したサービスを誰もが安心・安全に受けられる、多世代交流へと繋げられる施設づくり

地域のニーズに応えられるようサービス内容を充実させ、効率的な運営に努めました。高齢者が多世代と交流できる仕組みづくりとして様々な世代で参加できるイベントを継続して実施しました。

- (2) 仲間と楽しく健康を増進できる介護予防機能を持った施設づくり

地域ミニデイ等の自主事業のほか、グループ活動を通して健康増進・維持及び生きがいづくりができる施設として、利用者の自主的な活動が継続できるよう環境整備等を行いました。

- (3) 子育て親育ちをサポートする子育て支援機能を持った施設づくり

地域のニーズに合わせ親子広場の開催や子育て世代が参加できる事業を実施しました。

- (4) 施設の周知を行い、地域に浸透させる3年にする。

東品川高齢者多世代交流支援施設3か年計画に基づき、コロナ禍においても感染症拡大防止に配慮しながら事業を実施しました。

3. 各事業の計画について

- (1) 貸出し施設事業

区の指導のもと利用案内、利用券届出受付・発券、グループ利用登録届出受付事務、施設使用料の徴収及び収納事務等の業務を行いました。貸出し時間に対応するため、貸出し業務にあたる一部の時間帯については品川区シルバー人材センターに委託し、効率的な運営を行いました。

- (2) 介護予防及び多世代交流を促進する事業

ア. 地域ミニデイ

体操や仲間との交流を継続するための通いの場所として実施しま

した。また、卒業生グループを発足し切れ目のなく支援を行いました。開催にあたっては職員のバックアップのもと利用者とボランティアが中心となり準備や片付けをするなど、主体的な運営となるよう支援しました。

イ. ゆうゆうプラザ主催のイベント

イベントを年間4回程度企画・実施し、近隣の方にゆうゆうプラザを知っていただく機会と交流の場を作りました。

ウ. 多世代交流塾

「特殊詐欺防止講座」や「モデルポージング講座」、「親子ヨガ教室」を定期的で開催しました。また、「菜園事業」として近隣保育園の園児に植え付けや収穫を体験してもらい、将来的に高齢利用者と保育園児等が土いじりを通して交流ができる事業として展開していくことを目標に継続して実施しました。

エ. ふれあい食堂

多世代が自然に交流を楽しめる場として「ふれあい食堂」を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の流行を鑑み開催を見送りました。

※実施した活動内容は別紙「東品川ゆうゆうプラザ実績資料」を参照。

(3) 子ども子育て関連事業

親子が遊べるフリースペースとして「東品川わくわくキッズルーム」定期的に開催しました。また交流プログラムとして月2回程度、親子で楽しむ運動遊び等の親子交流イベントを行いました。開催にあたっては高齢利用者がボランティアとしておもちゃ清掃等に携わっていただき、地域交流・多世代交流の活性化に繋がりました。

4. サービス提供（支援）体制

種別	配置数	担当業務	主な保有資格
常勤	1	施設長・施設管理	介護福祉士等
常勤	1	施設管理・受付事務等	介護福祉士等
非常勤	1	受付事務等	

5. 地域・関係機関との連携

- (1) 町会や関係機関との連携体制を継続するため、地域懇談会を定期開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の流行を鑑み今年度も書面開催としました。意見等は施設運営に反映していきます。
- (2) 地域ミニデイ等、ボランティアの受け入れをし、活動しやすい体制を整えました。
- (3) 各在宅介護支援センターと連携し地域ミニデイ利用者が安心して参加し続けられる体制をとりました。
- (4) 「ほっと・サロン」の開催について品川区社会福祉協議会と連携し、各サロンが円滑な運営をできるよう支援しました。

6. 事故防止策・防災対策

- (1) 資料供覧等により緊急時の対応についての研修を実施しました。
- (2) 事故の発生または再発を防止するために法人のヒヤリ・ハットリスクレベル評価表に基づくリスク分析と管理に取り組みました。
- (3) 火災時等の避難マニュアルの確認を行いました。また東品川文化センターと合同で消防・避難訓練を行っています。
- (4) 施設には防災備蓄品倉庫が設置されており、品川区の防災拠点の一つとして地域防災訓練に参加予定でしたが、感染症の影響で規模を縮小して行われたため参加できませんでした。次年度は都営住宅の会長等と連携を取り参加していきます。

7. 安全対策

法人で蓄えた知識・経験を活用し、事故防止に向けたハード面のチェック等の安全点検を実施しました。

8. 新型コロナウイルス対策

区の指示のもと館内消毒の実施、受付での検温・手指消毒、マスク着用の徹底、滞在時間の短縮、浴室及び脱衣室での会話自粛等の協力を呼び掛けています。令和4年7月よりカラオケ活動の解禁。令和5年3月よりマスク着用について推奨の扱いになっています。

東品川ゆうゆうプラザ実績資料

(1)貸出し事業利用状況

令和5年3月31日現在 単位：人

利用種別	対象者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	
(登録利用) 目的内利用	高齢者	1,148	986	1,206	1,275	1,185	816	1,237	1,264	1,260	1,129	1,270	1,410	14,186	
	内訳(部屋貸し除く)	入浴者数	940	767	947	896	952	489	928	943	891	781	855	952	10,341
		マッサージサービス	31	31	31	31	31	31	31	30	31	31	32	30	309
(一般利用) 目的外利用	全年齢	140	101	87	68	71	127	94	130	51	120	174	102	1,265	
	団体数	44	23	21	20	24	35	26	21	13	43	32	30	332	
自主事業 (貸出部屋の利用人数)		119	152	109	138	146	137	133	129	141	175	149	140	1668	
ほっと・サロン		96	95	98	89	85	83	120	97	103	95	74	113	1148	
支え愛・ほっとステーション		17	7	17	7	13	13	6	17	16	13	9	9	144	
区事業	高齢者	うんどう機能トレーニング	39	27	59	52	41	28	40	53	64	58	45	61	567
		高齢者外出習慣化事業	11	0	0	0	9	0	11	0	7	0	0	0	38
		健康塾	63	68	62	40	55	42	62	59	64	59	64	57	695
		その他	0	0	9	7	79	79	91	85	78	62	58	55	603
合計利用人数		1,633	1,436	1,647	1,676	1,684	1,325	1,794	1,834	1,784	1,711	1,843	1,947	20,314	

(2)自主事業実施状況

令和5年3月31日現在

事業名	対象者	延べ回数	延べ人数	
イベント	七タイイベント	多世代	1	30
	敬老の日イベント	多世代	1	7
	クリスマスイベント	多世代	1	42
	書初め大会	多世代	1	16
	多世代交流塾(モデルウォーキング・ヨガ講座等)	多世代	27	282
	菜園事業	多世代	12	299
予防	地域ミニデイ「東品川ゆうゆう」	高齢者	46	361
予防	地域ミニデイ卒業生グループ「東品川ゆうゆうプラス」	高齢者	47	376
合計			136回	1,413人

(3)部屋別稼働率

令和5年3月31日現在 単位：%

部屋名/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間稼働率
レクリエーション室1	14.1	18.3	14.0	13.8	17.0	26.2	26.4	19.0	21.3	21.5	23.1	25.0	19.9
レクリエーション室2	29.4	29.3	35.2	26.6	39.1	44.0	38.4	41.7	38.8	39.2	48.1	50.0	38.3
レクリエーション室3	28.2	29.6	27.9	33.0	38.6	34.5	36.0	40.5	37.5	41.8	39.7	43.2	35.8
コミュニティ室1	12.9	8.8	14.9	14.9	10.2	14.3	20.7	22.6	22.5	15.2	20.5	14.8	16.0
コミュニティ室2	22.6	15.9	19.5	25.3	25.0	27.7	19.5	10.7	12.5	21.5	25.6	23.9	20.9
スタジオ室1	/	/	/	23.8	/	/	36.4	37.5	37.5	28.9	39.5	14.3	29.0
スタジオ室2	/	/	/	33.3	/	/	34.8	40.0	45.0	42.1	47.4	31.4	38.5
全部屋	21.0	19.9	21.7	22.9	24.7	28.0	27.3	27.7	27.9	28.0	31.5	27.8	25.8

※1 4/27～6/20まで緊急事態宣言のため休館
 ※2 スタジオは新型コロナウイルス拡大防止措置として使用禁止とした

(4) ヒヤリハット・事故状況

事業	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ヒヤリハット	0	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	4
事故報告	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1

※事故一休調不良と思われる転倒（救急搬送）

品川区立就学前乳幼児教育施設ぷりすくーる西五反田事業報告

1. 基本方針、重点目標について（3部門共通）

子どもの最善の利益と子どもの福祉・教育の増進を図り、保護者の育児と仕事の両立と家庭を支援し、子どもたちの健やかな成長を育み、安心して預けられる質の高い保育を目指し、園運営に取り組みました。

2. 重点目標について（3部門共通）

（1）人材の育成

新人の効率的な育成と指導について

「新人育成計画」を作成し、新人一人にチューター（指導担当）を割り当て計画的に職務内容を習得し、自覚や積極性が身につくように指導や見守りを行いました。

（2）より質の高い保育・教育を展開するために

①園内研究のテーマを「一人一人を大切にする保育の援助とクラス運営を考える」とし、上原芳江先生（臨床心理士）を講師として講演会と巡回相談を行い、学びを実践に結びました。

②園内公開研究保育を6回実施しました。終了後は保育を振り返り明日の保育に活かすことができるよう、研究協議会を開催して学びに繋げるなど、継続的な研究に取り組みました。

③園内研修（アレルギーについて、安全対策、マルトリートメント、嘔吐下痢処理、虐待について）を実施し、職員が共通認識をもって専門性を深めたり、法人・区の研修等に参加するなど、保育実践の向上を目指して取り組みました。

3. 施設及び各事業の計画について

< 保育園部門・幼児教育部門 >

（1）カリキュラムマネジメントの実施について

職員全体の研修会を行い「全体の計画」の確認や共通認識のもとに、年間指導計画を週案・日案に具体的に落とし込んで保育が実践できるよう職員会議にて理解を深め、定期的に見直しし改善を加えるなど、より良い保育や教育ができるようにしました。また、保育・教育・行事・保護者との取り組み等が計画・実施・改善が繰り返されるように評価・反省を行いました。

（2）学びの連続性

①保育園から幼児教育への「わたり」を重視し、幼児の成長に合った2、

3歳児の交流保育を計画的に実施しました。

- ②保護者会やおたよりを通じて計画的に保護者と意見交換の機会を作り
幼児教育に対する保護者の理解を深めました。
- ③保護者へ意図を説明し意見を聞きながら、3歳児クラスに入園をする
前の一日を保育園部門から幼児教育部門に入園する前の「切り替えの
日」としてお休みの日としました。

(3) 食育

- ①給食委託業者と職員とで月1回の給食会議を行い資質向上を図り、食
の教育をするための意見交換、またアレルギーについて意識を高め、
チェック体制等を確認しました。
- ②離乳食や給食に関わるアンケートや質問等を取りながら、保護者対象
の給食試食会を行いました。(今年度はZOOMで開催)
- ③屋上の畑にキュウリ、トマト、ナス、ピーマン、ゴーヤ、さつまいも
などを植え、収穫を楽しみにしながら世話をするとともに、収穫物は
クッキングの材料とすることで、作物や作ってくださる人に感謝をし
ながら食べることで食育に取り組みました。

<ふれあい交流室>

(1) 相談事業

- ・電話、来所相談
- 子育て相談—207件
- 事業案内など—325件

(2) 子育て、サークルの育成・支援

- ①「親子であそぼう」(予約制・定員あり・月1回の参加)

クラス	開催 曜日・時間	登録数
・さくらんぼ組A(0歳児)	火曜日 14:00~14:45	38組
・さくらんぼ組B(9月~)	火曜日 14:00~14:45	20組
・ぶどう組(1歳児)	火曜日 11:00~11:45	13組
・ばなな組(2・3歳児)	水曜日 9:30~10:15	16組

- ②グループ登録者・グループ修了者を対象とした自主グループ支援は実
施できませんでしたが、「季節に応じたお楽しみ会」(クリスマス会:
12月23日実施・2グループ計52組の参加)は実施できました。

(3) 子育て広場の開放(ポップンルーム)

- ①月曜日~土曜日 9:30~16:30

今年度は、消毒作業をこまめに行い感染拡大に留意ながら、利用人数、

利用時間を制限しないで活動室を開放しました。

(登録者数：439組・延べ利用者数・1,482組・3,039名)

(4) 子育て講演会・地域交流・オアシスルーム

実施予定	実績
① 講演会	「親子で楽しむ読み聞かせ」2月17日(金)実施 参加者数：9組18名
② 「えん DE とーく」	「離乳食の進め方」 ※6月に資料の掲示、配布
③ 読み聞かせ	月1回、12回開催 金曜日10:00～10:30 参加者数：80組163名
④ お外であそぼう	月1回、全10回開催 10:00～11:30 参加者数：191組399名
⑤ 調査・研究	年1回 利用者に3月実施
⑥ 地域交流・イベント	品川子育てメッセ2,022に実行委員として参加
⑦ オアシスルーム	利用総人数：1,674名、総利用時間：8,415時間

4. サービス提供(支援)体制

職種	人数	職務の内容
園長	1	運営、職員指導、地域との連絡・調整、子育て相談
副園長	1	保育指導、園長代行、研修生対応指導
ふれあい交流室	1	ふれあい交流室統括、オアシス・ポップンルーム統括
保育士	17	乳幼児保育、子育て支援
言語聴覚士	1	乳幼児保育、子育て支援
看護師	1	乳幼児保育乳幼児の健康管理
事務	2	庶務、経理
非常勤看護師	1	乳幼児の健康管理、乳幼児保育、保育補助
有資格非常勤保育士	6	乳幼児保育、保育補助
一般非常勤	6	保育補助
事務非常勤	1	事務補助
非常勤用務	2	清掃、環境整備
調理員	(株)アスパウエルネスサービスに調理業務代行委託	
嘱託医	1	新入園児事前健康診断、0歳児健診(月1回)、全園児定期健診(年2回)
嘱託歯科医	1	全園児歯科検診(年2回)

5. 独自事業について

(1) 保護者の保育参加の推進について

- ①「全園児で祝う誕生会」は集会形式では行いませんでしたが、年齢ごとに一人一人の子どもの誕生を祝う時間を作りました。玄関ホールには誕生月の子ども達を紹介する写真を貼りました。
- ②保護者の保育参観は行いませんでしたが、日常の会話や個人面談、保護者会で子供の成長を確認しました。共に成長を喜びあうことを引き続き行っていきます。保護者の会「ふれんでい」の運営や「家庭教育学級」について支援・協力を行っています。

(2) 多文化・伝統文化に触れ様々な体験ができる機会について

- ・「英語であそぼう」ではレス先生に来ていただき、ゲームや体操、やり取りを通して楽しみながら英語や他文化に触れることができました。
- ・年長組は「お茶の会」の新年を祝う「初釜」を経験しました。保育の中でお茶会に向けて取り組んできた成果を立派に見せてくれました。
- ・七五三の集いの後、神社参拝を体験することで畏敬の念を持ったり、心を律する体験ができました。

6. 事故防止策・防災対策、安全対策について

- ・月1回さまざまな災害を想定して避難訓練や煙体験・起震車体験、不審者対応、目黒川が氾濫した際の避難の仕方など、非常時対応訓練を行いました。
- ・事故やけがに対して救命救急の学びを継続するとともに、緊急時の対応を園内研修や職員会議で学び合いました。また安全点検を実施し事故の予防に努めました。

7. 年間行事について

年間を通じて、保護者が行事に参加できる機会を設け、子どもの育ちや成長を共に感じる機会としました。

月	主 な 行 事 予 定
4月	入園式・始業式・保護者会
5月	春の親子遠足(3～5歳児)・子どもの日
6月	公開保育
7月	プール開き・七夕・終業式・夕涼み会 夏期特別体験保育(5歳児)
8月	プール納め

9月	始業式・保護者会・敬老の日の集い・親子で遊ぼう（0～2歳児）
10月	運動会・秋の遠足（3～5歳児）
11月	七五三
12月	おゆうぎ会・クリスマス会・終業式
1月	始業式・お餅つき・初釜（5歳児）
2月	豆まき・お別れ遠足（5歳児）・保護者会
3月	ひなまつり・卒園式・修了式

- ・保護者会はZOOMで開催しました。（4月・9月・2月）
- ・親子遠足は、4，5歳児クラスは春、秋とも子どもだけで園外活動に行き、帰園してお弁当を食べました。3歳児クラスは、秋に親子遠足を実施できました。
- ・運動会は幼保の部門ごとに、第一日野小学校のグラウンドで実施しました。
- ・おゆうぎ会は、学年ごとに保護者を招いて実施できました。

8. ヒヤリハット・事故発生状況

(1) ヒヤリハット報告状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	
件数	33	39	48	41	32	34	227	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
件数	39	28	29	30	34	45	205	432

ひっかき・噛みつき 102件 衝突・接触 139件

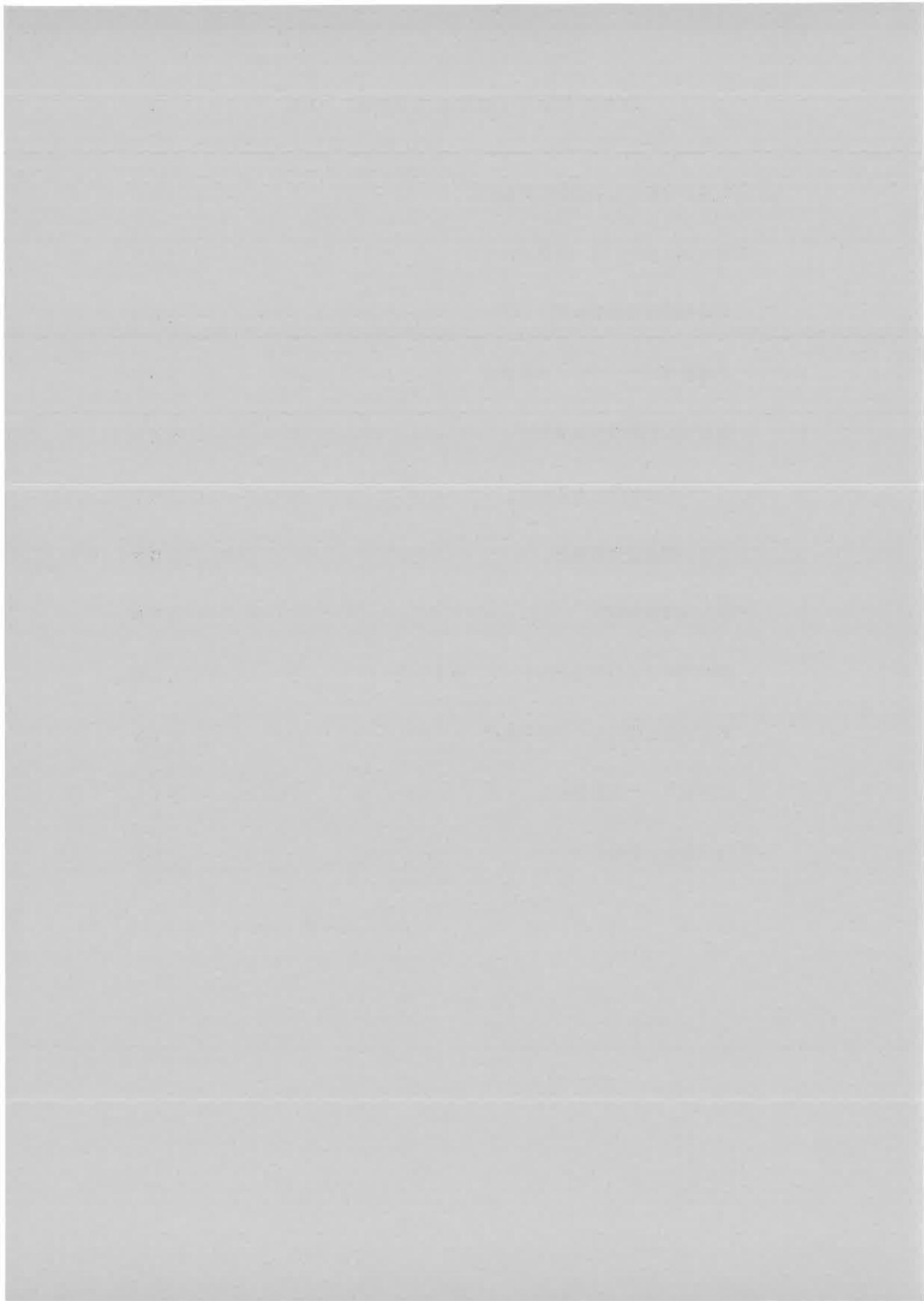
転倒（転落を含む）180件 誤飲・誤食 4件 その他 7件

(2) 事故発生状況<ケガによる医療機関受診件数>

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	
件数	1	1	0	1	0	1	4	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
件数	0	1	2	3	2	0	8	12

障害児者総合支援施設事業計画 目次

品川区立障害児者総合支援施設事業報告	201
児童発達支援センター課事業報告	203
児童発達支援事業報告	204
放課後等デイサービス事業報告	205
保育所等訪問支援事業報告	206
子ども発達相談室事業報告	207
日中一時支援事業報告	208
相談支援課事業報告	209
南品川障害児者相談支援センター事業報告	210
地域活動支援センター事業報告	213
訪問系サービス事業報告	214
生活支援課事業報告	215



品川区立障害児者総合支援施設

1. 基本方針への対応

令和4年10月に指定管理事業の指定を受け、子どもの療育拠点及び障害児者の地域生活支援拠点として機能する為、品川区及び関係機関との連携の下、障害児者とその家族のライフステージに沿った切れ目のない支援を模索しました。

2. 重点目標への対応

- (1) 前指定管理事業者から引継いだ事業を円滑に軌道にのせ、各事業所の利用者及び利用者家族に対し安心安全なサービス提供を行いました。
- (2) 総合支援施設の一体的な運営体制を整えるため、各事業所間の連絡体制を構築する等、事業所間連携を推し進めました。また品川区をはじめ区内事業所、関係機関、近隣町会及び住民との良好な関係作りを目指しました。
- (3) 施設全体及び各事業の課題を整理し、次年度以降の計画の策定を行いました。
- (4) 利用児童・利用者が過ごす各フロアにおいて、事故防止や防犯対策面での改善を検討しました。
- (5) 食事提供における品質向上に向けた検討を行いました。
- (6) 幅広い利用者にサービスをご利用いただくため、送迎体制を検討しました。

3. 具体的な取り組み

- (1) 前指定管理事業者から引継いだ事業を円滑に軌道にのせるため、利用者及び利用者家族との信頼関係構築に重点をおき、必要に応じて面談や連絡を取りました。
- (2) 総合支援施設内における各事業所間の連絡及び連携体制を整えました。各職層の定期連絡会、学習会等を通じ事業所間の風通しを良好に保ち、緊急時に総合施設として連携できる体制を模索しました。
- (3) 品川区が年度内に計画した改修工事を適切に行いました。また建物全体の課題及び各事業所の運営課題についての集約・分析を行いました。
- (4) 利用児童、利用者の支援を行う各フロアにおいて、防犯カメラ（居室やプライベート空間を除く）の設置を検討しました。
- (5) 適温給食の提供に向けて、3階厨房の活用や温冷配膳車、温冷庫を検討しました。
- (6) 品川区と協力し送迎車両の検討・整備を進めました。

4. 各事業の定員

事業名	定員	稼働率
児童発達支援センター		
児童発達支援	40名	64.1%
放課後等デイサービス	10名	43.4%
保育所等訪問支援	—	—
子ども発達相談室	—	—
日中一時支援	20名	80.9%
南品川障害児者相談支援センター (特定相談支援、障害児相談支援)	—	—
地域活動支援センター	20名	29.9%
訪問系サービス (居宅介護、重度訪問介護、同行援 護、行動援護、移動支援)	—	—
生活介護	30名	73.5%
就労継続支援B型	10名	20.2%
短期入所	12名	70.0%

※利用率は、実開園日数に対しての利用率です。

児童発達支援センター課事業報告

1. 基本方針への対応

品川区における子どもの療育支援の拠点として、発達に支援の必要な児童に対し、早期の段階から個々の特性に合わせた適切な療育を模索しました。

2. 重点目標への対応

- (1) 児童発達支援は、日常生活における基本的動作や知識技能訓練の習得を行い、集団生活が送れるよう支援を行いました。また、身体障害や重度の児童についても適切な支援を模索しました。
- (2) 放課後デイサービスは、生活能力向上のための支援を行いました。
- (3) 日中一時支援は、保護者の就労支援または精神的・身体的な負担軽減を図るために運営しました。
- (4) 保育所等訪問支援は、保育園や幼稚園を利用している子どもの、集団生活への適応と安定した通所生活の支援を模索しました。
- (5) 子ども発達相談室は、保護者に情報提供や相談・助言を行いました。母子と共に過ごせる活動の場の検討を行いました。

3. 具体的な取り組み

- (1) 生活リズムの確立や食事・排泄・着脱などの基本的な生活習慣の獲得、自発的な活動や運動面の支援を行いました。
- (2) 小集団のなかで、友だちとのコミュニケーションや基本的な社会のルールを学ぶ発達支援を行いました。
- (3) 集団生活に適応できるよう、子どもの自信と意欲を引き出す支援を模索しました。
- (4) 本人、スタッフ等に対して支援をおこない、子どもが新しい集団のなかに入れるような支援を模索しました。
- (5) 子どもの発達について、各分野の専門スタッフとともに観察する等したうえで、保護者に情報提供や相談・助言を行い、地域での安定した生活を送れるような支援を模索しました。

児童発達支援事業報告

1. 重点目標への対応

- (1) 一人ひとりの発達にあわせた、健やかな成長を目指しました。
- (2) 子どもの成長・発達に関して丁寧な説明及び支援を行いました。
- (3) 友達と共感できる楽しさを学べるよう支援しました。
- (4) 家庭と連携して子育てができるよう支援しました。

2. 具体的な取り組み

- (1) 日常生活における基本的な知識技能（ソーシャルスキル）を最大限に引き出し習得できるよう、子ども本人の発達支援について模索しました。
- (2) 日中活動の中で保育、心理、看護、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、医師及び歯科医師等のチームスタッフにより、子どもへの支援を行うとともに家族に対して専門的なアドバイスをを行いました。
- (3) 子どもと家族が地域の中で安心して暮らすことができるよう必要な支援を模索しました。

3. サービス提供内容

(1) 集団支援

ゲームや運動、製作等の活動を通して社会のルールを身につけるとともに、友達と協調して活動する体験を重ねていくことで、子ども一人ひとりが、自信をもって学校等での生活ができるように支援しました。

(2) グループ活動

グループ活動場面では、ひとりでは十分に発揮できない能力を引き出し、よりきめ細やかな対応を行い、発達を助長するための支援に努めました。

(3) 保護者支援

子どもの日常生活状況を保護者から伺い、子どもの対応について相談、助言することで、良好な家庭生活がおくれるよう努めました。

放課後等デイサービス事業報告

1. 重点目標への対応

- (1) 集団でのルール遊びや活動を通して適応能力を身につけられるよう支援しました。
- (2) 友だちとのコミュニケーションや社会的スキルを身につけられるよう支援しました。
- (3) 学校と連携、協働による支援を模索しました。
- (4) 幅広い障害に対応した支援を検討しました。

2. 具体的な取り組み

- (1) 自立した日常生活が送れるように、友だちとの創作的活動や作業活動を通じて、本人の意欲向上に結び付け、生活能力をのばすことができるよう支援を行いました。
- (2) 日常の挨拶などのソーシャルスキルトレーニングを通して、学校や地域社会との交流に活かせるよう、スタッフからの具体的なアドバイスを受けながら学習する能力を身につけられるよう支援しました。
- (3) 学校での生活状況の確認や双方の情報交換により、学校と放課後等デイサービスでの学習支援に一貫性を持たせる支援を模索しました。

3. サービス提供内容

(1) 集団支援

ゲームや運動、製作等の活動を通して社会のルールを身につけるとともに、友達と協調して活動する体験を重ねていくことで、子ども一人ひとりが、自信をもって学校等での生活ができるように支援しました。

(2) グループ活動

グループ活動場面では、ひとりでは十分に発揮できない能力を引き出し、よりきめ細やかな対応を行い、発達を助長するための支援に努めました。

(3) 保護者支援

子どもの日常生活状況を保護者から伺い、子どもの対応について相談、助言することで、良好な家庭生活がおくれるよう努めました。

保育所等訪問支援計画

1. 重点目標への対応

- (1) 保育園や幼稚園を訪問し、観察を通して支援を行いました。
- (2) 本人や園職員及び親への支援も含めた調整に努めました。
- (3) 子どもが集団生活のなかで活動できるよう支援を行いました。

2. 具体的な取り組み

- (1) 障害児が通っている保育園や幼稚園に訪問することにより、卒園児や利用している子どもの様子を観察する。担当職員や園長とともに、今後の方針や取り組みなどを確認することで、適切な支援を継続できるよう目指しました。
- (2) 子どもの観察を通して、子どもへの支援について、本人を取り囲んでいる人物や物などの環境についても、楽しく、安心、安全に過ごせるよう配慮しました。
- (3) 子どもが集団生活で必要とされる基本的ルールやコミュニケーションについて、実際の活動場面を把握することにより、獲得状況について確認しました。将来にわたりより良い人間関係が築けるようサポートしました。

3. サービス提供内容

(1) 訪問支援

児童本人に働きかけるだけでなく、環境設備・訪問先スタッフへの関わりや活動の組み立て、集団の他の子どもたちの協力を得ながら支援に努めました。

訪問先スタッフには、支援の意図や関わりのポイントを伝え、支援員がいない場合の関わりについても支援を行いました。

(2) 保護者支援

支援計画の内容、訪問の際の内容を伝え、家庭と保育園との連携が円滑に進むよう努めました。

子ども発達相談室事業計画

1. 重点目標への対応

- (1) 子どもの発達状況や特性、環境と相互に作用することにより生じる症状などについて、子どもへの理解を深めるよう努めました。
- (2) 子どもにとって必要な助言及び家族への支援に努めました。
- (3) 早期に必要な支援を取り入れ、自立の育成を目指しました。
- (4) 区内の他機関との連携を密に行い、南品川障害児者相談支援センターの障害児相談支援と共に、円滑に療育機関へ繋げるよう努めました。

2. 具体的な取り組み

- (1) 言葉が遅い、落ち着きがない等の発達が気になる子どもへの面接、行動観察、検査及び保護者からの聞き取りを行うなかで、子どもの現状を把握し問題点等をスタッフと保護者との間で共有しました。
- (2) 必要に応じて、心理士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、医師、歯科医師等のチームスタッフが連携し、担当者や専門スタッフから家族に対しての具体的な助言に努めました。
- (3) 今後の児童発達支援の利用や子どもに合った他機関等の情報提供を行うことで、家族が地域で安心して生活していけるよう子どもの主体的な育ちの支援を模索しました。
- (4) 障害児相談支援事業との協働により、相談から療育開始までの手続きを効率的に進め、障害児支援利用援助等の支援の過程を活用し、見守りやアフターケアの機能の支援に努めました。
- (5) 子ども発達相談室の初回面接について、フローや対応方法を工夫し、相談者をお待たせしないための取り組みを模索しました。

3. サービス提供内容

- (1) 心身の発達に遅れや障害のある子どもの、自立に向けた支援を行い、家庭・保健・福祉・教育と連携をとりながら、早期に適切な療育が受けられるよう切れ目のない支援を模索しました。
- (2) 総合支援施設内の各事業所と繋がりながら、専門職による支援とともに区内の各機関との連絡調整をもとに、福祉サービスの情報提供や適切なコーディネートを行い、保育園、学校などへの巡回相談支援も実施しました。

日中一時支援事業報告

1. 重点目標への対応

- (1) 日中において監護する者がいないため、一時的に見守り等の支援が必要な障害児等の日中における活動の場を確保しました。
- (2) 障害者等を日常的に介護している家族の一時的な休息を図りました。
- (3) 友だちや職員とのコミュニケーションを図りました。
- (4) 幅広い障害に対応した支援を検討しました。

2. 具体的な取り組み

- (1) 特別支援学校等では授業時間が早く終わるため、両親が就労されている家庭においては、障害児介助をすることができない。かかる状況を支援するため、学校終了時間から親の就業時間までの子どもの預かりを行いました。
- (2) 親の通院やレスパイト等の理由で必要な場合に、必要な時間のみ介護、見守り等について子どもに対する預かりを行いました。
- (3) 放課後デイサービスが定員等の理由で利用できない、終了時間に迎えに行けない等の状況に柔軟に応じ、日中一時支援で対応しました。

3. サービス提供内容

(1) 集団支援

安心、安全、豊かに過ごせる子どもの居場所を提供しました。様々な遊びや活動を通して、自分自身を発見し、新たなことにチャレンジ出来るよう支援を模索しました。

(2) 個別対応

必要に応じて個々の障害や特性に合わせて個別対応を模索しました。

(3) 保護者支援

保護者と子どもが適切に関われるよう、子どもの理解や日々の子どもとの接し方等について支援を模索しました。

相談支援課事業報告

1. 基本方針への対応

障害者の自立と社会参加の促進を基本とし、ライフステージを通じた地域生活が継続できるよう、適切な相談支援とサービスの提供を行いました。利用者にとってのニーズを的確に把握し、よりよい生活となるように支援を行いました。また、総合支援施設内、法人内、区及び関係機関との連携強化を図り、地域全体での地域生活拠点機能の向上に努めました。

2. 重点目標への対応

- (1) 各事業の引継ぎを円滑に行い、利用者にとって安心安全なサービスを目指しつつ、新規利用者の獲得を推し進めました。
- (2) 地域生活を支える基幹となる担当課として、課内の各事業の運営、連絡及び協力体制を確立し、総合支援施設内での役割を遂行できるよう努めました。

3. 具体的な取り組みについて

- (1) 課内それぞれの事業所において、引き継いだ利用者と面談等にて利用者自身の言葉からニーズを見つけ、改善方法を探り、より良い生活が送れるように支援しました。
- (2) 区内の拠点となる相談支援センターの役割を基本とし、総合支援施設全体の協力体制を積極的に築きました。また法人内の拠点相談支援センターと必要随時、情報交換を行い、品川区をはじめ地域の関係機関と良好な関係作りに努めました。

南品川障害児者相談支援センター事業報告

1. 基本方針への対応

障害者自身が、地域の中での生活をより豊かに継続できるよう、障害者本人及び家族の意向を充分確認し、区内事業者及び医療系サービス事業者等との連携のもと、質の高い相談支援を継続して行いました。

また、品川区地域生活支援拠点事業として、地域が必要とする役割、資源や機能の整備等において、法人内外の拠点相談支援センター、品川区及び関係機関との協議を継続して行いました。

2. 重点目標への対応

事業開始にあたって、前法人と4月から9月の間に丁寧に引継ぎを行いました。区内相談支援事業所、サービス事業所と連携を図りながら利用者の相談支援にあたりました。

- (1) 利用者と家族の状況やニーズを把握し、障害児者の福祉サービス利用援助を適切に行いました。
- (2) 障害児相談支援においては、発達相談支援課と密接に連携し、相談内容、子ども及び家庭状況を適切に把握し、個々の状況に応じた適切な情報提供と早期のサービス開始を行いました。

3. 具体的な取り組みについての対応

- (1) 相談支援業務として、引き継いだ利用者や新規で依頼を受けた利用者の状況やニーズを丁寧に聞き取り、アセスメント、サービス等利用計画の作成、支援区分調査、モニタリング及びサービス調整等を行いました。
- (2) 拠点相談支援センターとして、緊急時等に対応が取れるよう総合支援施設内、法人内、品川区及び他事業所と常に連絡が取れる体制を整え連携して対応にあたりました。
- (3) 障害児相談支援として、児童発達支援センターと共同し、相談の受付けからサービス提供につなぐ支援を行いました。また障害児支援利用等を継続することで、サービスの利用状況を確認し必要に応じて相談や支援方法を家族と共に検討しました。

4. 相談支援実績

※コロナの関係で訪問・ケース会議・調査などの対応は状況に応じて実施
 <相談支援を利用している障害児者等の新規契約実人数>

(令和4年10月～令和5年3月)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
障害者	90	1	1	2	1	1	96
障害児	44	10	2	4	8	6	74
合計	134	11	3	6	9	7	170

<相談件数の推移>

(令和4年10月～令和5年3月)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談件数	214	328	432	625	498	547	2,644
計画作成件数	32	23	18	17	15	28	133
モニタリング件数	24	41	18	31	27	37	178
支援区分調査件数	2	4	4	6	7	10	33

<支援方法>

(令和4年10月～令和5年3月)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話相談	142	215	332	514	398	390	1,991
来所相談	24	26	17	19	22	17	105
訪問(自宅)	45	63	41	52	56	83	340
同行支援	1	3	1	0	0	0	5
文書等	0	1	40	34	18	52	145
支援会議	0	1	1	0	0	1	3
関係機関	2	18	0	3	0	1	24
その他	0	1	0	3	4	3	11
合計	214	328	432	625	498	547	2,644

<支援内容> (項目重複あり)

(令和4年10月～令和5年3月)

支援内容	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
福祉サービスの利用等に関する支援	188	215	260	470	369	397	1,899
障害や症状の理解に関する支援	49	65	84	108	92	120	518
健康・医療に関する支援	7	21	25	57	44	73	227
不安の解消・情緒安定に関する支援	29	30	44	59	24	23	209
保育・教育に関する支援	15	11	22	33	30	30	141
家族関係・人間関係に関する支援	11	14	8	13	23	9	78
家計・経済に関する支援	1	1	0	0	0	3	5

生活技術に関する支援	1	0	2	0	0	5	8
就労に関する支援	4	1	6	3	3	3	20
社会参加・余暇活動に関する支援	3	0	1	3	2	2	11
権利擁護に関する支援	0	0	0	3	1	4	8
その他	1	1	2	1	6	1	12
合計	309	359	454	750	594	670	3,136

地域活動支援センター事業報告

1. 基本方針への対応

創作的活動・生産活動・社会との交流促進などの機会を提供し、障害者の地域生活の維持や生活の質の向上がはかれるように継続した支援を行いました。

2. 重点目標への対応

- (1) サービス継続利用者、新規利用者に対し、安心してサービスを受けられ、居場所となるような環境づくりに努めました。
- (2) 南品川障害児者相談支援センターをはじめ、区内の相談支援事業所と連携し、アウトリーチにより地域で日中の居場所や活動の場を必要とする障害者を支援しました。
- (3) 地域活動支援センター類型変更への準備を推し進めてきました。

3. 具体的な取り組みについての対応

- (1) 事業引継ぎへの対応を利用者に混乱をきたさないように円滑に行い、基本的に前事業所の活動内容や提供方法の継続を行いました。
- (2) 区内相談支援事業所や関係機関に対し、事業所パンフレットを作成配布し、新規利用者の獲得を目指しました。また、活動内容についても利用者が楽しんで参加できるように室内プログラムは勿論、外出プログラムも企画し開催しました。
- (3) 地域活動支援センターの類型変更を目指し、準備を進めてきました。地域の方に向けた講座や講習会開催に向けてのノウハウを先駆的な取り組みを行っている心身障害者福祉会館及び品川区と協議しました。

4. サービス提供内容

地域で暮らす障害（身体・知的・精神）を抱えている方の日常生活や社会生活をサポートし、多種多様なプログラムの提供を通じて、創作的活動また生産活動の機会提供と地域社会への参加、他社との交流の促進を図りました。

5. 利用実績（令和4年10月～令和5年3月）※契約利用者数40名

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延人数	37名	46名	47名	49名	82名	68名	329名

訪問系サービス事業報告

1. 基本方針への対応

自立した地域生活を営むことができるよう、利用者のニーズに対応したサービス提供体制を整え、必要な援助を適切かつ効果的に提供しました。

2. 重点目標への対応

- (1) 前事業所より引き継ぎを行った利用者へは、これまで通りのサービス提供を行い、生活に支障のないように支援しました。
- (2) 区内の相談支援事業所との連絡・連携を継続した結果、新たな利用者の獲得・サービスの拡大を図ることが出来ました。

3. 具体的な取り組みについての対応

- (1) 利用者及び相談支援員との関係構築を行い、サービスの内容の確認し、今までと変わらないサービス提供を行いました。
- (2) 利用者のニーズに合わせ、利用者自身の力の発揮が出来るよう、最大限の支援を行いました。居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護及び移動支援の依頼から相談、サービス調整及び提供を行いました。
- (3) 区内の相談支援事業所との連絡体制を強化したことにより、サービス提供可能な地域において積極的に受け入れる働きかけを行いました。

4. サービス提供内容

居宅介護である身体介護から洗濯、掃除などの家事援助、生活に関する相談対応などを行いました。また外出時の支援として、視覚障害者の方の支援として同行援護、また移動支援も開始し、新たな利用者の獲得を行うことが出来、利用者自身の生活の幅が広がり、生活しやすい環境を作れるように支援を行いました。

5. 利用実績（令和4年10月～令和5年3月）

	実人数	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
居宅介護	3人	7件	20件	23件	25件	23件	27件	125件
重度訪問	1人	8件	6件	4件	7件	6件	4件	35件
同行援護	1人	0件	0件	0件	1件	3件	4件	8件
行動援護	0人	0件						
移動支援	2人	0件	12件	15件	11件	11件	14件	63件
合計	7人	15件	38件	42件	44件	43件	49件	231件

生活支援課事業報告

(生活介護・就労継続支援B型・短期入所)

1. 重点目標

- (1) 様々な障害特性に対応した適切な支援
障害の重度化、多様化に対応した日中活動を模索しました。また、品川区立かがやき園と連携し緊急短期入所事業の受入れを実施しました。
- (2) 地域生活支援拠点としての連携
地域生活支援拠点事業として機能を発揮する為、相談支援課、児童発達支援課等と連携を図りました。
- (3) 継続利用者への対応
令和4年10月からの指定管理者変更に伴う負担について、継続して利用する障害者と家族に対し、出来る限りの支援を行いました。
- (4) 新型コロナウイルスへの対応
新型コロナウイルス感染症の流行が叫ばれる中、障害福祉サービス提供時の感染症対策に努め、利用者のより安全で安心な生活環境を目指しました。

2. 具体的な取り組み

- (1) 令和4年10月からの指定管理者変更に伴い、継続利用する方の引継ぎ情報を基に、的確な情報やニーズを把握し、福祉サービスを提供しました。
- (2) 生活介護・就労継続支援B型・短期入所事業の運営を安定化させ、新たな利用ニーズの受け入れや緊急短期入所事業を行いました。
- (3) 強度行動障害基礎研修、強度行動障害実践研修、認定特定行為業務従事者（喀痰吸引等特定行為）に対応した職員を配置し、重度重複障害や強度行動障害のある利用者に対し適切な支援を模索しました。
- (4) ライフステージの変化や緊急時等には、総合支援施設内の各事業及び関係機関と連携し支援を模索しました。

3. 事故・虐待防止対策

- (1) 事故防止
事故防止のために、職員の共通認識となるよう職員全体で意見交換や事例の分析、日々の自己点検に取り組みました。また、事業所設備等の点検などを通じ危険箇所の改善を行いました。
- (2) 虐待防止
法人の虐待防止規程に基づき、研修への参加やチェックリストを活用した自己点検などをおこないました。

4. 家族・支援者との協力体制

令和4年10月からの指定管理者変更に伴い、前指定管理事業者からの引継ぎを基に、家族・支援者の理解と協力により利用者に対する支援を模索しました。

園での様子、家庭での様子などの情報交換を常に行い、必要に応じて面談、家庭訪問を実施しました。

5. サービス提供内容

(1) 生活介護

強度行動障害支援者養成研修を受講した支援員を配置し、強度行動障害への適切な支援を模索しました。また、有資格者、看護師及び各種療法士等を配置し、多職種連携により支援をおこないました。

(2) 就労継続支援B型

前任の指定管理事業者が取り組んできた作業種目や提供方法を継続しつつ、利用者の特性やニーズに適した就労支援メニューを提供しました。また、カフレストランをはじめ総合支援施設の設備等を効果的に活用した就労支援メニュー検討しました。

(3) 短期入所

計画支援事業所のアセスメントに基づいた、介護（食事提供・排泄・入浴）等の支援を行いました。また、品川区立かがやき園と協力し緊急短期入所事業の受入れを行いました。

6. 防災対策

- (1) 品川区障害児者総合支援施設の防災計画に基づき、総合防災訓練を実施しました。
- (2) 防災計画及び震災対応事業継続計画に基づき火災想定及び地震想定での防災訓練を実施しました。
- (3) 通報訓練・消火訓練・避難訓練を全職員が習熟するように努めました。
- (4) 品川消防署協力のもと、防災訓練を計画実施しました。

社会福祉法人 福 栄 会
令和 4 年度事業報告書

発行者 西 村 信 一
発行日 令和 5 年 4 月 1 日

〒140-0002 東京都品川区東品川 3 丁目 1 番 8 号
TEL 0 3 (5 4 7 9) 2 9 8 1

